市政世論調査報告書

(第38回・平成18年)

調査項目

第１章

定住意向

市政への要望

ごみ有料化後のごみ減量意識について

保健衛生行政の現状と新しい
『八王子市保健所（仮称）』について

第２章

「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の
目標値に対する達成度

八王子市

古紙配合率 100%再生紙を使用しています

はじめに

地方自治体を取り巻く厳しい財政環境の中、本市では、少子高齢社会に向けた対応や多様化する市民ニーズなど様々な課題に対し、市民が将来にわたって安心していきいきと生活できる、活力と魅力のある「元気なまち八王子」を目指し日々取り組んでいます。

また、多様な市民活動が活発化する兆しを背景として、行政に単に参加するだけでなく、地域を愛する市民が主体となって、市民自身が関わり自ら自治を担い、地域のなかで自治を創り上げていく、そのような市民参加によるまちづくりも始まっています。

「元気なまち八王子」をつくるには、市民の皆様と市が知恵と力を出し合い、互いに協働して取り組むことが必要です。そのため、本市では、広く市民の皆様のご意見をお伺いするため、毎年、市政世論調査を実施しています。

本年は、調査項目として「定住意向」「生活環境」「市政への要望」「八王子ゆめおりプランの施策指標の目標値に対する達成度」の継続項目に加え、「ごみ有料化後のごみ減量意識について」「保健衛生行政の現状と新しい『八王子保健所（仮称）』について」を設定しました。

今後も、市政世論調査を通じてまちづくりに積極的に参加する市民と、開かれた行政との協働によるまちづくりを、より一層推進していきたいと考えています。

最後になりましたが、この調査にご協力いただきました市民の皆様に心から御礼申しあげます。

平成 18 年 9 月

八王子市長　黒須　隆一

目　　次

第２章

Ⅰ　調査の概要

１．調査の目的

この調査は、市民の生活環境への意識、市の施策に対する評価及び市政への意見・要望を把握し、本市の市政運営の資料として活用することを目的とする。

２．調査設計

（１） 調査地域：八王子市内全域

（２） 調査対象：市内在住の満 20 歳以上の男女個人

（３） 対象者数：3,000 人

（４） 抽出方法：住民基本台帳からの層化二段無作為抽出法(層化→地点抽出→対象者抽出)

・層　　化…「八王子ゆめおりプラン」で示された本庁・事務所管轄区域に基づき、6 地域に区分する。(下の地域区分図参照)

・地 点 抽 出… 各地域の調査対象人口（満 20 歳以上の男女）に応じて調査対象を配分する。調査対象に基づいて合計 100 地点となるように各地区の地点数を決定、地点を抽出する。

・対象者抽出… 抽出された各地点において対象者数が 30 人となるように無作為系統抽出を行う。

【本調査における地域区分】

中央地域　：本庁管内

西部地域　：元八王子・恩方・川口

西南部地域：浅川・横山・館

北部地域　：加住・石川

東南部地域：由井・北野

東部地域　：由木・由木東・南大沢

（５） 調査方法：郵送配布・郵送回収

（６） 調査期間：平成 18 年５月 12 日～５月 26 日

（７） 調査機関：(株) サーベイリサーチセンター

３．調査項目

（１） 定住意向

（２） 生活環境

（３） 市政への要望

（４） ごみ有料化後のごみ減量意識について

（５） 保健衛生行政の現状と新しい『八王子市保健所（仮称)』について

（６） 「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度

４．回収結果

対象者数：3,000 人

有効回収数：1,759 票（有効回収率 58.6%）

５．報告書の見方

（１）集計は、小数点第２位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が 100%ちょうどにならない場合がある。

（２）回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100%を超えることがある。

（３）基数となるべき実数は、「件数」として表示した。その比率は、件数を 100%として算出した。

（４）本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。

（５）分析の軸（＝表側）として回答者の属性や設問は、「無回答」を除いているため、各回答者の属性と基数の合計が全体と一致しない場合がある。

（６）本文やグラフの選択肢表記では、長文のものについては、語句を省略していることがある。

（７）標本誤差

標本誤差（サンプル誤差）はおおよそ下記の通りである。等間隔抽出法、すなわち無作為抽出法の標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基数（n）、および回答比率（P）によって異なる。

$$b = \pm 2\sqrt{2\,\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P\,(1-P)}{n}}$$

b　＝標本誤差
N　＝母集団数
n　＝比率算出の基数（サンプル数）
P　＝回答比率

基数（n）＼回答比率（P）	10%または90%前後	20%または80%前後	30%または70%前後	40%または60%前後	50%前後
1,759	± 2.02	± 2.70	± 3.09	± 3.30	± 3.37
1,500	± 2.19	± 2.92	± 3.35	± 3.58	± 3.65
1,000	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.37
500	± 3.79	± 5.06	± 5.80	± 6.20	± 6.32
100	± 8.49	±11.31	±12.96	±13.86	±14.14

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \fallingdotseq 1$ として算出している。この表の計算式の信頼度は 95%である。

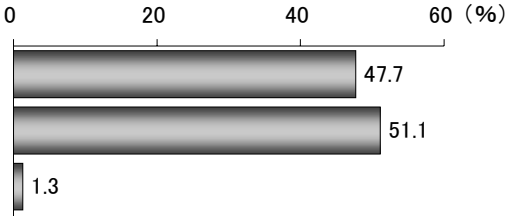
注）この表の見方

例えば、「ある設問の回答者数が 1,759 で、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±3.30%以内（56.7%～63.3%）である」と見ることができる。

６　回答者の属性

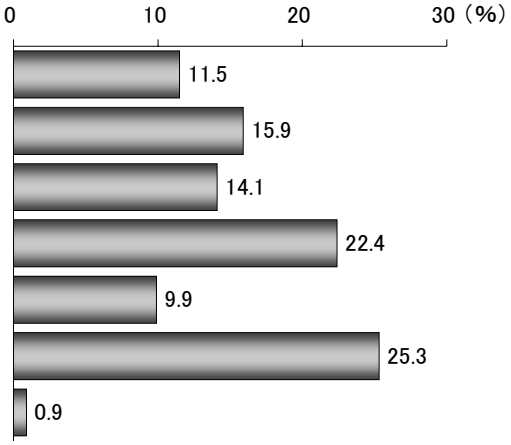
１　性別

	基数（人）	構成比（%）
１　男性	839	47.7
２　女性	898	51.1
無回答	22	1.3
合　計	1,759	100.0



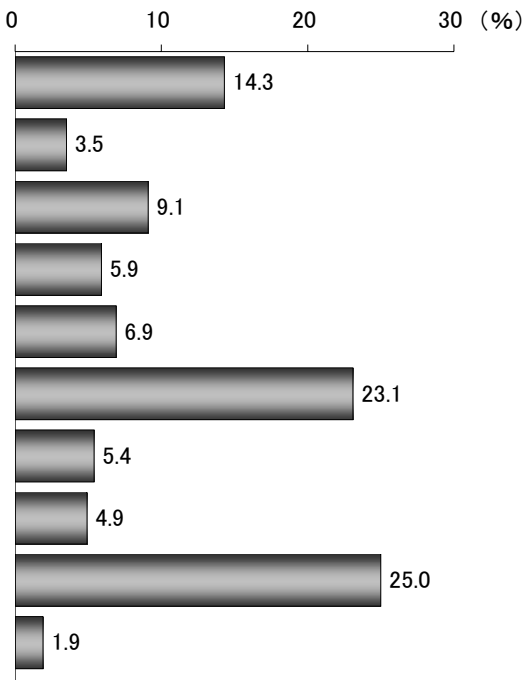
２　年齢

	基数（人）	構成比（%）
１　20歳代	203	11.5
２　30歳代	279	15.9
３　40歳代	248	14.1
４　50歳代	394	22.4
５　60～64歳	175	9.9
６　65歳以上	445	25.3
無回答	15	0.9
合　計	1,759	100.0



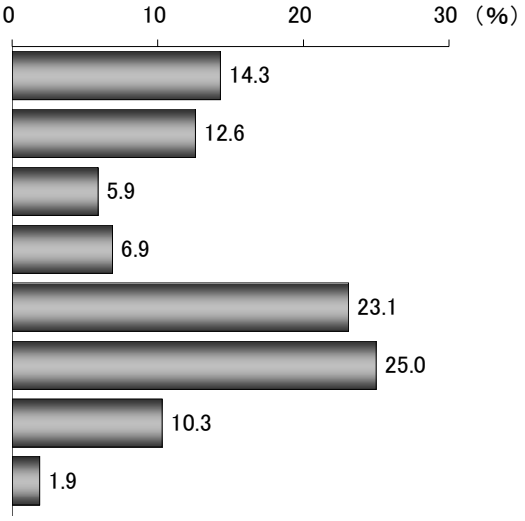
3　ライフステージ

	基数(人)	構成比(%)
1　20～39歳で単身者	252	14.3
2　20～39歳で配偶者がいて子どもがいない	61	3.5
3　20～64歳で一番下の子どもが小学校入学前	160	9.1
4　20～64歳で一番下の子どもが小学生	104	5.9
5　20～64歳で一番下の子どもが中学・高校生	121	6.9
6　20～64歳で一番下の子どもが高校を卒業している	406	23.1
7　40～64歳で単身者	95	5.4
8　40～64歳で配偶者がいて子どもがいない	87	4.9
9　65歳以上	439	25.0
無回答	34	1.9
合　計	1,759	100.0



■　ライフステージ（集約型）

	基数(人)	構成比(%)
1　独身期	252	14.3
2　家族形成期	221	12.6
3　家族成長前期	104	5.9
4　家族成長後期	121	6.9
5　家族成熟期	406	23.1
6　老齢期	439	25.0
7　その他	182	10.3
無回答	34	1.9
合　計	1,759	100.0

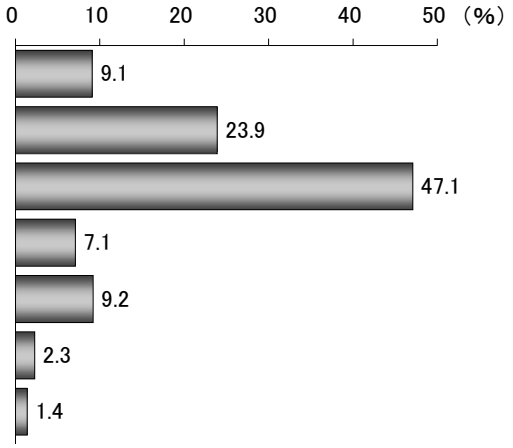


■　ライフステージ区分

独　身　期	20～39 歳で単身者
家族形成期	20～39 歳で配偶者がいて子どもがいない または、20～64 歳で一番下の子どもが小学校入学前
家族成長前期	20～64 歳で一番下の子どもが小学生
家族成長後期	20～64 歳で一番下の子どもが中学・高校生
家族成熟期	20～64 歳で一番下の子どもが高校を卒業している
老　齢　期	65 歳以上
そ　の　他	40～64 歳で単身者 または、40～64 歳で配偶者がいて子どもがいない

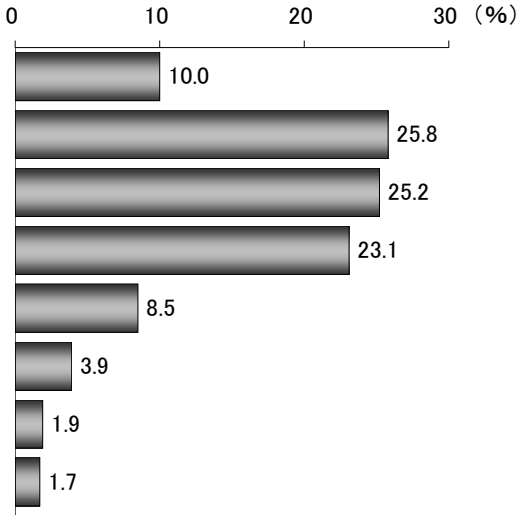
4　世帯構成

	基数(人)	構成比(%)
1　ひとり暮らし(単身世帯)	160	9.1
2　夫婦のみ(一世代世帯)	420	23.9
3　親と未婚の子ども(二世代世帯)	828	47.1
4　親と子ども夫婦(二世代世帯)	125	7.1
5　親と子どもと孫(三世代世帯)	161	9.2
6　その他	41	2.3
無回答	24	1.4
合　計	1,759	100.0



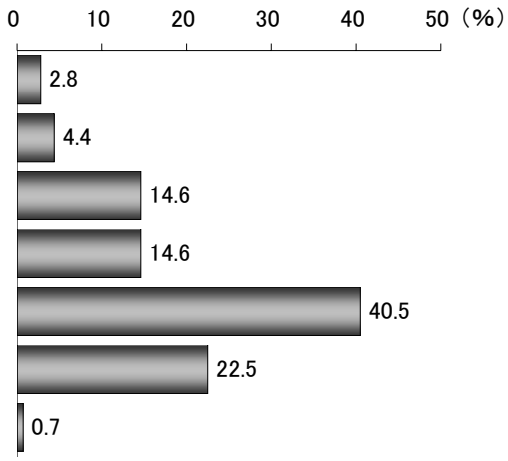
5　同居家族人数

	基数(人)	構成比(%)
1　1人	176	10.0
2　2人	453	25.8
3　3人	443	25.2
4　4人	407	23.1
5　5人	149	8.5
6　6人	68	3.9
7　7人以上	33	1.9
無回答	30	1.7
合　計	1,759	100.0



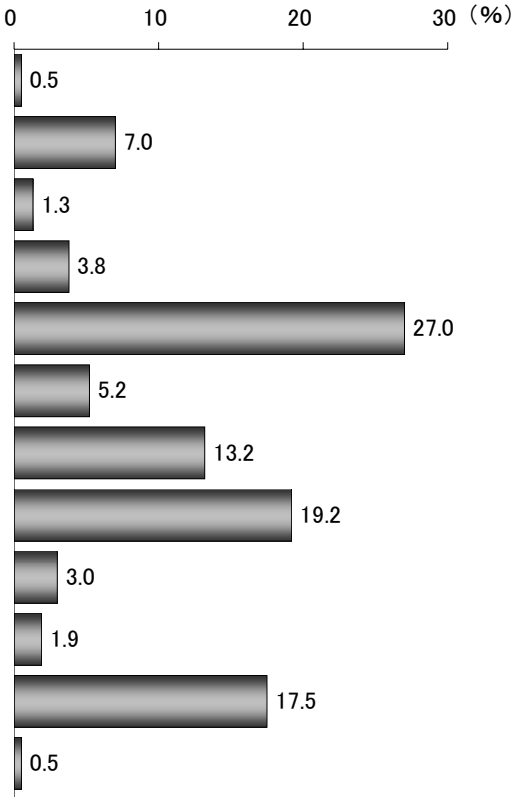
6　居住年数

	基数(人)	構成比(%)
1　1年未満	49	2.8
2　1～3年未満	78	4.4
3　3～10年未満	256	14.6
4　10～20年未満	256	14.6
5　20年以上	712	40.5
6　生まれてからずっと	396	22.5
無回答	12	0.7
合　計	1,759	100.0



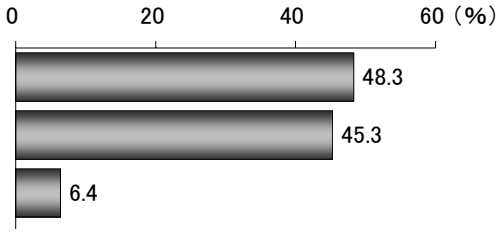
7　職業

	基数(人)	構成比(%)
1　農・林・漁業	8	0.5
2　自営業	124	7.0
3　自由業(開業医、弁護士、司法書士など)	23	1.3
4　会社や団体の役員	66	3.8
5　会社・商店・サービス業などの勤め人	475	27.0
6　教員・公務員	91	5.2
7　アルバイト・パート	232	13.2
8　(専業)主婦・主夫	338	19.2
9　学生	52	3.0
10　その他	33	1.9
11　無職	308	17.5
無回答	9	0.5
合　計	1,759	100.0



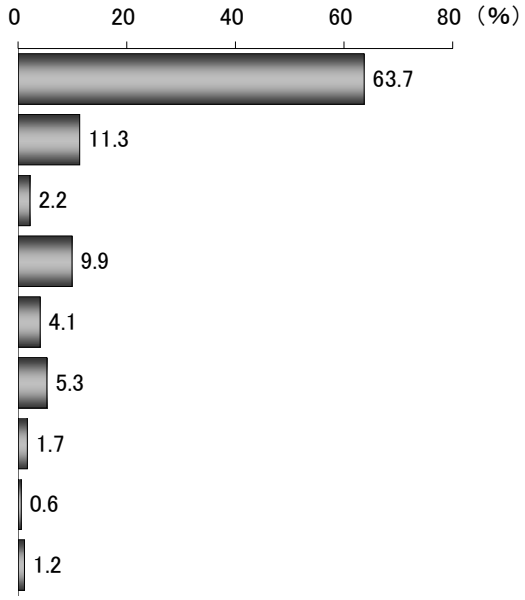
7－1　仕事場

	基数(人)	構成比(%)
1　八王子市内	492	48.3
2　八王子市外	462	45.3
無回答	65	6.4
合　計	1,019	100.0



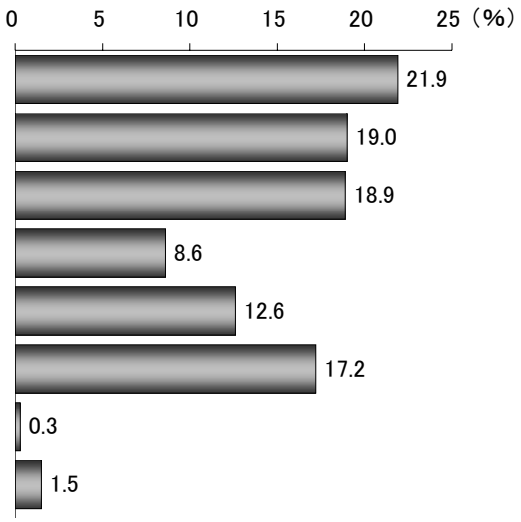
8　居住形態

	基数(人)	構成比(%)
1　一戸建て(持ち家)	1,120	63.7
2　分譲マンション	198	11.3
3　一戸建て(借家)	38	2.2
4　民間の賃貸アパート・マンション	175	9.9
5　都市再生機構(旧公団)・公社の賃貸住宅	72	4.1
6　都営・市営住宅	94	5.3
7　社宅・官舎・寮	30	1.7
8　その他	11	0.6
無回答	21	1.2
合　計	1,759	100.0



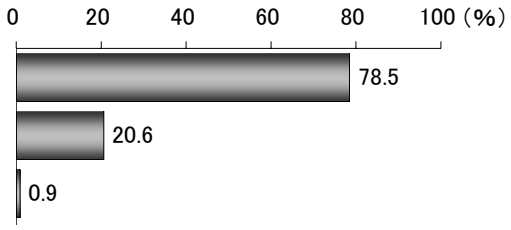
9　居住地域

	基数(人)	構成比(%)
1　本庁管内(中央地域)	385	21.9
2　元八王子・恩方・川口(西部地域)	334	19.0
3　浅川・横山・館(西南部地域)	333	18.9
4　加住・石川(北部地域)	152	8.6
5　由井・北野(東南部地域)	221	12.6
6　由木・由木東・南大沢(東部地域)	303	17.2
7　不明	5	0.3
無回答	26	1.5
合　計	1,759	100.0



10　町会・自治会の加入状況

	基数(人)	構成比(%)
1　入っている	1,381	78.5
2　入っていない	362	20.6
無回答	16	0.9
合　計	1,759	100.0



Ⅱ　調査結果の分析

第１章

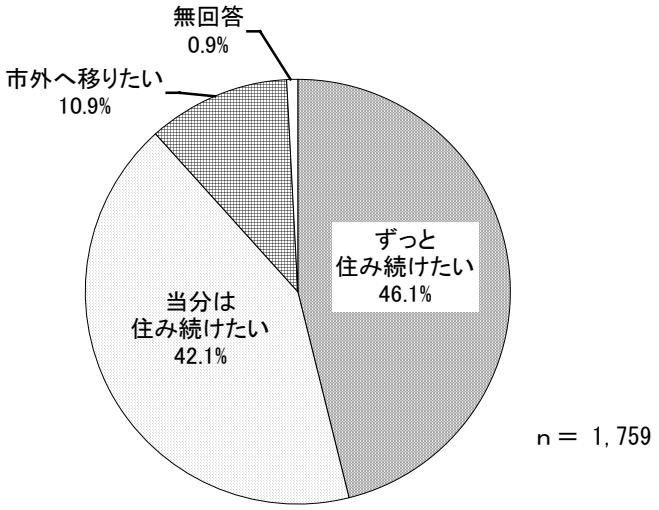
１．定住意向

１－１　定住意向

◇『住み続けたい』が９割近く、「市外へ移りたい」が１割強

問１　あなたは、これからも八王子市に住み続けたいと思いますか。（○は１つだけ）

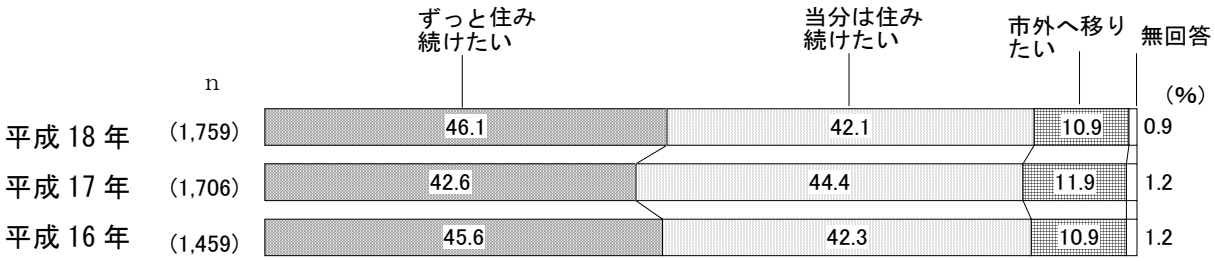
図１－１－１



市への定住意向について聞いたところ、「ずっと住み続けたい」が４割台半ば(46.1%)と最も高く、「当分は住み続けたい」(42.1%)と合わせた『住み続けたい』は９割近く(88.2%)を占める。また、「市外へ移りたい」は１割強(10.9%)にとどまっている。(図１－１－１)

過去の調査と比較すると、今回は平成 17 年より「ずっと住み続けたい」は 3.5 ポイント上昇し、「市外へ移りたい」は１ポイント減少している。なお、『住み続けたい』は、平成 17 年より 1.2 ポイント上昇しており、今回も９割近く（88.2%）と高い水準を維持している。(図１－１－２)

図１－１－２　定住意向－経年比較

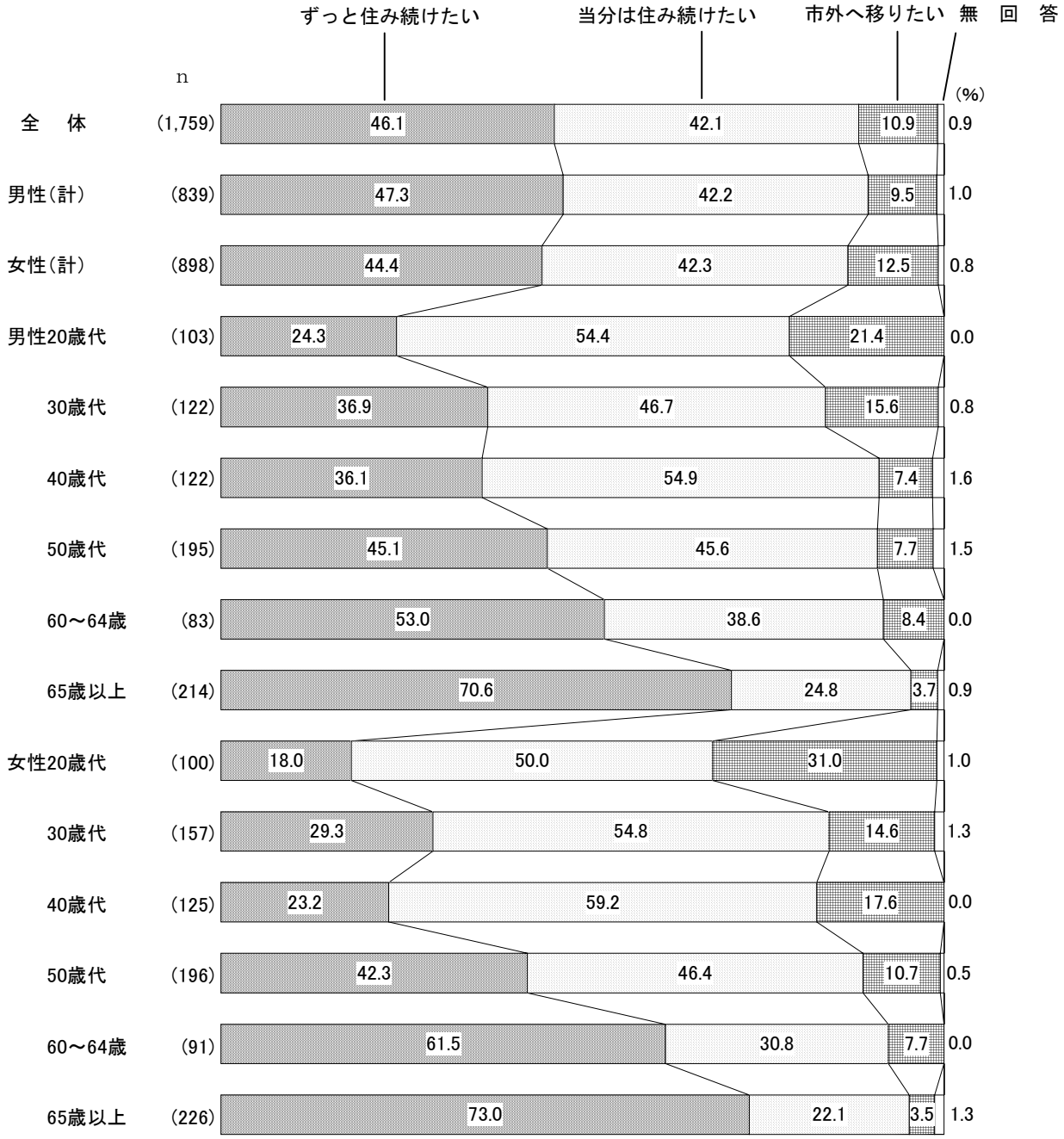


性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向となっている。

性･年齢別にみると、「ずっと住み続けたい」は男女ともに高い年代ほど割合が高い傾向にあり、特に男性 65 歳以上と女性 65 歳以上の年代においては、男女ともに７割以上と高くなっている。

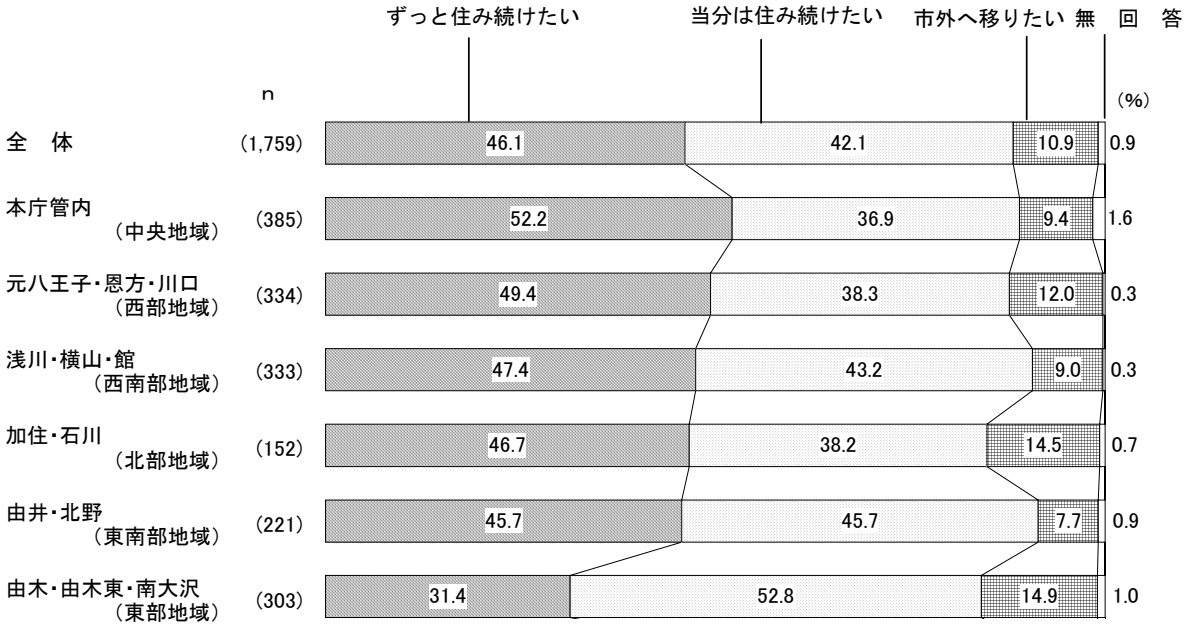
また、「市外へ移りたい」は男性 20 歳代と女性 20 歳代の年代で２割以上と、他の年齢層と比べ高くなっている。（図１－１－３）

図１－１－３　定住意向－性･年齢別



居住地別にみると、『住み続けたい』はすべての地域で８割以上を占め高くなっている。また、「ずっと住み続けたい」は本庁管内（中央地域）が半数を超え高く、これに元八王子･恩方・川口（西部地域）が僅差で続いている。一方、由木・由木東・南大沢（東部地域）は３割（31.4％）と、他の地域が４割台半ばを超えているのに比べ、低くなっている。（図１－１－４）

図１－１－４　定住意向－居住地域別



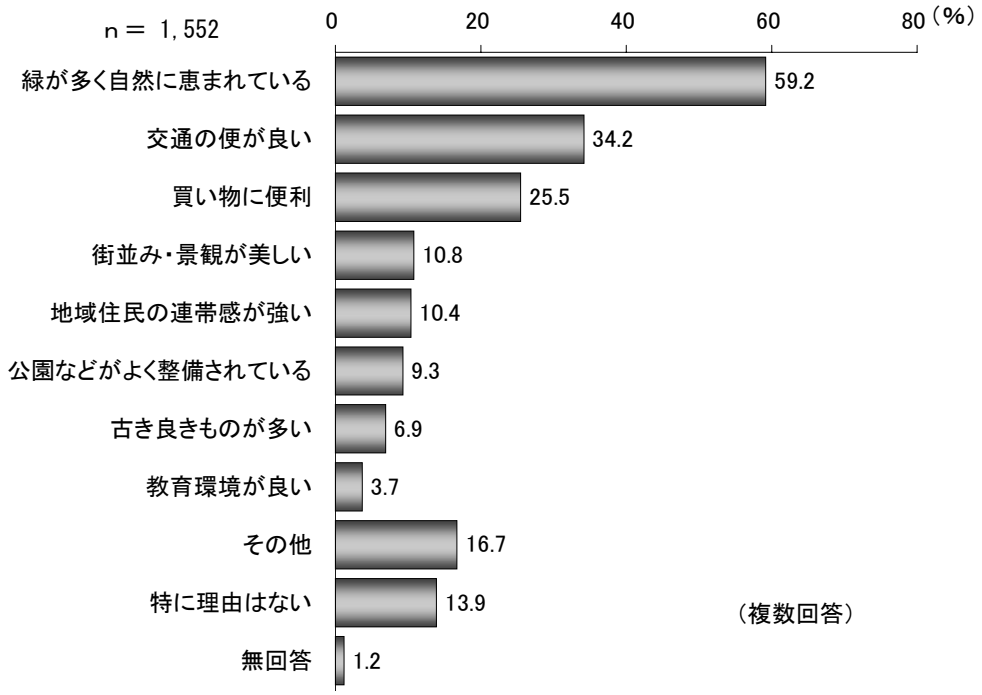
１－２　住み続けたい理由

◇「緑が多く自然に恵まれている」がほぼ６割となり、突出している

（問１で「１　ずっと住み続けたい」または「２　当分は住み続けたい」とお答えの方に）

問１－１　住み続けたい主な理由は何ですか。（○は３つまで）

図１－２－１

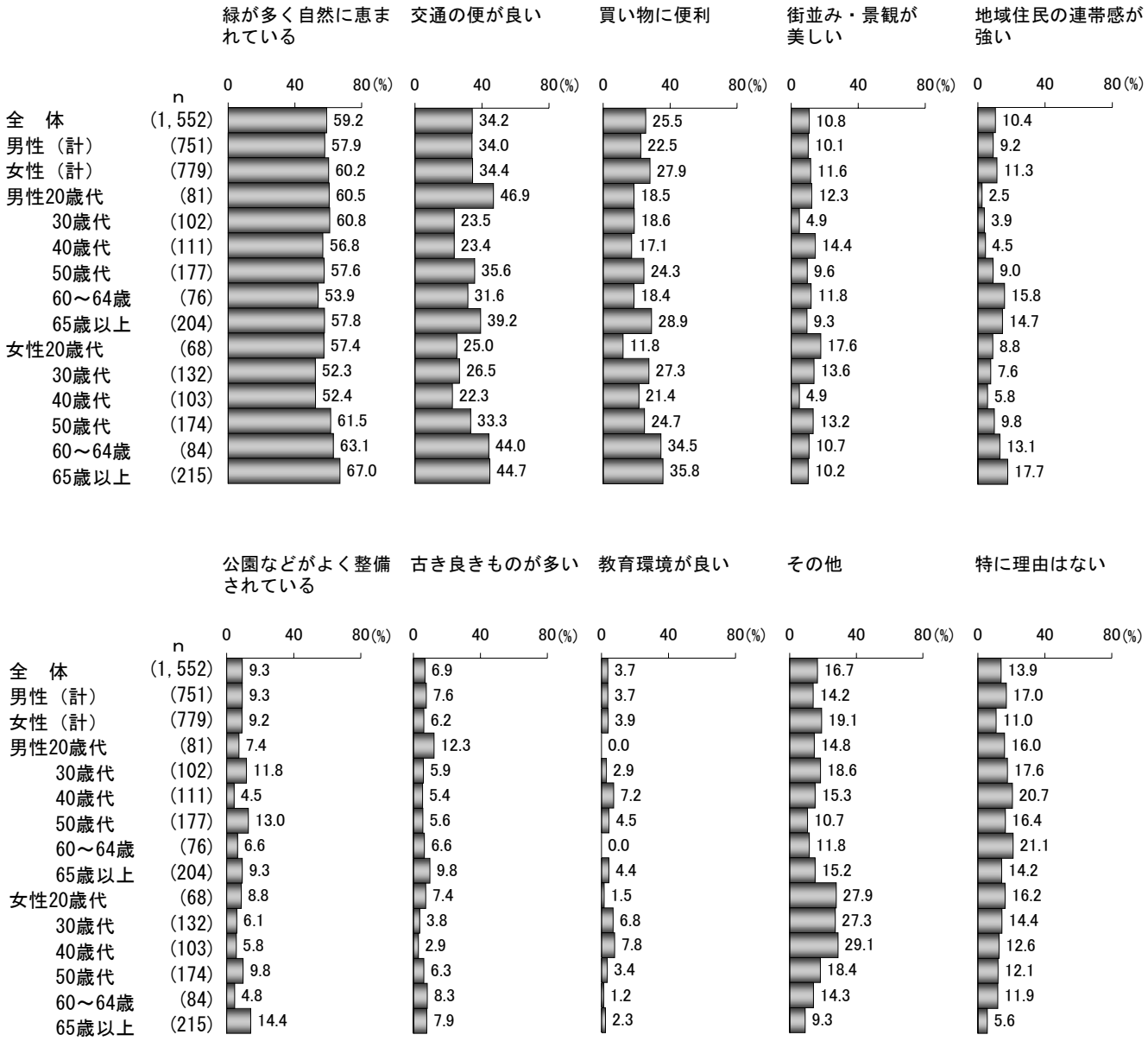


八王子市への定住意向で「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」と答えた人(1,552 人)に、住み続けたい理由について聞いたところ、「緑が多く自然に恵まれている」が６割近く(59.2%)と最も高く、ついで「交通の便が良い」(34.2%)、「買い物に便利」(25.5%)、「街並み・景観が美しい」(10.8%)と続いている。(図１－２－１)

性別にみると、女性は「買い物に便利」が男性よりも5.4ポイント高い。一方、男性は「特に理由がない」が女性に比べ、6.0ポイント高くなっている。

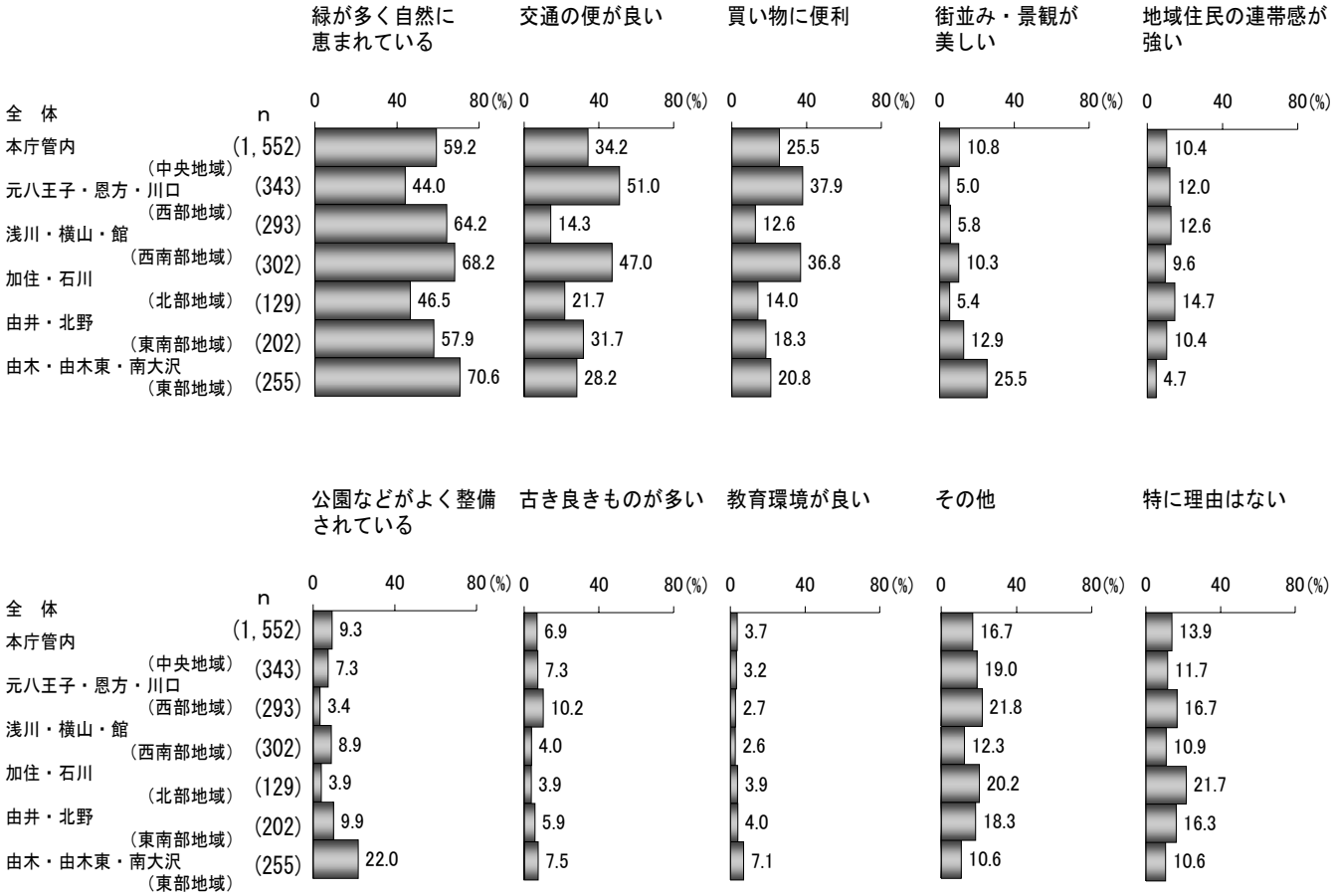
年齢別にみると、「緑が多く自然に恵まれている」は男性の 20 歳代、30 歳代で６割を超え、女性の 65 歳以上では７割弱（67.0%）と高くなっている。また、「交通の便が良い」が男性 20 歳代で５割弱（46.9%）と高く、「買い物に便利」が女性 65 歳以上で３割台半ば（35.8%）と高くなっている。「地域住民の連帯感が強い」は、男性・女性ともに高い年代ほど割合が高い傾向にある。（図１－２－２）

図１－２－２　住み続けたい理由－性別・年齢別



居住地域別にみると、本庁管内（中央地域）では「交通の便が良い」で５割（51.0%）、「買い物に便利」が４割近く（37.9%）と高くなっている。由木・由木東・南大沢(東部地域)では「緑が多く自然に恵まれている」で７割（70.6%）、「街並み・景観が美しい」で２割台半ば（25.5%）、「公園がよく整備されている」が２割を超え（22.0%）、高くなっている。（図１－２－３）

図１－２－３　住み続けたい理由－居住地域別



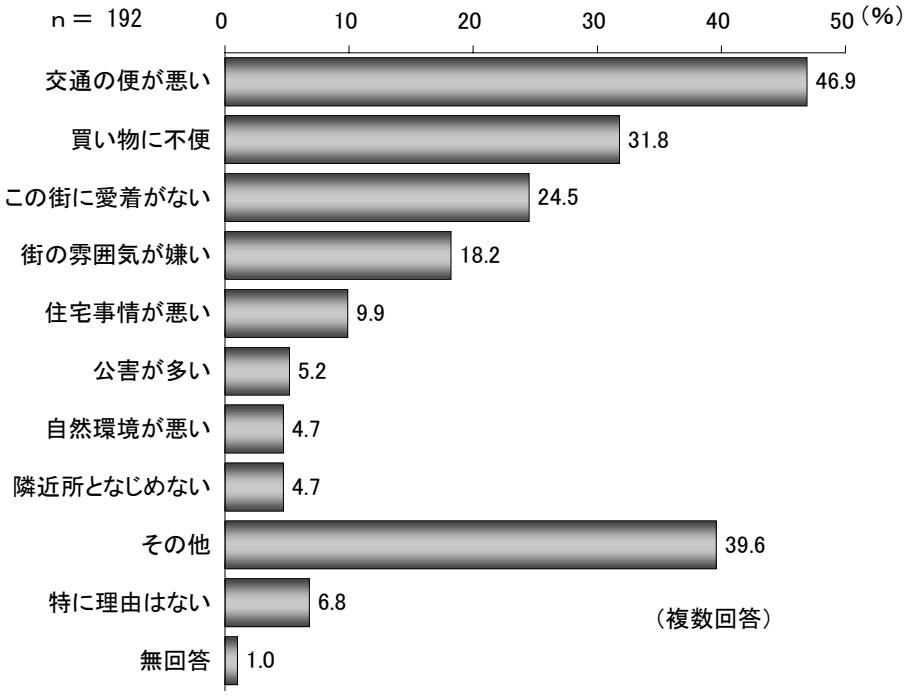
１－３　市外へ移りたい理由

◇「交通の便が悪い」が４割台半ば、「買物に不便」が３割強

（問１で「３　市外へ移りたい」とお答えの方に）

問１－２　市外へ移りたい主な理由は何ですか。（○は３つまで）

図１－３－１



八王子市への定住意向で「市外へ移りたい」と答えた人(192 人)に、市外へ移りたい理由について聞いたところ、「交通の便が悪い」が４割台半ば(46.9%)と最も高く、ついで「買い物に不便」(31.8%)、「この街に愛着がない」(24.5%)、「街の雰囲気が嫌い」(18.2%)と続いている。(図１－３－１)

性別にみると、「街の雰囲気が嫌い」で男性の方が 7.3 ポイント高く、「交通の便が悪い」で 13.9 ポイント、「買い物に不便」で 13.7 ポイント、それぞれ女性の方が高くなっている。(図１－３－２)

居住地域別に見ると、元八王子・恩方・川口（西部地域）では、「交通の便が悪い」が６割（62.5%）を超えている。由井・北野(東南部地域)では、「買い物に不便」が５割弱（47.1%)、「街の雰囲気が悪い」が３割台半ば（35.3%）で高い。由木・由木東･南大沢（東部地域）では、「この街に愛着がない」が３割を超え（33.3%)、高くなっている。(図１－３－３)

図１－３－２　市外へ移りたい理由－性別

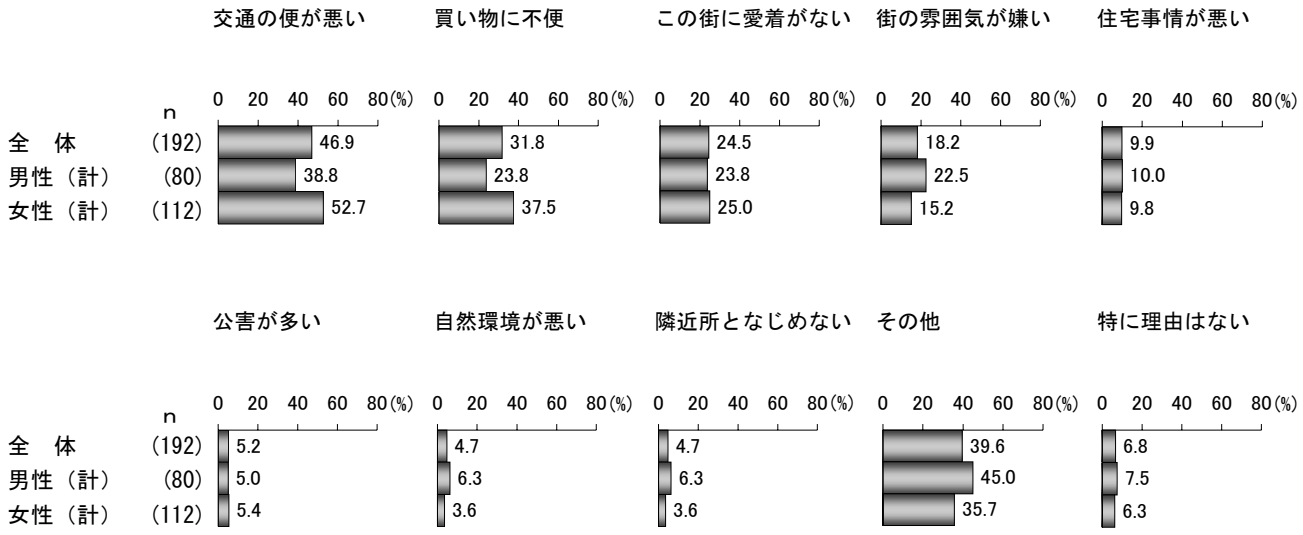
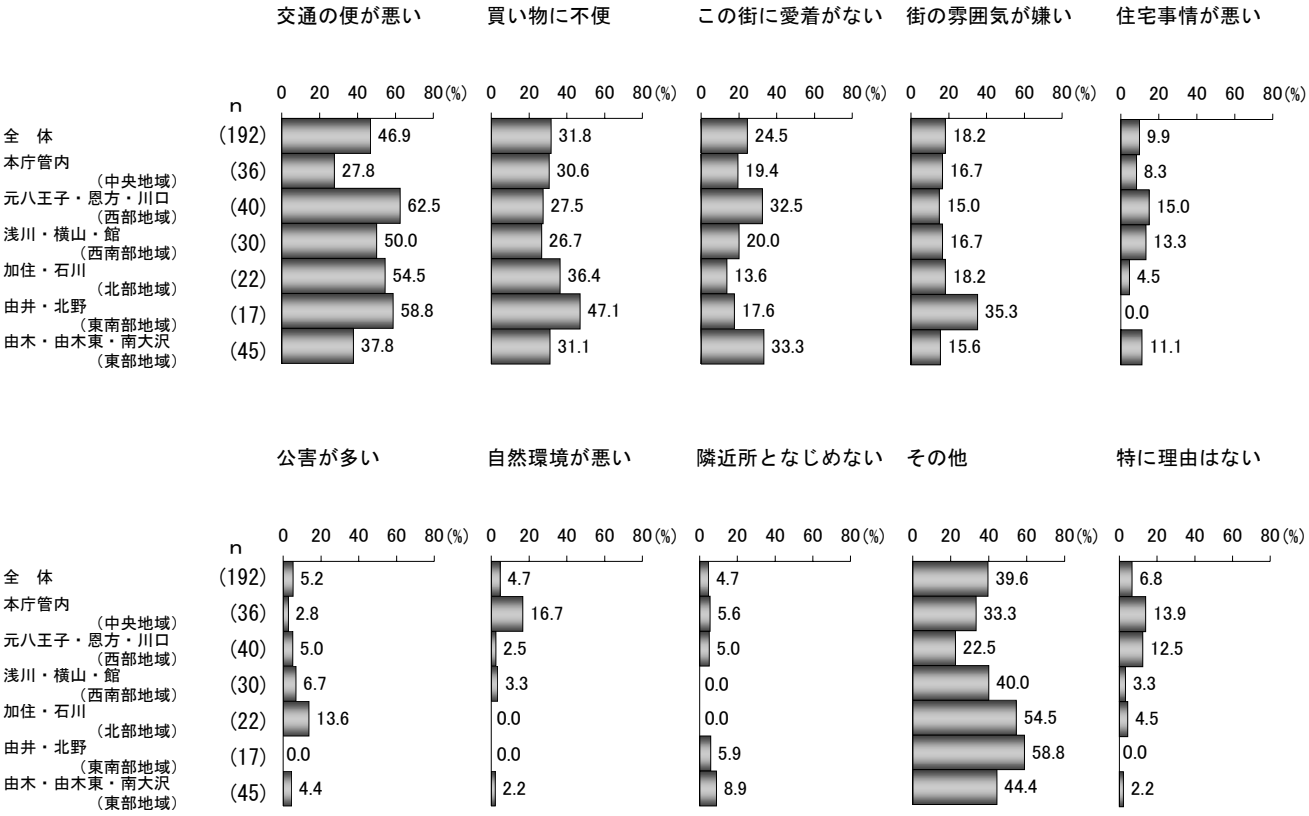


図１－３－３　市外へ移りたい理由－居住地域別



２．生活環境

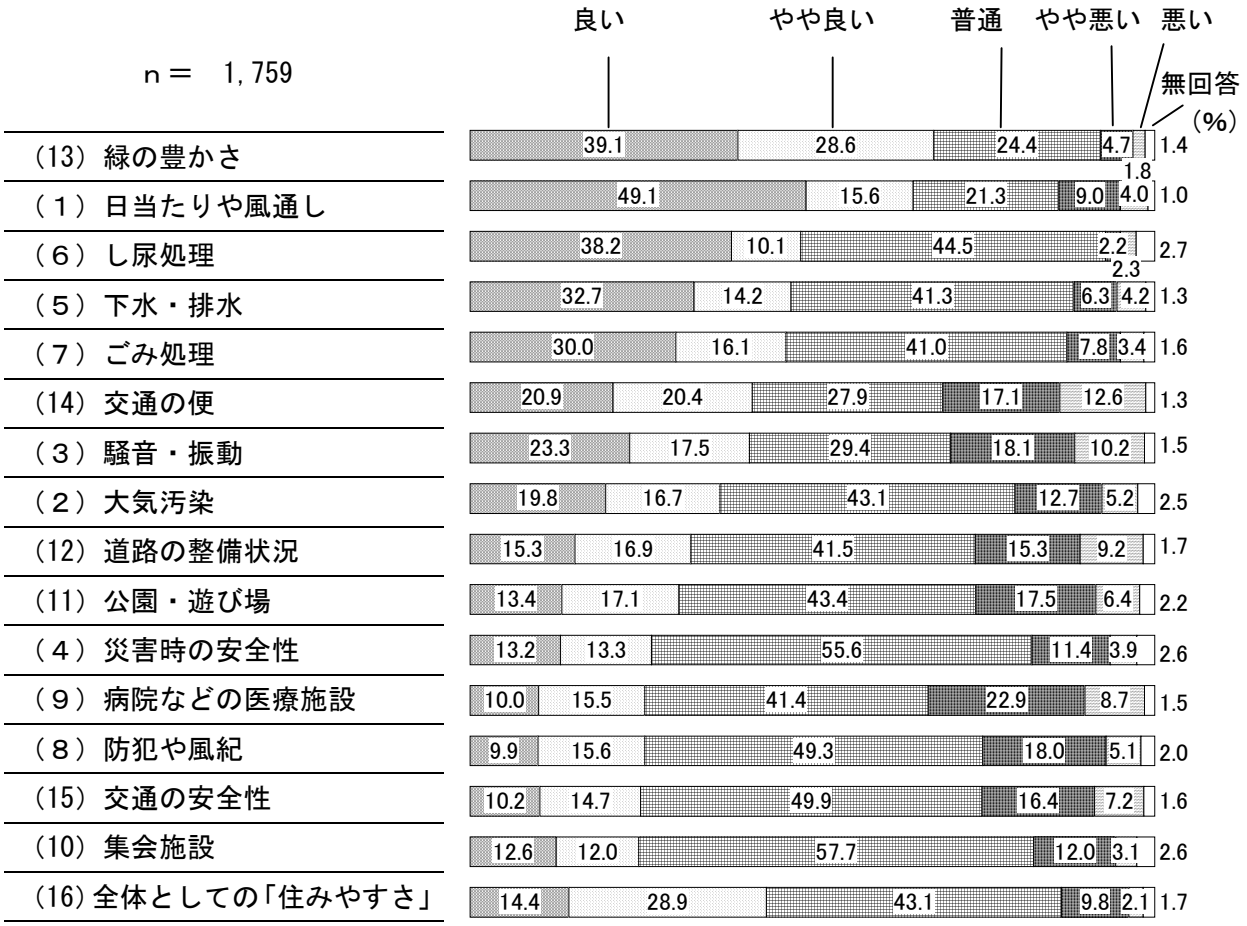
２－１　生活環境の評価

◇「緑の豊かさ」と「日当たりや風通し」の二項目の評価が高い

問２　あなたは、周囲の生活環境について日頃どのように感じていますか。

（１）～（16）の各項目それぞれについてお答えください。（○はそれぞれ１つ）

図２－１－１



※【(16)全体としての「住みやすさ」】を除き、「良い」と「やや良い」の合算で比率の高い順に並べた

周囲の生活環境について聞いたところ、「(１)日当たりや風通し」において「良い」が５割弱(49.1%)と最も高く、「やや良い」(15.6%)と合わせた『良い』は６割台半ば(64.7%)となっている。一方で、「(９)病院などの医療施設」において「やや悪い」が２割強(22.9%)とかなり高く、「悪い」(8.7%)と合わせた『悪い』は３割強(31.6%)と他の項目と比べて高くなっている。(図２－１－１)

■評価順位

生活環境を 15 の項目に分け、それぞれの評価を聞いた。

「良い」と「やや良い」の合計を【良い】とし、「やや悪い」と「悪い」の合計を【悪い】とみなした場合の、それぞれ上位５項目をあげると次のようになっている。（図２－１－１）

【良　い】		【悪　い】	
①緑の豊かさ	(67.7%)	①病院などの医療施設	(31.6%)
②日当たりや風通し	(64.7%)	②交通の便	(29.7%)
③し尿処理	(48.3%)	③騒音・振動	(28.3%)
④下水・排水	(46.9%)	④道路の整備状況	(24.5%)
⑤ごみ処理	(46.1%)	⑤公園・遊び場	(23.9%)

なお、【(16)全体としての「住みやすさ」】は、【良い】が４割を超え（43.3%）、【悪い】が１割（11.9%）と、【良い】が 31.4 ポイント高くなっている。

加重平均値（満足度）

生活環境の評価を比率でみるのとは別に、その比較をより明確にするために、加重平均値による数量化を行った。これは、下記の計算式にあるように、数段階の評価に点数を与え、評価点を算出する方法である。

評価点＝（「良い」の回答者数×５点＋「やや良い」の回答者数×４点＋「普通」の回答者数×３点＋「やや悪い」の回答者数×２点＋「悪い」の回答者数×１点）÷回答者数

この計算方法では、評価点は 5.00 点～1.00 点の間に分布し、中間点の 3.00 点を境に、5.00 点に近くなるほど満点度は高くなり、逆に 1.00 点に近くなるほど不満足度が高くなる。

■満足度順位

以上の算出方法による評価点の高いものと、低いものの上位５項目は次のようになっている。

（図２－１－２）

【上　位】		【下　位】	
①緑の豊かさ	(4.00 点)	①病院などの医療施設	(2.95 点)
②日当たりや風通し	(3.98 点)	②交通の安全性	(3.04 点)
③し尿処理	(3.82 点)	③公園・遊び場	(3.14 点)
④下水・排水	(3.66 点)	③道路の整備状況	(3.14 点)
⑤ごみ処理	(3.63 点)	⑤集会施設	(3.19 点)

図２－１－２　生活環境の評価点

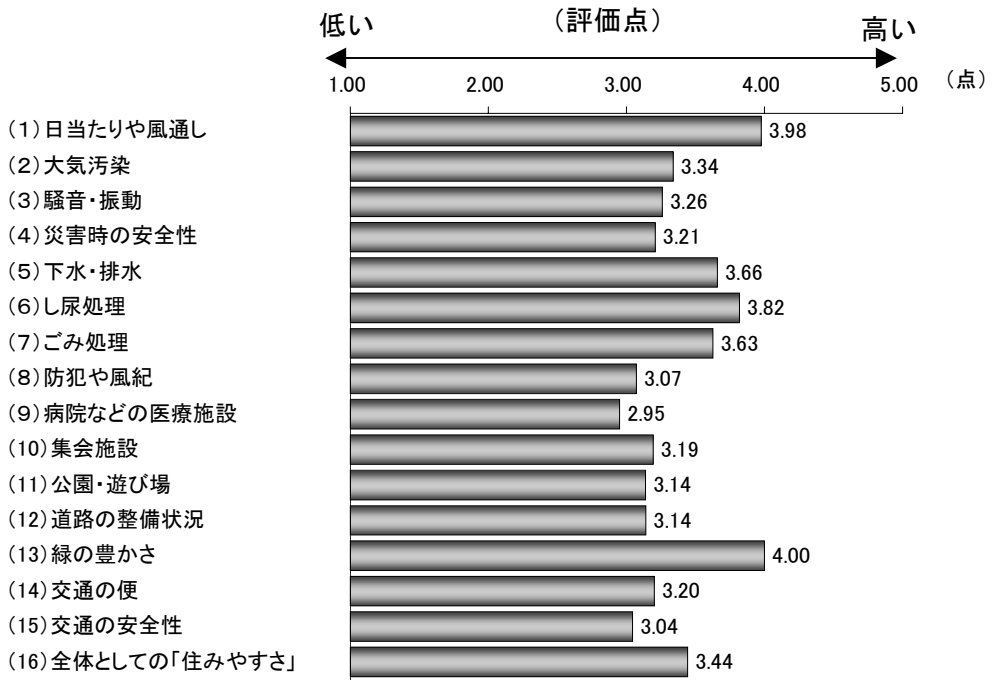


表２－１－２　生活環境の評価点（加重平均）－居住地域別

	全体	評価点					
		本庁管内（中央地域）	元八王子・恩方・川口（西部地域）	浅川・横山・館（西南部地域）	加住・石川（北部地域）	由井・北野（東南部地域）	由木・由木東・南大沢（東部地域）
（１）日当たりや風通し	3.98	3.71	4.07	3.92	3.97	4.14	4.15
（２）大気汚染	3.34	2.99	3.46	3.36	2.87	3.54	3.72
（３）騒音・振動	3.26	2.96	3.46	3.30	2.69	3.53	3.49
（４）災害時の安全性	3.21	3.09	3.25	3.25	3.12	3.37	3.22
（５）下水・排水	3.66	3.66	3.34	3.78	3.62	3.89	3.73
（６）し尿処理	3.82	3.86	3.51	3.92	3.81	4.03	3.86
（７）ごみ処理	3.63	3.65	3.52	3.75	3.54	3.69	3.58
（８）防犯や風紀	3.07	2.99	3.13	3.15	2.94	3.06	3.11
（９）病院などの医療施設	2.95	3.11	2.63	3.25	3.09	2.91	2.74
（10）集会施設	3.19	3.24	3.10	3.26	3.29	3.12	3.20
（11）公園・遊び場	3.14	2.94	2.86	3.20	3.05	3.26	3.58
（12）道路の整備状況	3.14	3.08	2.61	3.20	3.00	3.28	3.70
（13）緑の豊かさ	4.00	3.46	4.10	4.08	3.90	4.18	4.41
（14）交通の便	3.20	3.66	2.35	3.58	2.66	3.32	3.31
（15）交通の安全性	3.04	3.01	2.61	3.20	2.73	3.18	3.45
（16）全体としての「住みやすさ」	3.44	3.37	3.19	3.60	3.24	3.60	3.65

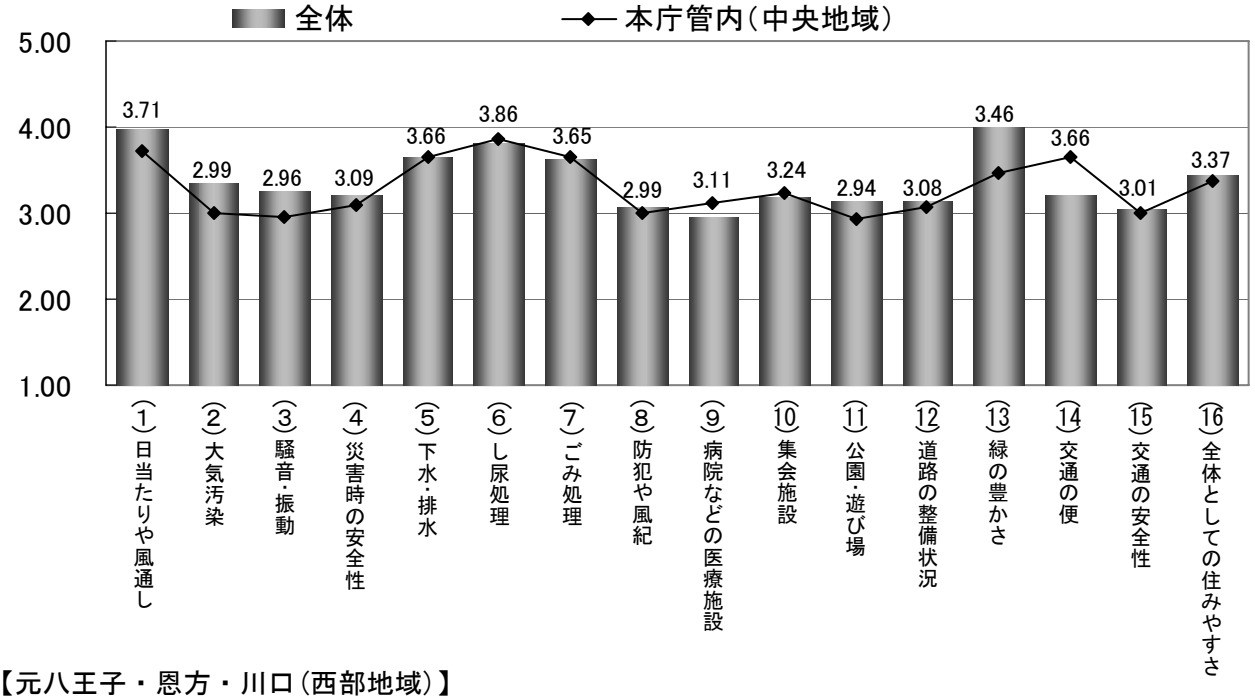
■ は項目内での最高値　　■ は項目内での最低値

次に、16 項目の評価の加重平均値を居住地域ごとに、市全体と対比させてグラフを表示する。

【本庁管内（中央地域）】

市全体より上回っているのは、16 項目中５項目で、最も差が大きいのは、「交通の便」（＋0.46 ポイント）となっている。下回っているのは、11 項目で、最も差が大きいのは、「緑の豊かさ」（－0.54 ポイント）で、他に差が大きいのは、大気汚染（－0.35 ポイント）、騒音･振動（－0.30 ポイント）となっている。（図２－１－３）

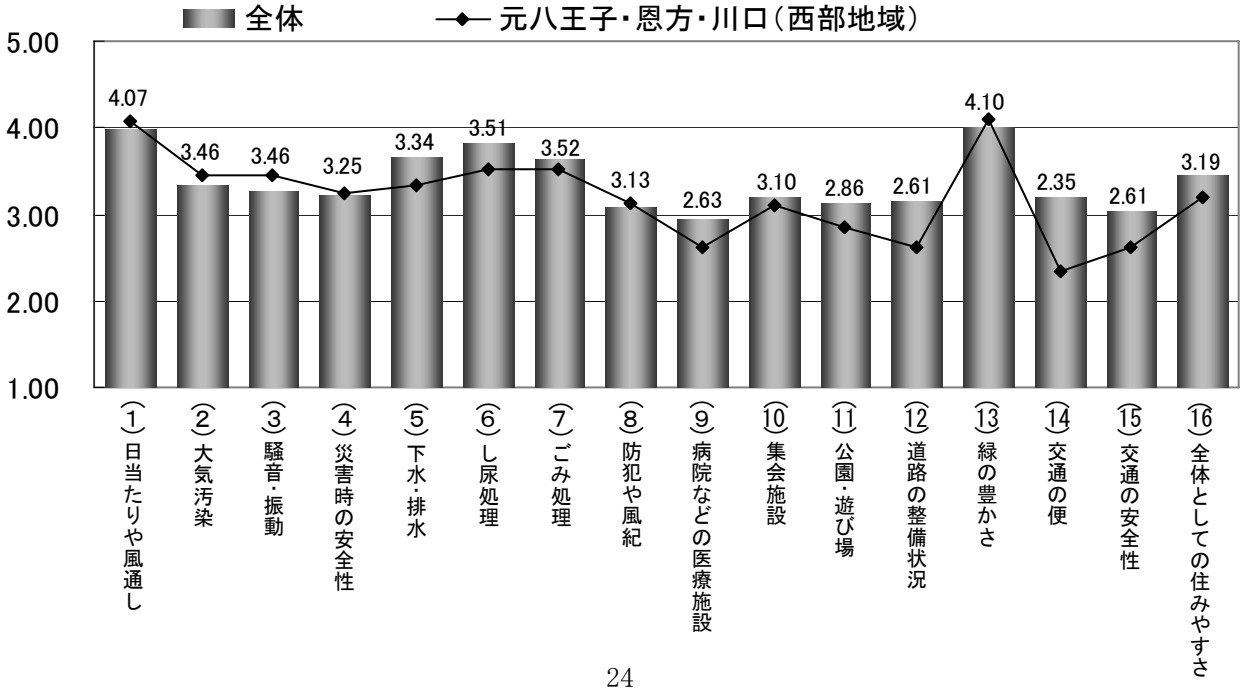
図２－１－３　生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「本庁管内（中央地域）」



【元八王子・恩方・川口（西部地域）】

市全体より上回っているのは、16 項目中６項目で、最も差が大きいのは、「騒音･振動」（＋0.20 ポイント）となっている。下回っているのは 10 項目で、最も差が大きいのは「交通の便」（－0.85 ポイント）で、他に差が大きいのは、道路の整備状況（－0.53 ポイント）、交通の安全性（－0.43 ポイント）となっている。（図２－１－４）

図２－１－４　生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「元八王子・恩方・川口（西部地域）」

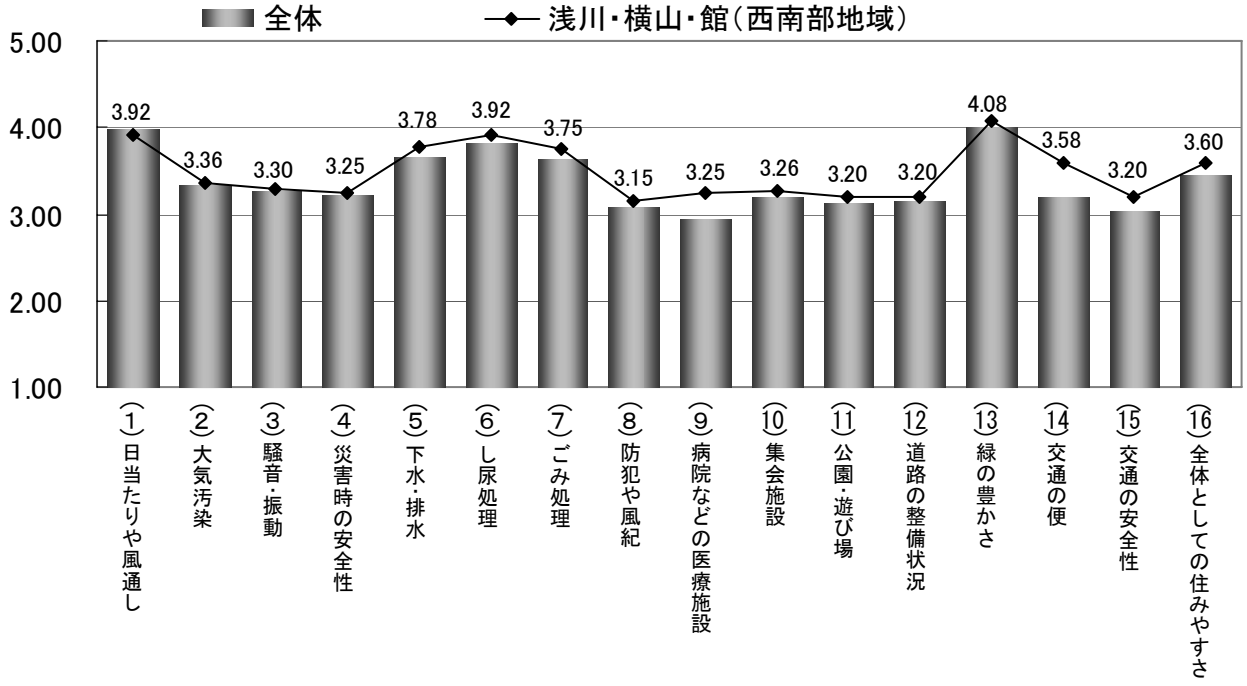


【浅川・横山・館(西南部地域)】

市全体より上回っているのは、16 項目中 15 項目で、最も差が大きいのは「交通の便」(＋0.38 ポイント)で、他に差が大きいのは「病院などの医療施設」(＋0.30 ポイント) となっている。

(図２－１－５)

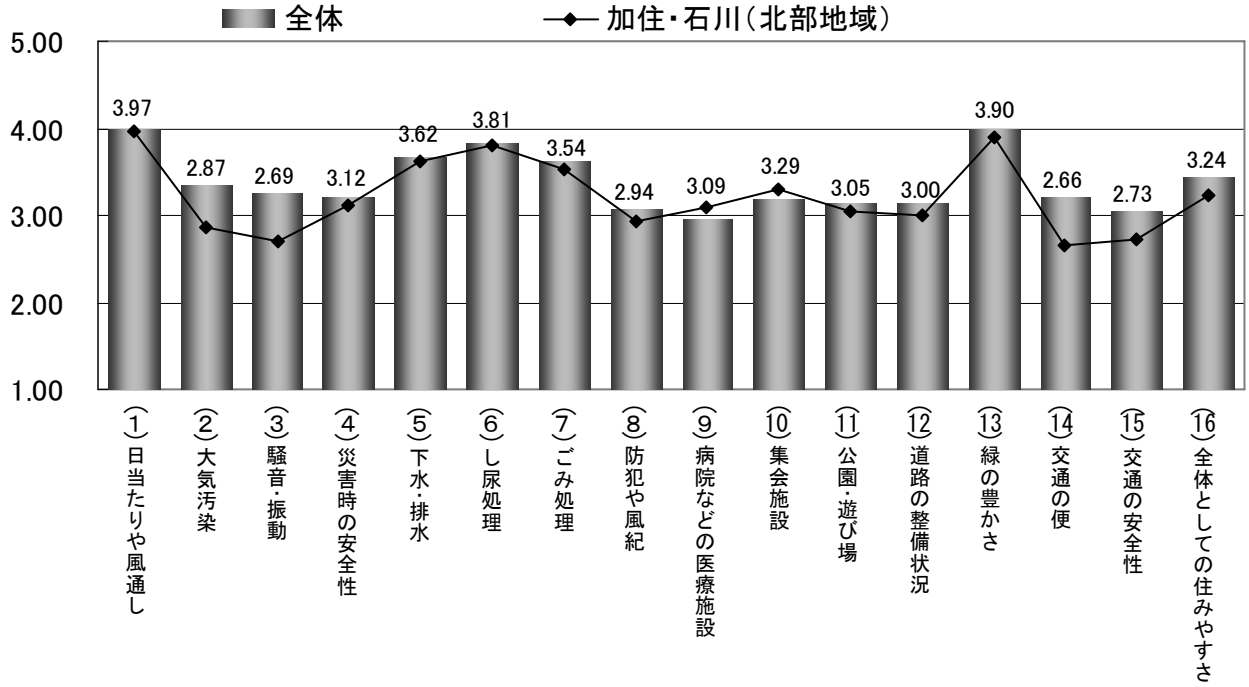
図２－１－５　生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「浅川・横山・館(西南部地域)」



【加住・石川(北部地域)】

市全体より上回っているのは、16 項目中２項目で、差が大きくなっている項目はみられない。
下回っている項目は 14 項目で、全地域で最も多い。最も差が大きいのは「騒音･振動」(－0.57 ポイント)で、他に差が大きいのは、「交通の便」(－0.54 ポイント)、「大気汚染」(－0.47 ポイント)、「交通の安全性」(－0.31 ポイント) となっている。(図２－１－６)

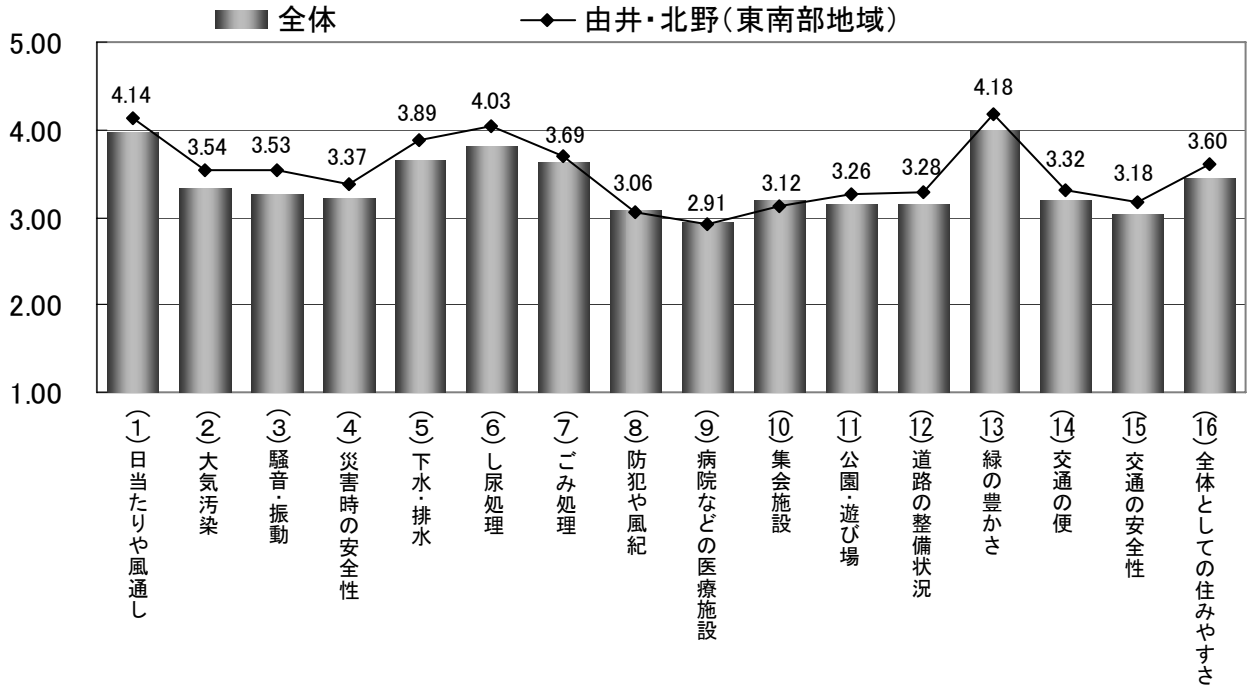
図２－１－６　生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「加住・石川(北部地域)」



【由井・北野（東南部地域）】

市全体より上回っているのは、16 項目中 13 項目、下回っているのは３項目で、いずれも差が大きくなっている項目はみられない。（図２－１－７）

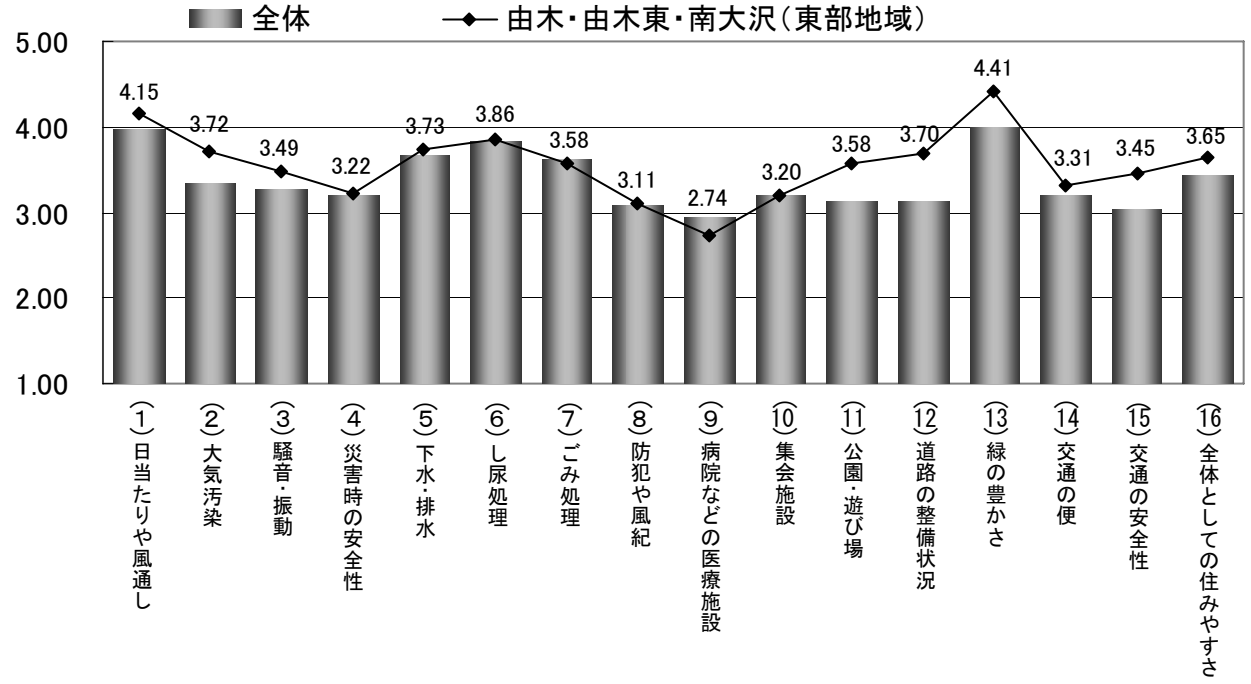
図２－１－７　生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「由井・北野（東南部地域）」



【由木・由木東・南大沢（東部地域）】

市全体より上回っているのは、16 項目中 14 項目で、最も差が大きいのは「道路の整備状況」（＋0.56 ポイント）で、他に差が大きいのは、「公園・遊び場」（＋0.44 ポイント）、「緑の豊かさ」（＋0.41 ポイント）、「交通の安全性」（＋0.41 ポイント）となっている。下回っているのは、「病院などの医療施設」（－0.21 ポイント）、「ごみ処理」（－0.05 ポイント）となっている。（図２－１－８）

図２－１－８　生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「由木・由木東・南大沢（東部地域）」



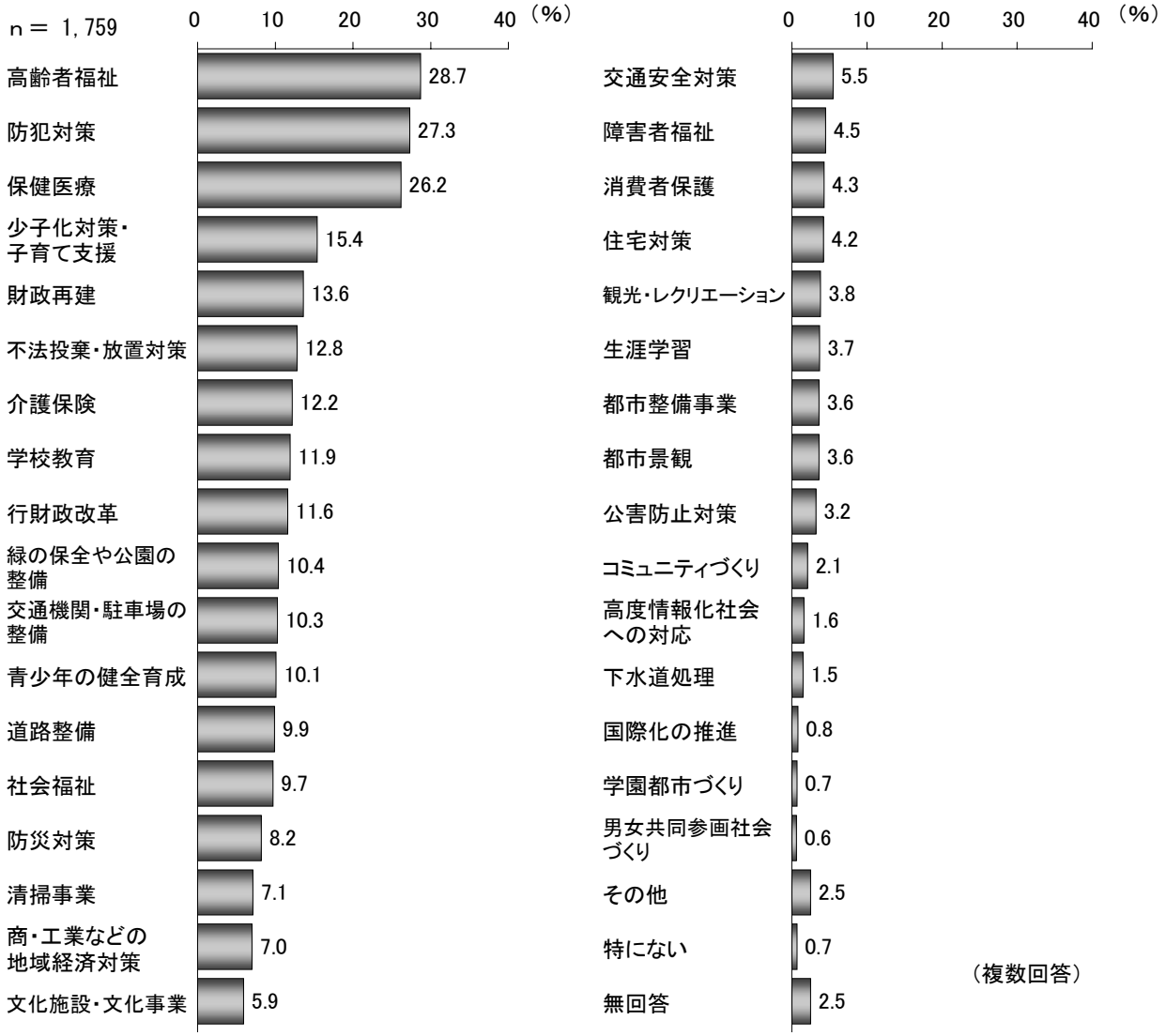
３．市政への要望

３－１　重点施策要望

◇「高齢者福祉」、「防犯対策」、「保健医療」が上位３施策

問３　市政全般において、あなたが特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。次の１～35の中から３つ選び、下の回答欄内に番号をご記入ください。

図３－１－１



市政全般において特に力を入れてほしいと思う施策について聞いたところ、「高齢者福祉」（28.7%）「防犯対策」（27.3%）、「保健医療」（26.2%）の三項目が３割弱で高い。ついで「少子化対策・子育て支援」（15.4%）、「財政再建」（13.6%）と続いている。（図３－１－１）

経年での変化を見ると、前回から引き続き上位４位は「防犯対策」、「高齢者福祉」、「保健医療」、「少子化対策・子育て支援」となったが、順位は「高齢者福祉」が１位になった。第５位には、前回６位だった「財政再建」が入っている。一方で「不法投棄・放置対策(自動車、自転車、バイク、ごみ等)」が５位から６位に、「学校教育」が７位から８位に、「緑の保全や公園の整備」が８位から 10 位になっている。また、前回 14 位だった「介護保険」が７位となっている。(表３－１－１)

表３－１－１　重点施策要望－経年比較

(%)

順位＼年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年
第１位	防犯対策 (31.1)	防犯対策 (29.7)	高齢者福祉 (28.7)
第２位	高齢者福祉 (27.2)	高齢者福祉 (23.7)	防犯対策 (27.3)
第３位	保健医療 (23.2)	保健医療 (22.6)	保健医療 (26.2)
第４位	財政再建 (16.0)	少子化対策・子育て支援 (14.3)	少子化対策・子育て支援 (15.4)
第５位	学校教育 (14.3)	不法投棄・放置対策 (自動車、自転車、バイク、ごみ等) (14.2)	財政再建 (13.6)
第６位	不法投棄・放置対策 (自動車、自転車、バイク、ごみ等) (13.7)	財政再建 (13.4)	不法投棄・放置対策 (自動車、自転車、バイク、ごみ等) (12.8)
第７位	行財政改革 (12.3)	学校教育 (13.3)	介護保険 (12.2)
第８位	道路整備 (11.4)	緑の保全や公園の整備 (12.1)	学校教育 (11.9)
第９位	少子化対策・子育て支援 (11.3)	行財政改革 (12.0)	行財政改革 (11.6)
第 10 位	清掃事業 (10.8)	青少年の健全育成 (11.0)	緑の保全や公園の整備 (10.4)

性別にみると、男性の第１位は「防犯対策」(27.4%)で、女性の第１位は「高齢者福祉」(30.2%)となっている。第２位及び第３位については、男性が「高齢者福祉」(26.9%)、「保健医療」(23.0%)、女性が「保健医療」(28.7%)、「防犯対策」(27.6%) となっている。また、「保健医療」については、女性の方が 5.7 ポイント高くなっている。

性・年齢別に第１位みると男女ともに、20 歳代・40 歳代では「防犯対策」、30 歳代では「少子化対策」、50 歳代以上の年代では「高齢者福祉」が第１位となっている。

「防犯対策」は男性ではすべての年代で第３位までに、女性では第４位までに入っている。「高齢者福祉」は男女ともに高い年代ほど割合が高い傾向にあり、男女の 65 歳以上では４割台半ばを占めている。(表３－１－２)

表３－１－２　重点施策要望－性別･年齢別

(%)

	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
男　　性	防犯対策 (27.4)	高齢者福祉 (26.9)	保健医療 (23.0)	財政再建 (15.4)	行財政改革 (14.3)
女　　性	高齢者福祉 (30.2)	保健医療 (28.7)	防犯対策 (27.6)	少子化対策 (17.9)	介護保険 (15.4)
男性 20 歳代	防犯対策 (31.1)	交通機関･駐車場の整備 (25.2)	少子化対策 (16.5)	財政再建 (15.5)	不法投棄・放置対策 (自動車、自転車、バイク、ごみ等) (14.6)
30 歳代	少子化対策 (36.9)	防犯対策 (34.4)	学校教育／保健医療 (21.3)		財政再建 (18.0)
40 歳代	防犯対策 (32.0)	学校教育 (19.7)	高齢者福祉 (18.0)	保健医療 (17.2)	少子化対策 (16.4)
50 歳代	高齢者福祉 (32.3)	防犯対策 (25.6)	保健医療 (24.6)	行財政改革 (16.4)	道路整備 (14.9)
60 ～ 64 歳	高齢者福祉 (26.5)	保健医療／防犯対策 (24.1)		行財政改革 (21.7)	財政再建 (18.1)
65 歳以上	高齢者福祉 (46.7)	保健医療 (31.3)	防犯対策 (22.0)	行財政改革 (17.8)	財政再建 (15.4)
女性 20 歳代	防犯対策 (32.0)	少子化対策 (28.0)	学校教育／保健医療 (21.0)		交通機関･駐車場の整備 (18.0)
30 歳代	少子化対策 (45.9)	防犯対策 (40.1)	学校教育 (27.4)	保健医療 (26.1)	不法投棄・放置対策 (自動車、自転車、バイク、ごみ等) (12.7)
40 歳代	防犯対策 (30.4)	保健医療 (25.6)	高齢者福祉 (24.8)	学校教育 (21.6)	不法投棄・放置対策 (自動車、自転車、バイク、ごみ等) (16.0)
50 歳代	高齢者福祉 (34.7)	保健医療 (33.7)	防犯対策 (26.0)	財政再建 (18.9)	介護保険 (18.4)
60 ～ 64 歳	高齢者福祉 (42.9)	保健医療 (33.0)	介護保険 (26.4)	防犯対策／防災対策 (16.5)	
65 歳以上	高齢者福祉 (46.5)	保健医療 (29.2)	防犯対策 (21.7)	介護保険 (20.4)	不法投棄・放置対策 (自動車、自転車、バイク、ごみ等) (12.4)

居住地域別でみると、本庁管内（中央地域）、由木・由木東・南大沢（東部地域）は、「防犯対策」が１位で、元八王子・恩方・川口（西部地域）、浅川・横山・館（西南部地域）、加住・石川（北部地域）では、「高齢者福祉」が１位である。また、由井・北野（東南部地域）では、「高齢者福祉」と「防犯対策」が同率で１位である。また、すべての居住地域で「防犯対策」、「高齢者福祉」、「保健医療」が上位３位までを占めている。（表３－１－３）

表３－１－３　重点施策要望－居住地域別

（%）

	第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
本庁管内（中央地域）	防犯対策 (29.9)	高齢者福祉 (27.5)	保健医療 (26.2)	少子化対策 (17.9)	財政再建 (14.8)
元八王子・恩方・川口（西部地域）	高齢者福祉 (29.9)	保健医療 (25.4)	防犯対策 (23.1)	道路整備 (19.8)	交通機関・駐車場の整備 (15.3)
浅川・横山・館（西南部地域）	高齢者福祉 (28.2)	保健医療 (24.3)	防犯対策 (24.0)	財政再建 (14.4)	少子化対策 (14.1)
加住・石川（北部地域）	高齢者福祉 (29.6)	保健医療 (27.6)	防犯対策 (23.0)	不法投棄・放置対策（自動車、自転車、バイク、ごみ等） (17.1)	少子化対策 (16.4)
由井・北野（東南部地域）	高齢者福祉／防犯対策 (30.8)		保健医療 (26.7)	財政再建／少子化対策 (15.8)	
由木・由木東・南大沢（東部地域）	防犯対策 (32.7)	保健医療 (27.4)	高齢者福祉 (26.4)	少子化対策 (17.2)	学校教育 (14.9)

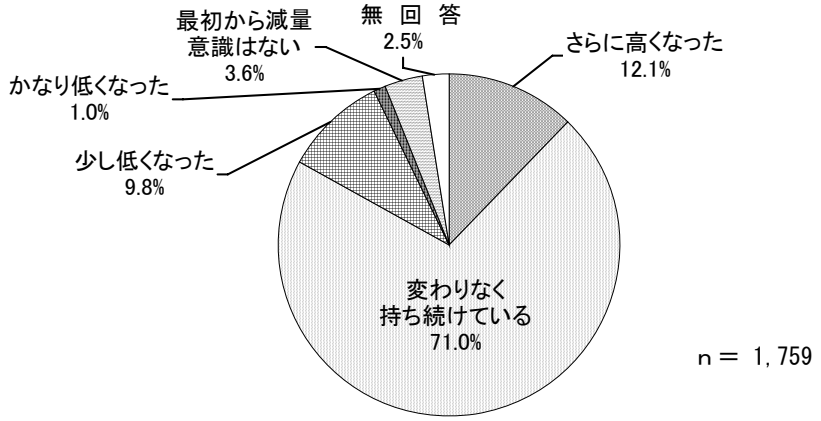
４．ごみ有料化後のごみ減量意識について

４－１　ごみ減量意識の有無

◇「変わりなく持ち続けている」が７割強と突出

問４　あなたは、一昨年１０月のごみ有料化時点のごみ減量意識を、今も持ち続けていますか。（○は１つだけ）

図４－１－１



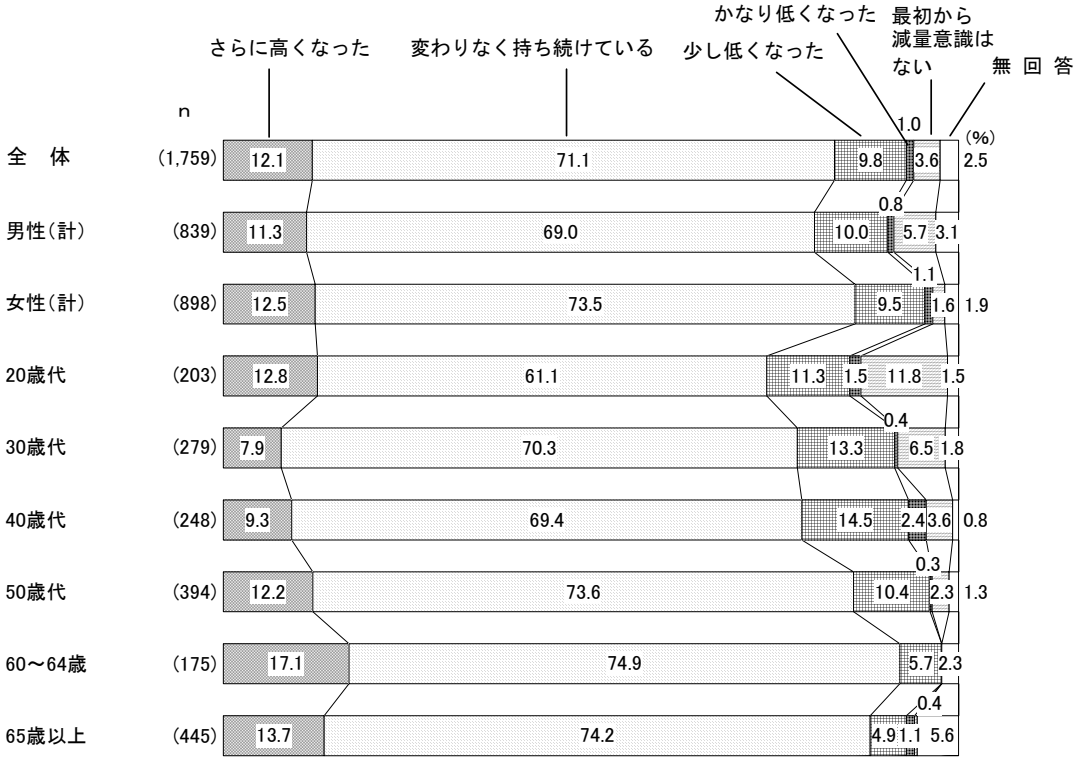
ごみ減量意識を今でも持ち続けているかどうかについて聞いたところ、「変わりなく持ち続けている」が７割を超え(71.0%)高くなっている。「さらに高くなった」は１割強(12.1%)である。「少し低くなった」(9.8%)と「かなり低くなった」(1.0%) を合わせた『低くなった』は、１割（10.8%）となっている。(図４－１－１)

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向となっている。

年齢別にみると、「さらに高くなった」は 60～64 歳の年代で１割台半ば（17.1%）を超えている。

(図４－１－２)

図４－１－２　ごみ減量意識の有無－性別・年齢別



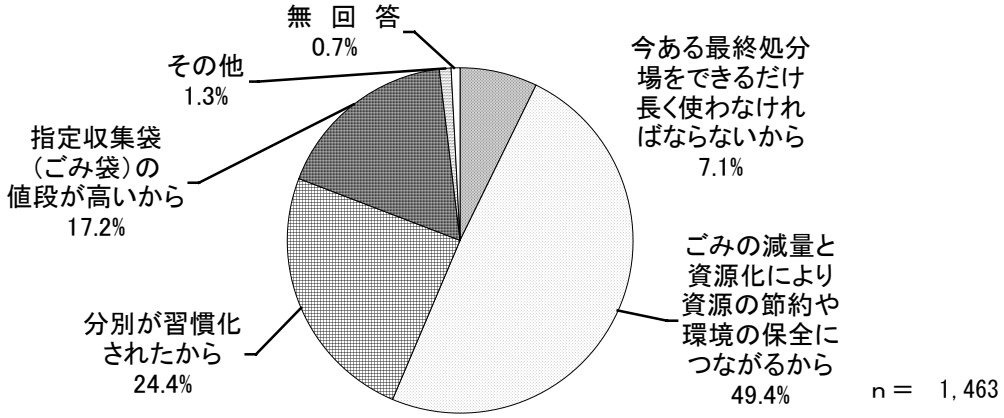
４－２　ごみ減量意識が今でも続いている理由

◇「ごみの減量と資源化により資源の節約や環境の保全につながるから」が５割弱

（問４で「１　さらに高くなった」または「２　変わりなく持ち続けている」とお答えの方に）

問４－１　ごみ減量意識が今も続いている理由として、次のうち最も近い理由はどれですか。（○は１つだけ）

図４－２－１

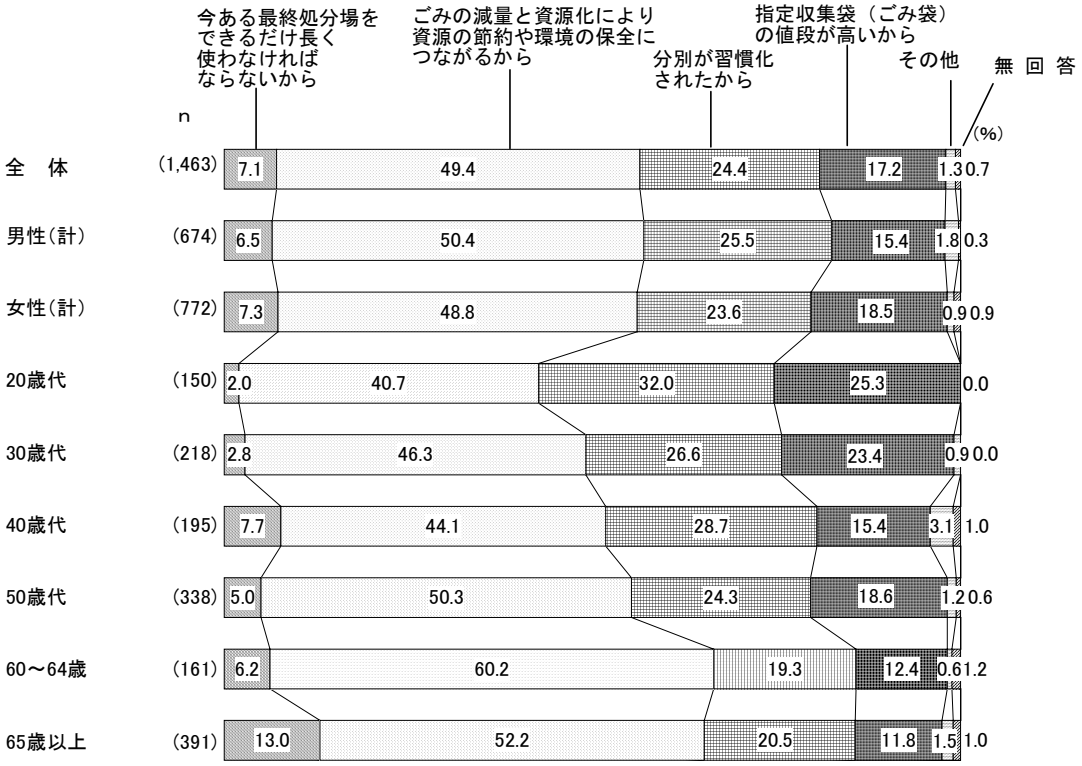


ごみ減量意識の有無で「さらに高くなった」または「変わりなく持ち続けている」と答えた人(1,463人)に、ごみ減量意識が今も続いている理由について聞いたところ、「ごみの減量と資源化により資源の節約や環境の保全につながるから」(49.4%)が５割弱と最も高く、ついで「分別が習慣化されたから」(24.4%)、「指定収集袋(ごみ袋)の値段が高いから」(17.2%)と続いている。(図４－２－１)

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別にみると、「ごみの減量と資源化により資源の節約や環境の保全につながるから」が、60～64歳の年代で６割（60.2%）と高くなっている。(図４－２－２)

図４－２－２　ごみ減量意識が今でも続いている理由－性別・年齢別



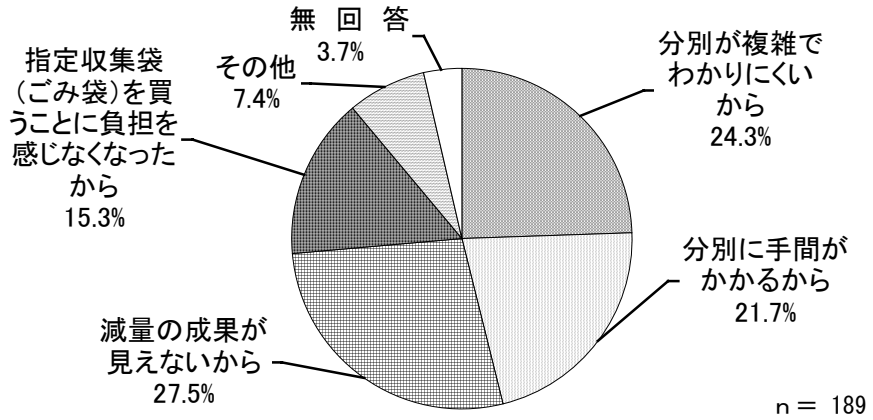
４－３　ごみ減量意識が低くなった理由

◇「減量の成果が見えないから」が３割弱

（問４で「３　少し低くなった」または「４　かなり低くなった」とお答えの方に）

問４－２　ごみ減量意識が低くなった理由として、次のうち最も近い理由はどれですか。
（○は１つだけ）

図４－３－１

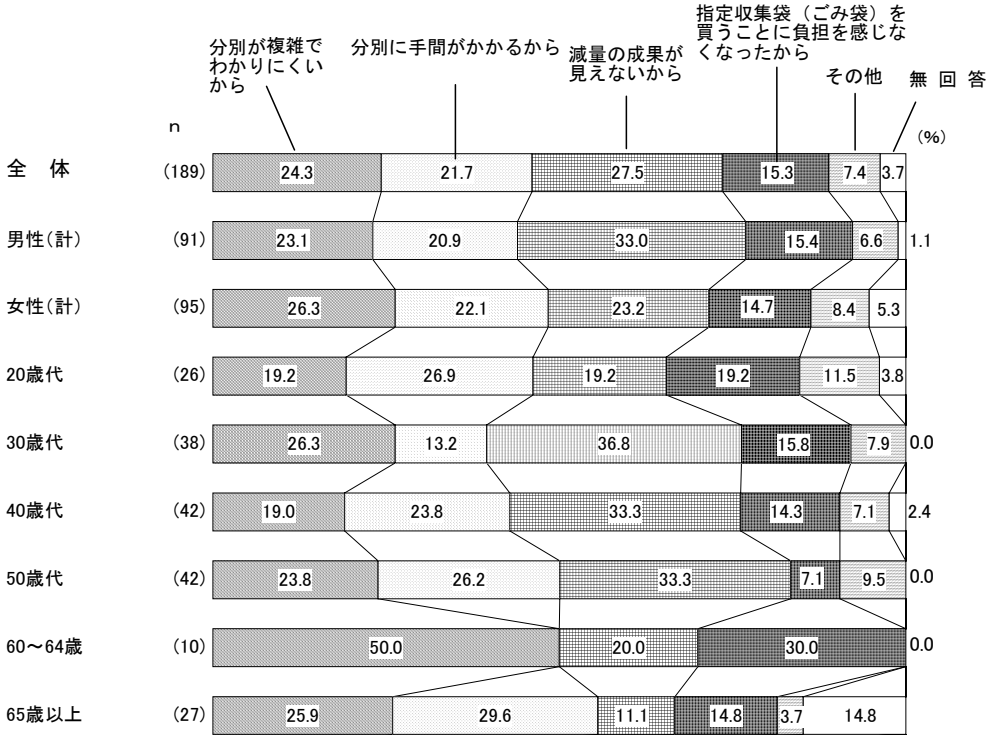


ごみ減量意識の有無で「少し低くなった」または「かなり低くなった」と答えた人(189 人)に、ごみ減量意識が低くなった理由について聞いたところ、「減量の成果が見えないから」が３割弱(27.5%)と最も高く、ついで「分別が複雑でわかりにくいから」(24.3%)、「分別に手間がかかるから」(21.7%)と続いている。(図４－３－１)

性別にみると、「減量の成果が見えないから」は男子の方が 9.8 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、60～64 歳の年代で、「分別が複雑でわかりにくいから」が５割（50.0%）と高くなっている。(図４－３－２)

図４－３－２　ごみ減量意識が低くなった理由－性別・年齢別

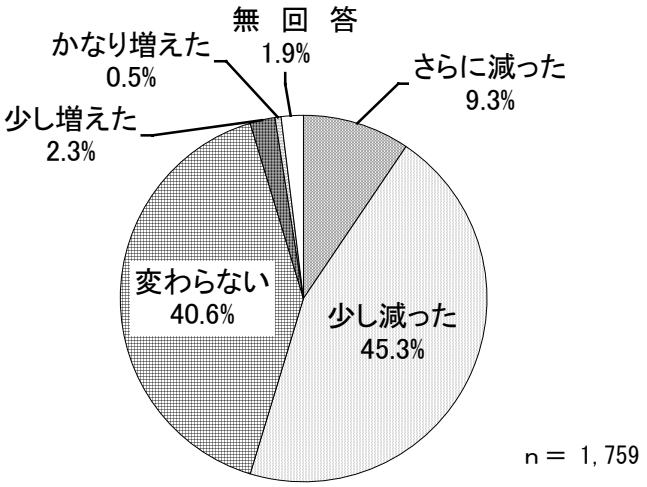


４－４　ごみの量の変化

◇『減った』が５割台半ば

問５　ごみ有料化実施直後と現在では、家庭から出るごみの量は変化しましたか。（○は１つだけ）

図４－４－１



家庭から出るごみの量の変化について聞いたところ、「少し減った」が４割台半ば(45.3%)と最も高く、「さらに減った」(9.3%)と合わせた『減った』は５割台半ば(54.6%)となっている。（図４－４－１）

性別にみると、女性の方が男性よりも『減った』の割合が高く、６割弱（58.7%）となっている。
年齢別にみると、高い年代ほど、『減った』の割合が高くなる傾向にある。（図４－４－２）

居住地域別にみると、どの地区もほぼ同じ傾向となっている。（図４－４－３）

図４－４－２　ごみの量の変化－性別・年齢別

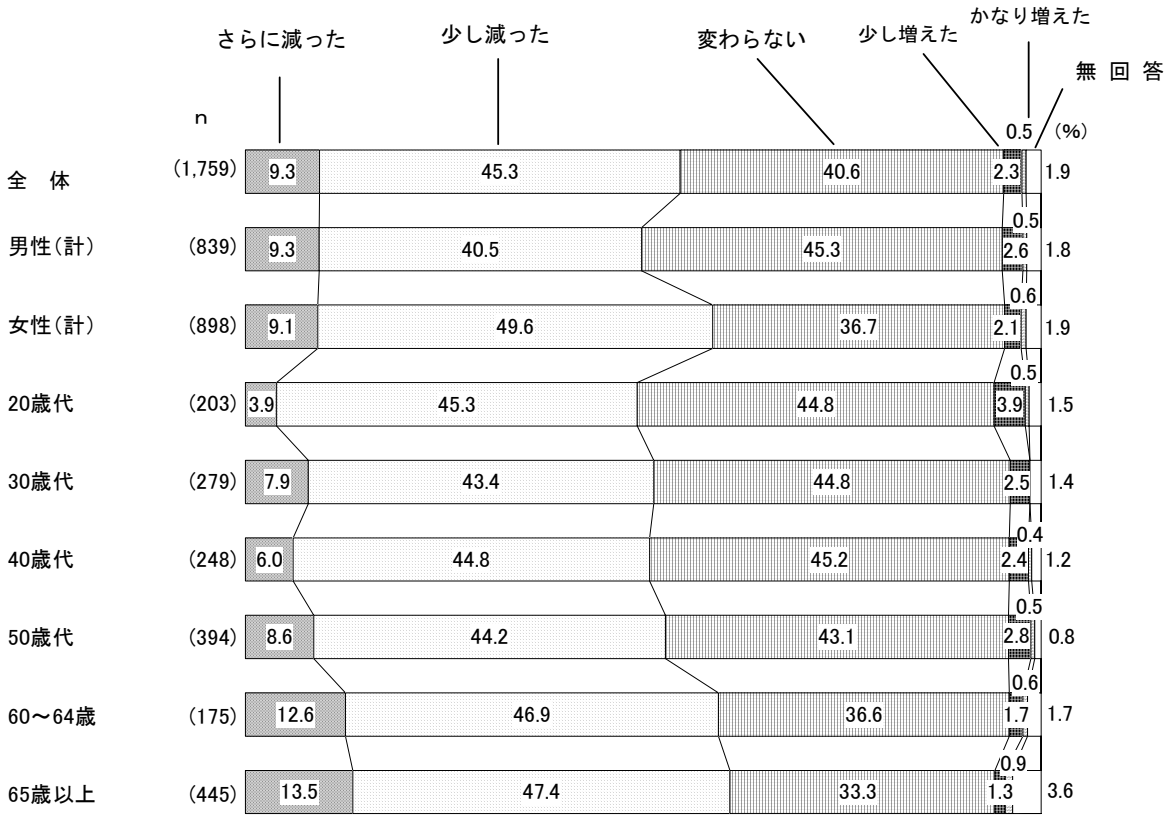
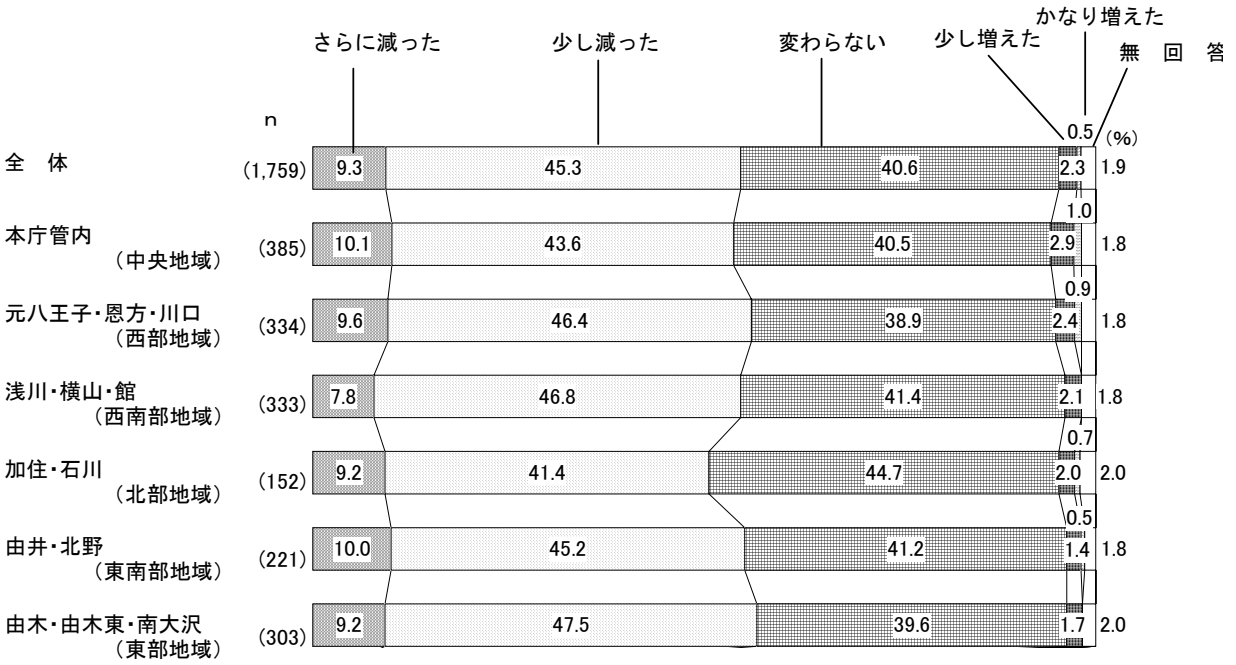


図４－４－３　ごみの量の変化－居住地域別

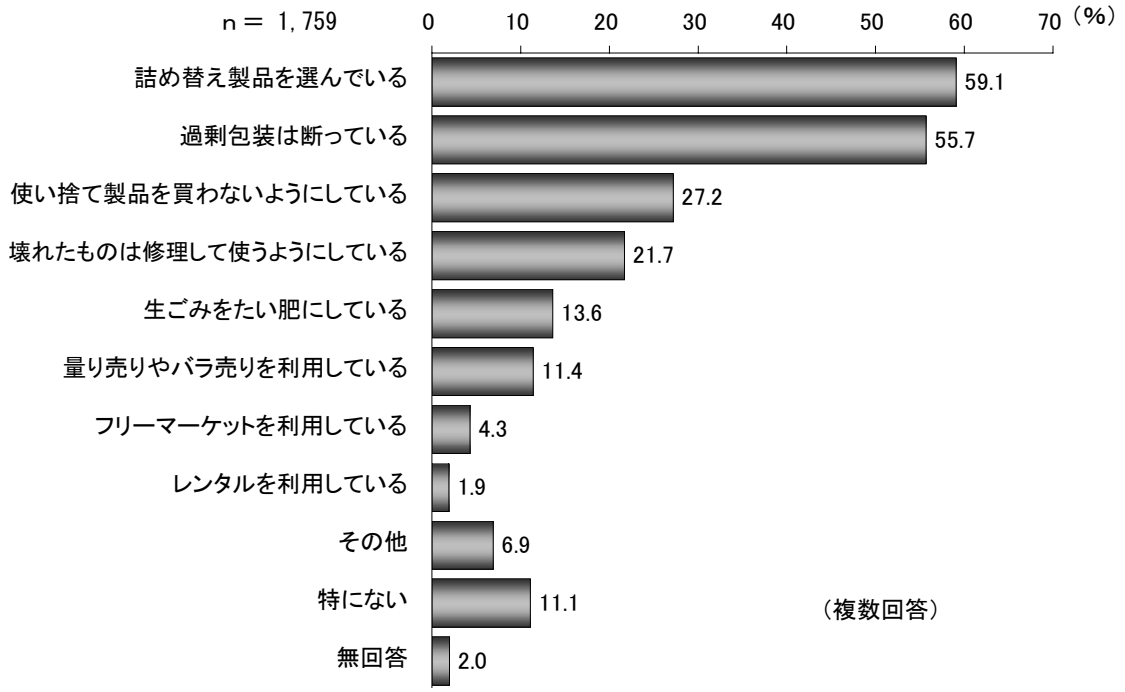


４－５　ごみを少なくするために心がけていること

◇「詰め替え製品を選んでいる」が６割弱

問６　あなたは日頃、ごみを少なくするために心がけていることはありますか。（○はいくつでも）

図４－５－１

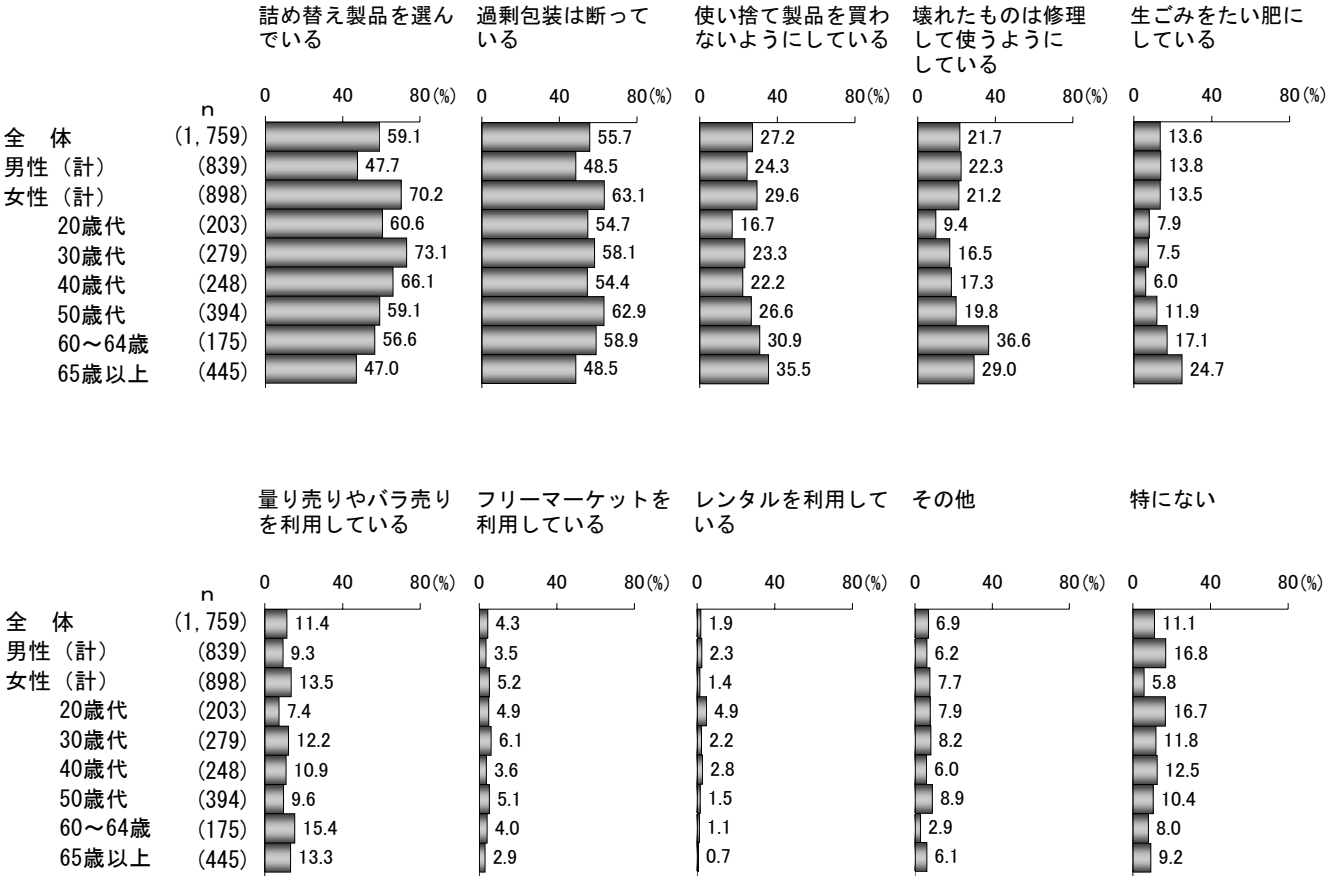


日頃、ごみを少なくするために心がけていることについて聞いたところ、「詰め替え製品を選んでいる」が６割弱（59.1%）、「過剰包装は断っている」が５割台半ば（55.7%）と高く、ついで「使い捨て製品を買わないようにしている」（27.2%）、「壊れたものは修理して使うようにしている」（21.7%）と続いている。（図４－５－１）

性別でみると、「詰め替え製品を選んでいる」の割合が、女性の方が 22.5 ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「詰め替え製品を選んでいる」の割合が 30 歳代で７割強（73.1％）と高い。また、「壊れたものは修理して使うようにしている」の割合が 60～64 歳の年代で３割台半ば（36.6％）と高くなっている。（図４－５－２）

図４－５－２　ごみを少なくするために心がけていること－性別・年齢別

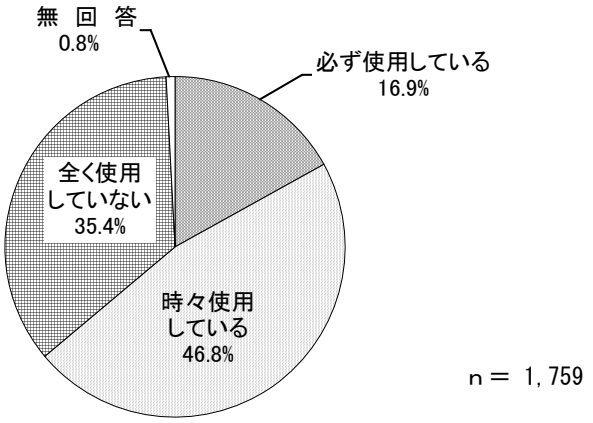


４－６　買い物袋の使用

◇「時々使用している」が４割台半ば

問７　使い捨ての象徴としてレジ袋が挙げられますが、普段レジ袋をもらわないように買い物袋（マイバッグ）を使用していますか。（○は１つだけ）

図４－６－１

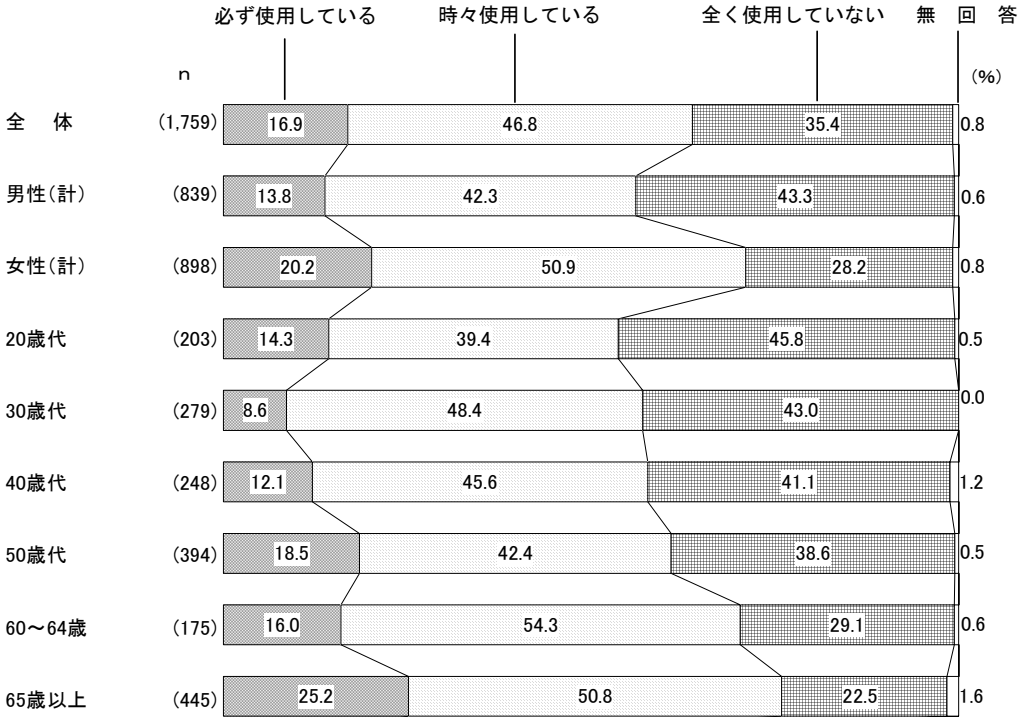


買い物袋(マイバッグ)の使用について聞いたところ、「時々使用している」が４割台半ば(46.8%)と最も高く、ついで「全く使用していない」(35.4%)、「必ず使用している」(16.9%)と続いている。（図４－６－１）

性別にみると、「必ず使用している」は女性の方が 6.4 ポイント高く、「時々使用している」を合わせた『使用している』でも 15 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、高い年代ほど『使用している』が高くなっている傾向にある。（図４－６－２）

図４－６－２　買い物袋の使用－性別・年齢別

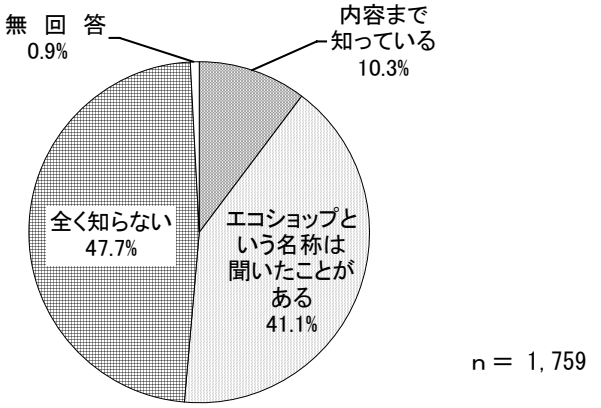


４－７　エコショップ認定制度の周知度

◇「全く知らない」が５割弱

問８　市ではレジ袋の削減や簡易包装等を推進し、ごみの発生抑制に取り組むスーパーなどの小売店を「エコショップ」として認定する制度をスタートしています。あなたは、このエコショップ認定制度を知っていますか。（○は１つだけ）

図４－７－１

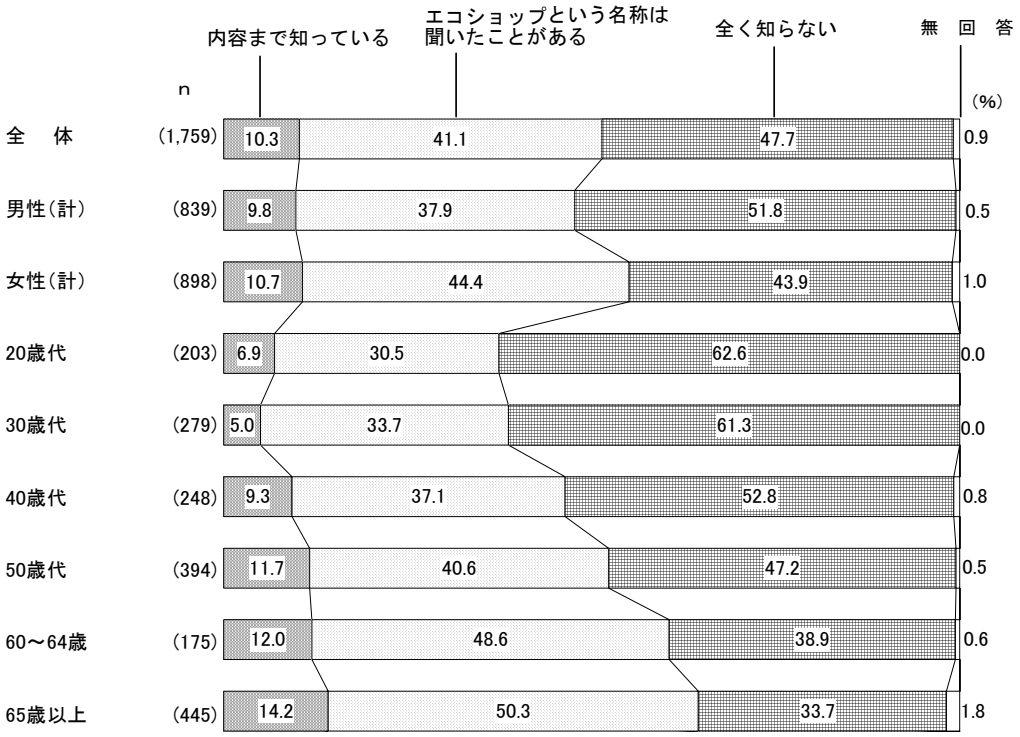


エコショップ認定制度について聞いたところ、「全く知らない」が５割弱(47.7%)と最も高く、ついで「エコショップという名称は聞いたことがある」(41.1%)、「内容まで知っている」(10.3%)と続いている。(図４－７－１)

性別にみると、「エコショップという名称を聞いたことがある」は女性の方が 6.5 ポイント高く、「全く知らない」は男性の方が 7.9 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「エコショップという名称を聞いたことがある」は、高い年代ほど割合が高い傾向にあり、65 歳以上では５割（50.3%）を占めている。(図４－７－２)

図４－７－２　エコショップ認定制度の周知度－性別・年齢別

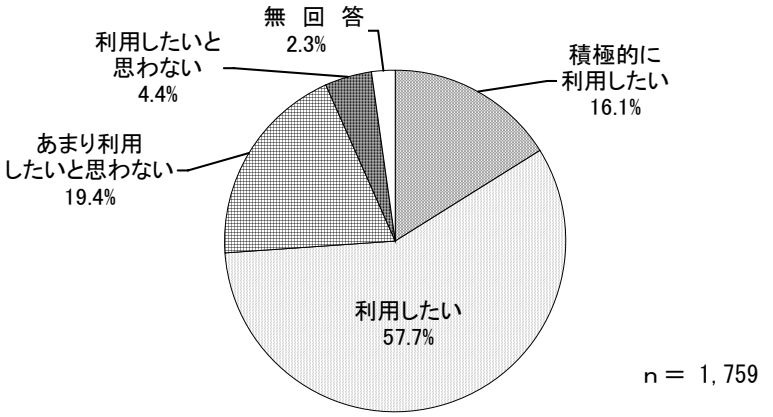


４－８　エコショップの利用意向

◇『利用したい』が７割強

問９　あなたは、レジ袋の削減や簡易包装等を推進するエコショップを利用したいと思いますか。（○は１つだけ）

図４－８－１

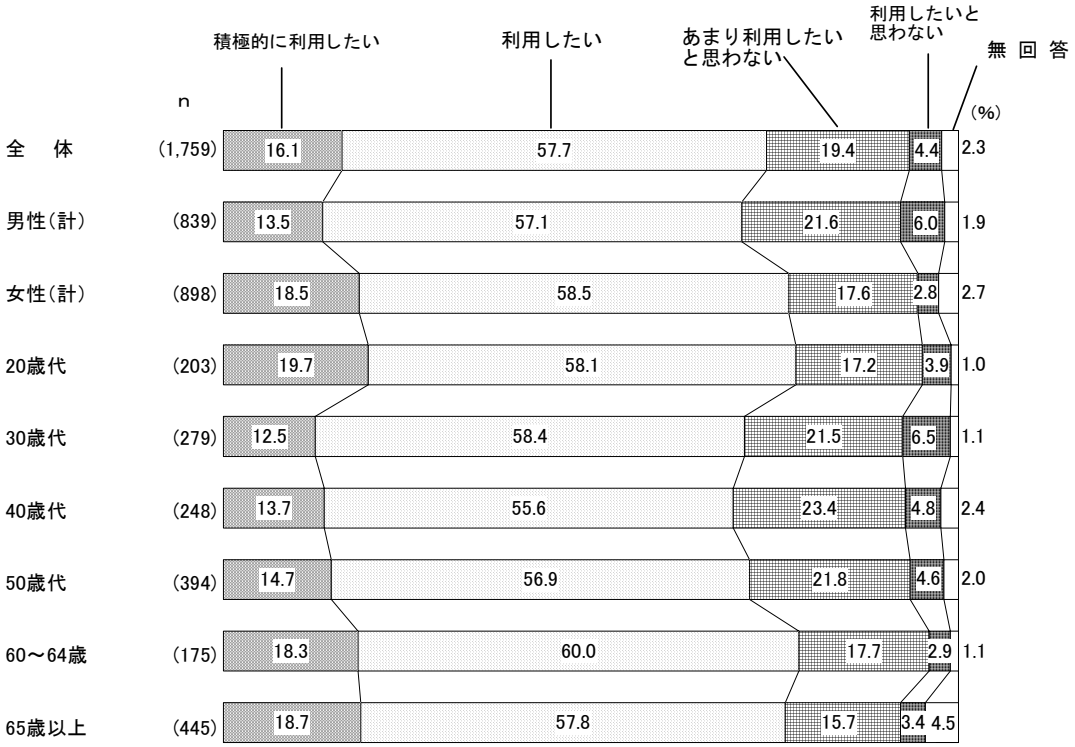


レジ袋の削減や簡易包装等を推進するエコショップの利用意向について聞いたところ、「利用したい」が６割弱(57.7%)と最も高く、「積極的に利用したい」(16.1%)と合わせた『利用したい』は７割強(73.8%)となっている。(図４－８－１)

性別にみると、「積極的に利用したい」は女性の方が 5.0 ポイント高い。

年齢別にみると、「積極的に利用したい」は 20 歳代が最も高く２割近く（19.7%）となっている。また「積極的に利用したい」は、30 歳代以降の年代では、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。（図４－８－２）

図４－８－２　エコショップの利用意向ー性別・年齢別

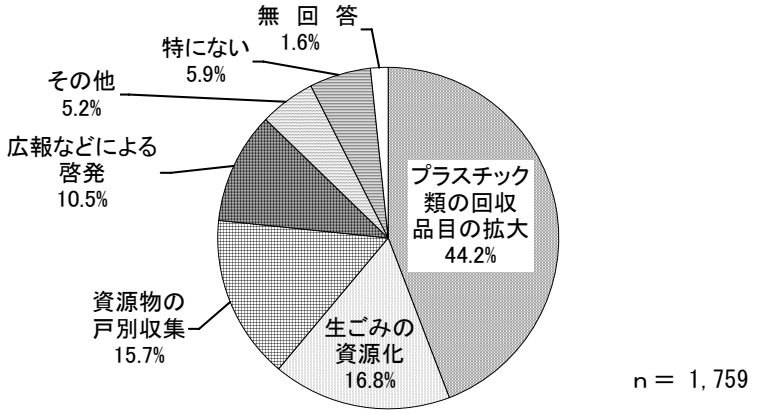


４－９　ごみ減量や資源化を進めるために最も必要なこと

◇「プラスチック類の回収品目の拡大」が４割台半ば

問10　ごみ減量や資源化を進めるために、次のうち最も必要だと思うことは何ですか。
（○は１つだけ）

図４－９－１

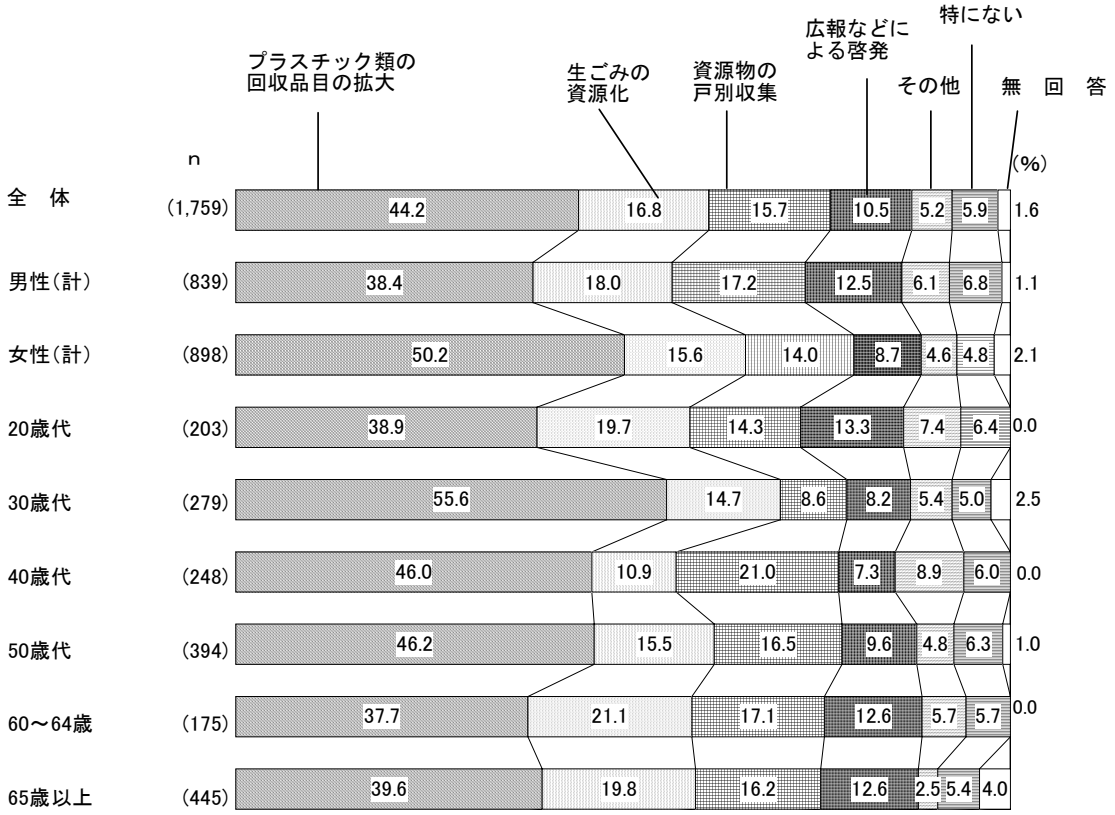


ごみ減量や資源化を進めるために最も必要と思うことについて聞いたところ、「プラスチック類の回収品目の拡大」が４割台半ば(44.2%)と最も高く、ついで「生ごみの資源化」(16.8%)、「資源物の戸別収集」(15.7%)と続いている。(図４－９－１)

性別でみると、「プラスチック類の回収品目の拡大」は女性の方が 11.8 ポイント高い。

年齢別でみると、「プラスチック類の回収品目の拡大」は 30 歳代で最も高く、５割台半ば（55.6%）となっている。(図４－９－２)

図４－９－２　ごみ減量や資源化を進めるために最も必要なこと－性別・年齢別



５．保健衛生行政の現状と新しい『八王子市保健所(仮称)』について

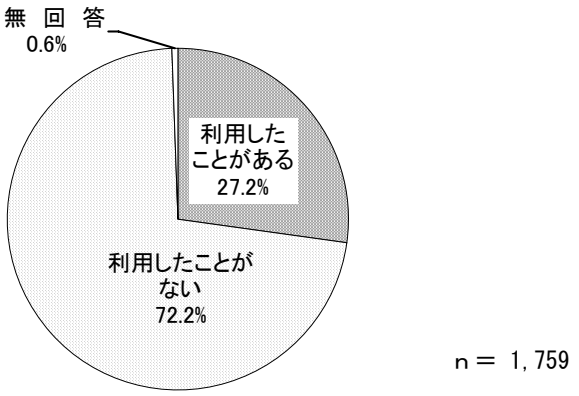
５－１　東京都八王子保健所の利用の有無

◇「利用したことがある」が３割弱

[問 11　から　問 12 までは現在の“東京都八王子保健所”（旭町 13－18）に関する質問です。]

問11　あなたは、“東京都八王子保健所”を利用したことがありますか。（○は１つだけ）

図５－１－１



“東京都八王子保健所”の利用について聞いたところ、「利用したことがある」は３割弱（27.2%）であった。一方、「利用したことがない」は７割強（72.2%）とかなり高くなっている。（図５－１－１）

性別にみると、[利用したことある] は女性の方が 7.9 ポイント高く、「利用したことがない」は男性の方が 7.8 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「利用したことがある」は 40 歳代（34.3%）、50 歳代（33.5%）で３割を超えているが、「利用したことがない」は 20 歳代で８割強（83.3%）で高くなっている。（図５－１－２）

居住地域別にみると、「利用したことある」が加住・石川（北部地域）で３割台半ば（34.9%）で高い。一方、「利用したことがない」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で８割強（83.5%）と高くなっている。（図５－１－３）

図５－１－２　東京都八王子保健所の利用の有無－性別・年齢別

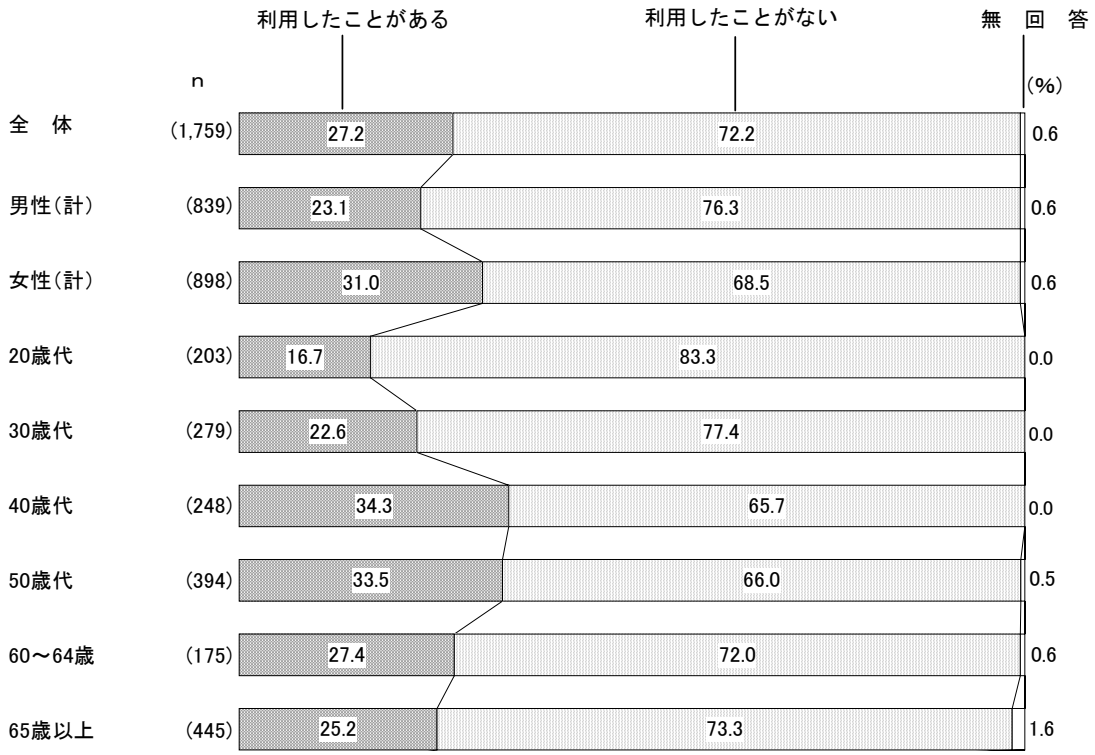
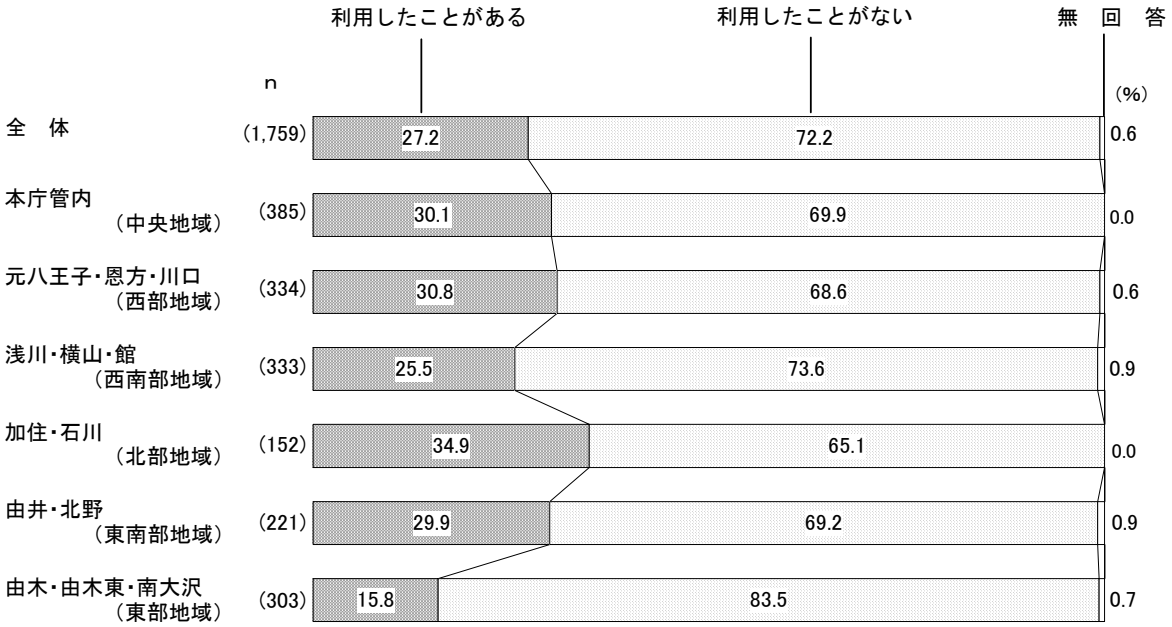


図５－１－３　東京都八王子保健所の利用の有無－居住地域別



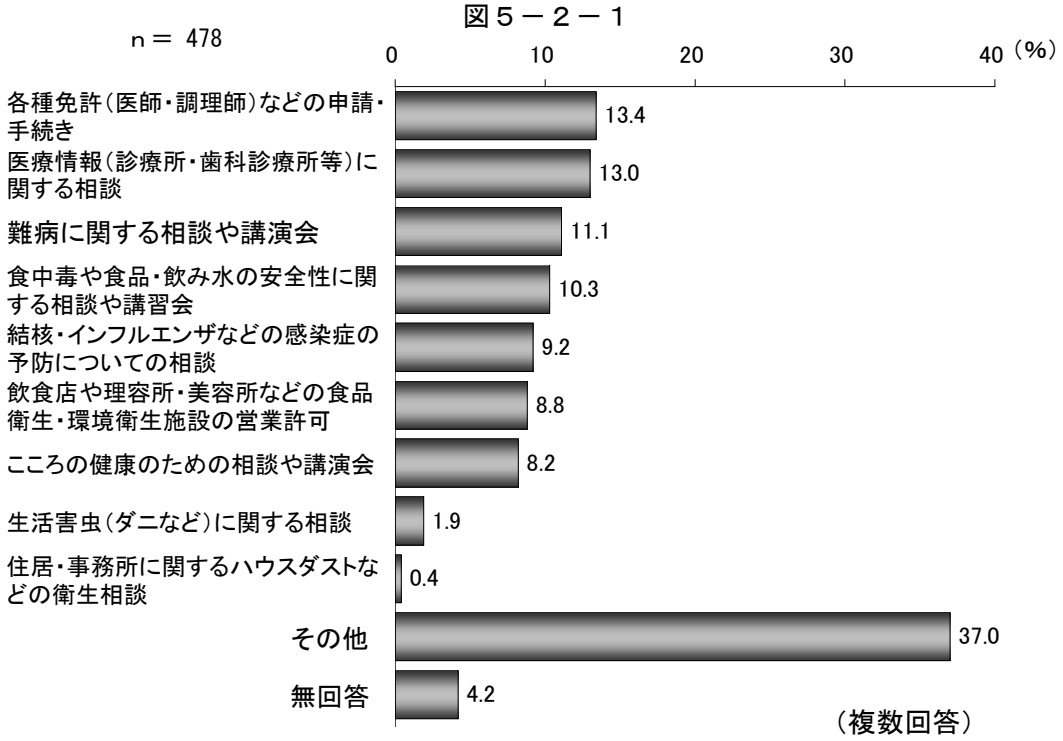
５－２　東京都八王子保健所の利用目的

◇「各種免許（医師・調理師）などの申請・手続き」、「医療情報（診療所・歯科診療所等）に関する相談」、「難病に関する相談や講演会」などが１割強

（問 11 で「１　利用したことがある」とお答えの方に）

問 11－１　あなたは、どのような目的で“東京都八王子保健所”を利用しましたか。
（○はいくつでも）

図５－２－１



“東京都八王子保健所”の利用の有無で「利用したことがある」と答えた人（478 人）に、利用目的を聞いたところ、「各種免許（医師・調理師）などの申請・手続き」が１割強（13.4%）と最も高く、ついで「医療情報（診療所・歯科診療所等）に関する相談」（13.0%）、「難病に関する相談や講演会」（11.1%）と続いている。（図５－２－１）

性別にみると、「各種免許（医師・調理師）などの申請・手続き」は女性の方が 6.0 ポイント高くなっている。

年代別にみると、「食中毒や食品・飲み水の安全性に関する相談や講習会」は、高い年代ほど割合が高い傾向にあり、65 歳以上では２割を超え（24.1%）、高くなっている。（図５－２－２）

居住地域別にみると、「各種免許（医師・調理師）などの申請・手続き」は、加住・石川地域（北部地域）が２割（20.8%）となっているのに対し、由木・由木東・南大沢（東部地域）は１割にも満たない（6.3%）など、地域によってばらつきがある。

図５－２－２　東京都八王子保健所の利用目的－性別・年齢別（上位５項目）

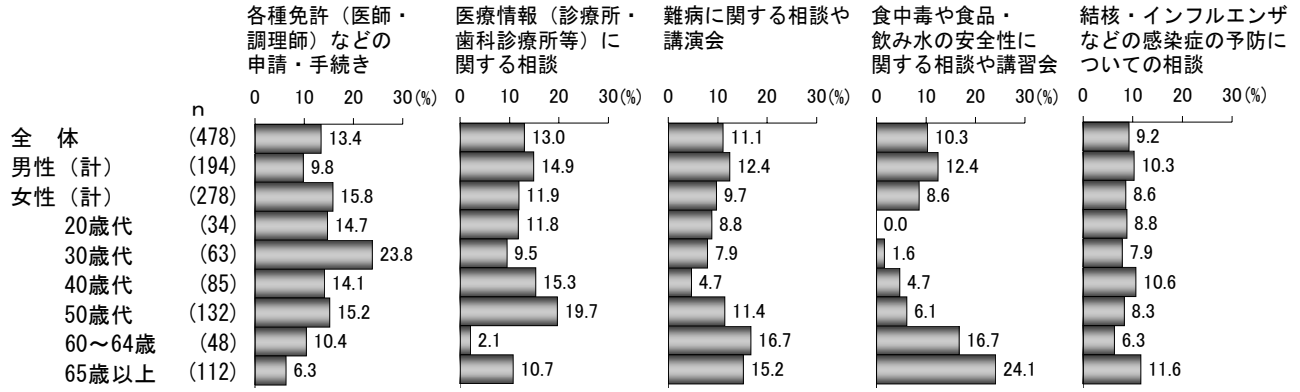
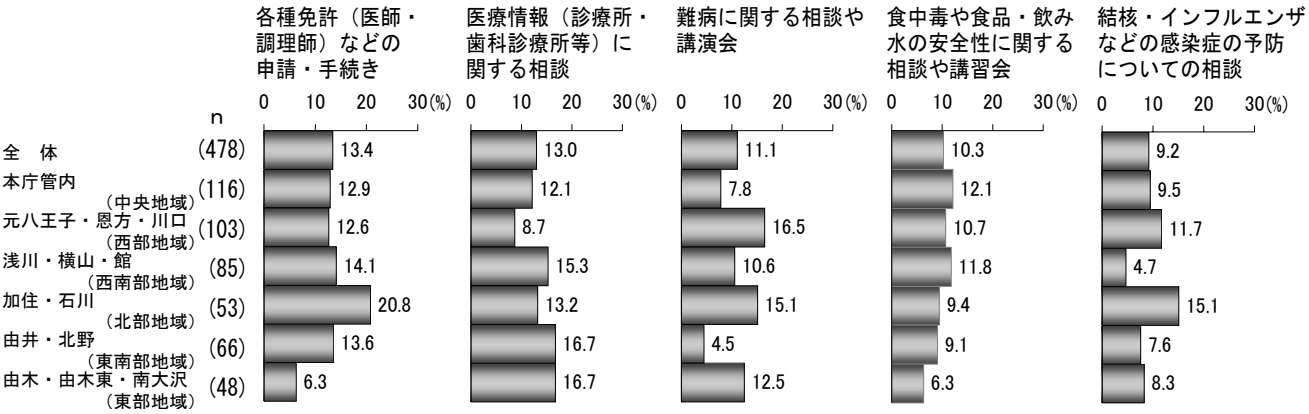


図５－２－３　東京都八王子保健所の利用目的－居住地域別（上位５項目）



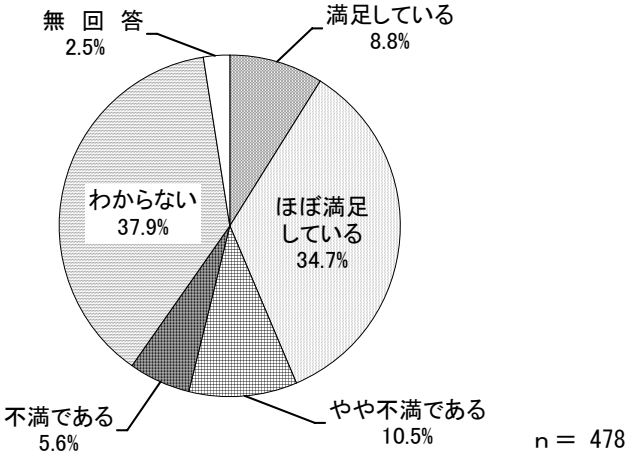
５－３　東京都八王子保健所の実施業務についての印象

◇『満足』が４割強

（問 11 で「１　利用したことがある」とお答えの方に）

問 11－２　あなたは、“東京都八王子保健所”が実施している業務について、どのような印象をもっていますか。（○は１つだけ）

図５－３－１



“東京都八王子保健所”の利用の有無で「利用したことがある」と答えた人(478 人)に“東京都八王子保健所”の実施業務の印象について聞いたところ、「ほぼ満足している」が３割台半ば(34.7%)と高く、ついで「満足している」(8.8%)と合わせた『満足』は４割強(43.5%)となっている。(図５－３－１)

性別にみると、「やや不満である」と「不満である」を合わせた『不満』が、男性の方が女性よりも4.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『満足』は65歳以上で５割台半ば（55.4%）と高くなっている。（図５－３－２）

居住地域別でみると、『満足』は本庁管内（中央地域）で５割を超え（52.6%）、高くなっている。（図５－３－３）

図５－３－２　東京都八王子保健所の実施業務についての印象－性別・年齢別

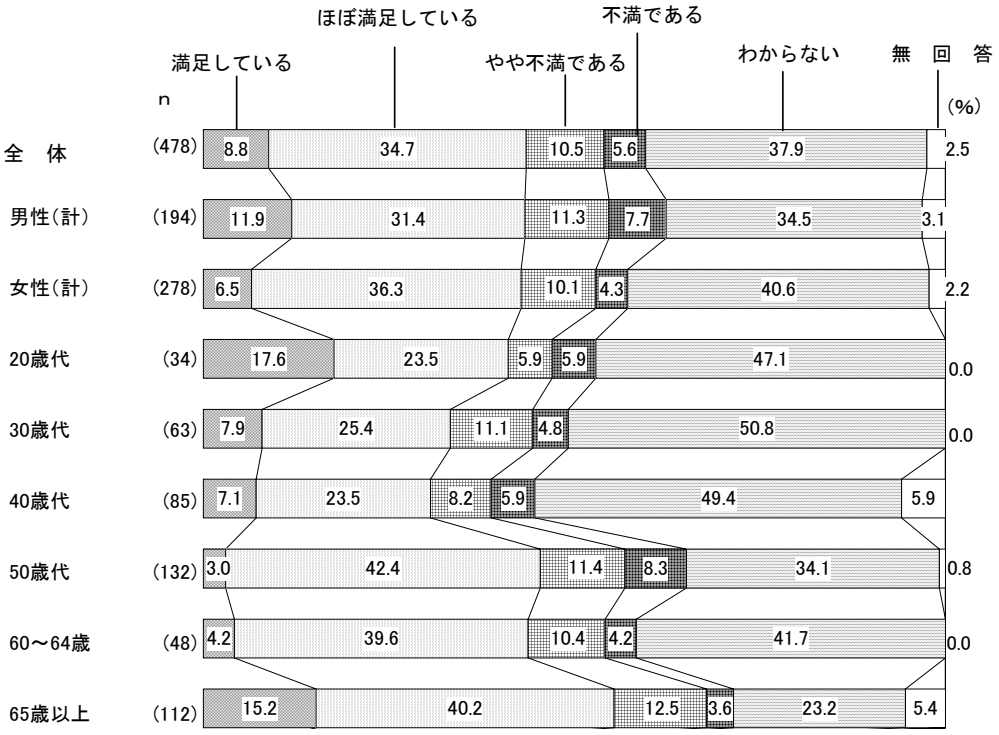
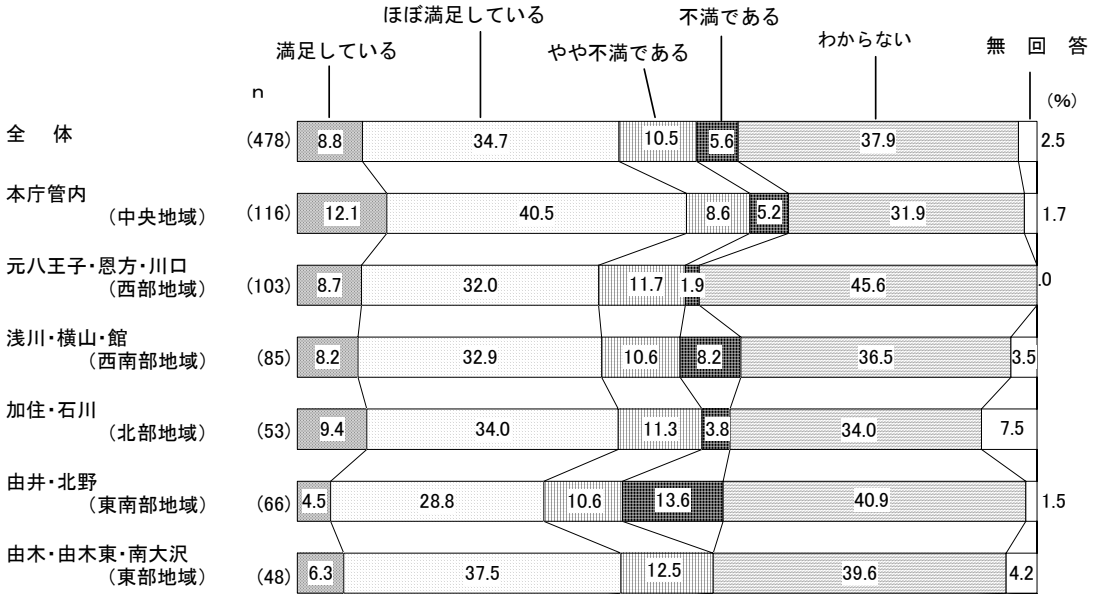


図５－３－３　東京都八王子保健所の実施業務についての印象－居住地域別



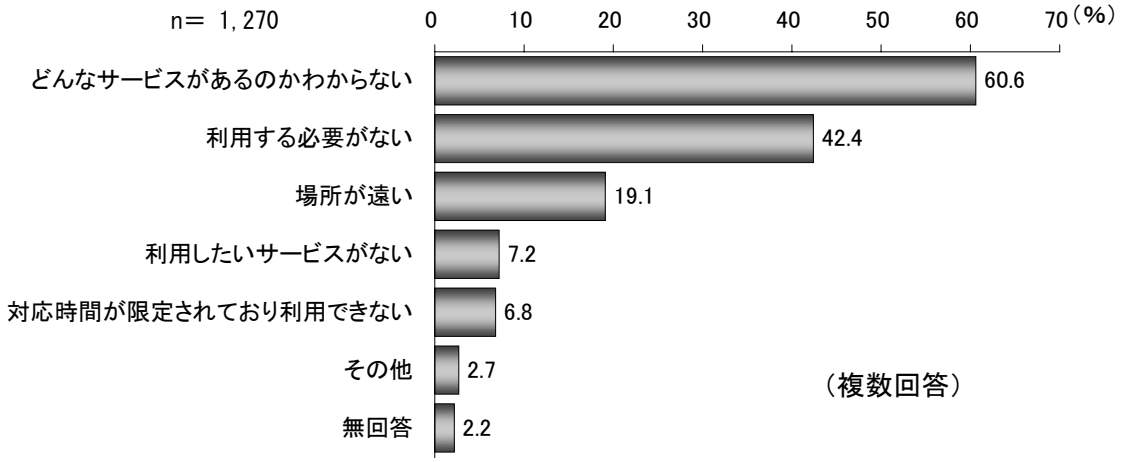
５－４　東京都八王子保健所を利用したことがない理由

◇「どんなサービスがあるのかわからない」が６割強と突出している

（問 11 で「２　利用したことがない」とお答えの方に）

問 11－３　あなたが、“東京都八王子保健所”を利用したことがない理由はどのようなものですか。（○はいくつでも）

図５－４－１

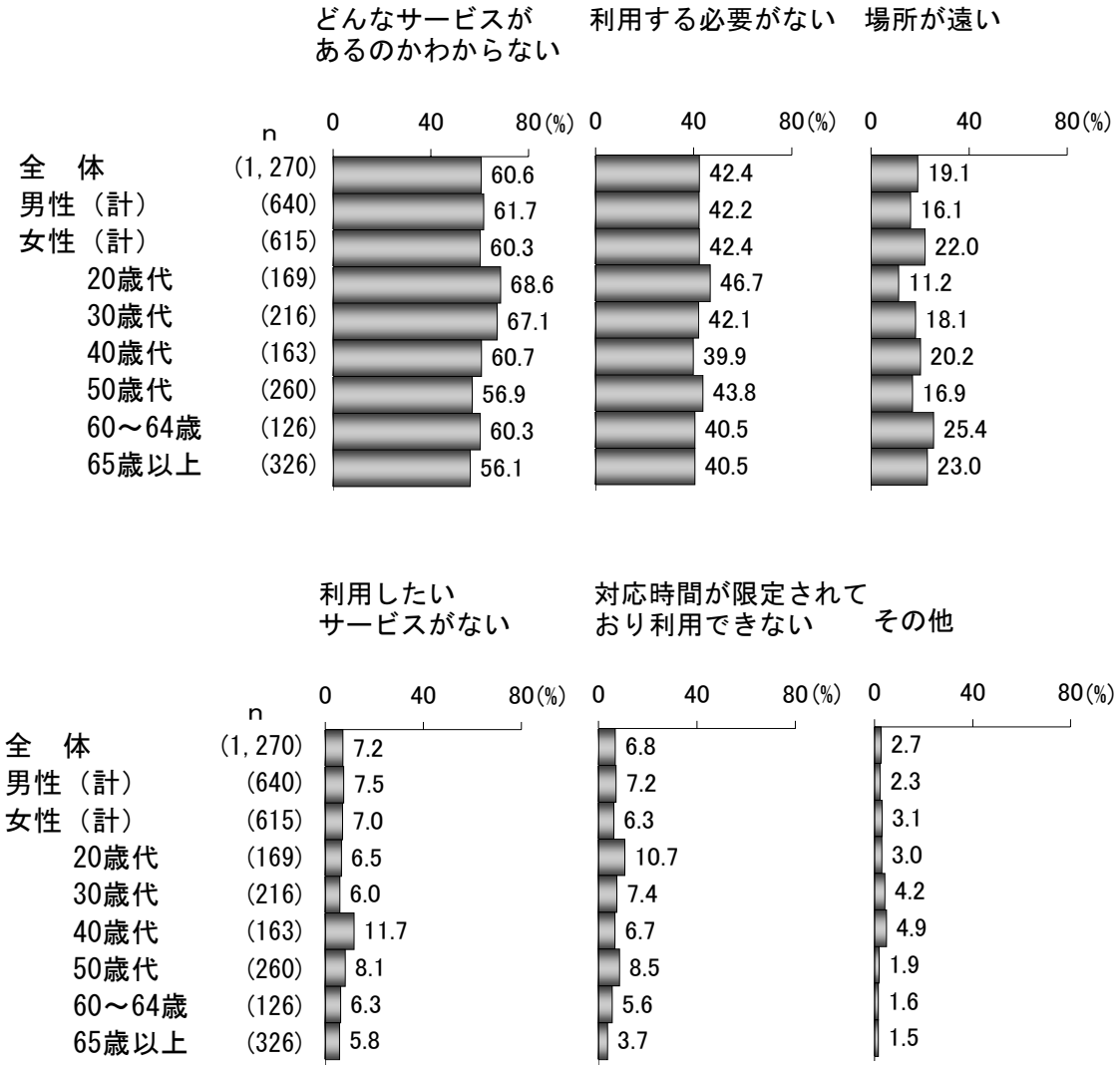


“東京都八王子保健所”の利用の有無で「利用したことがない」と答えた人(1,270 人)に、利用したことがない理由を聞いたところ、「どんなサービスがあるのかわからない」(60.6%)が６割強と最も高く、ついで「利用する必要がない」(42.4%)、「場所が遠い」(19.1%)と続いている。(図５－４－１)

性別でみると、「場所が遠い」は女性の方が 5.9 ポイント高い。

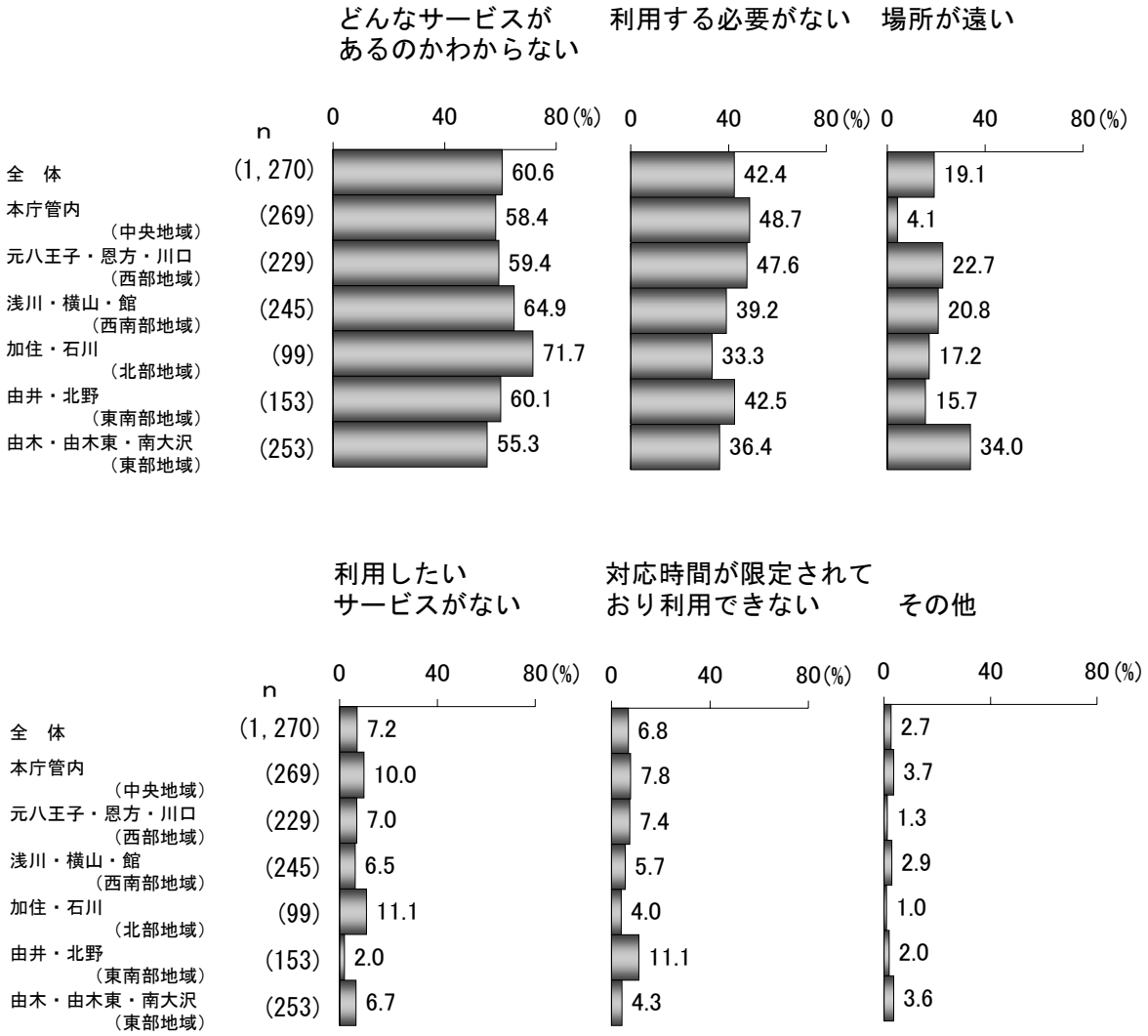
年齢別でみると、「どんなサービスがあるのかわからない」が 20 歳代（68.6%）、30 歳代（67.1%）でそれぞれ７割弱あり、高い。また、「利用する必要がない」は各年代で４割前後と高く、「場所が遠い」は 60～64 歳（25.4%）、65 歳以上（23.0%）ではそれぞれ２割強で高くなっている。（図５－４－２）

図５－４－２　東京都八王子保健所を利用したことがない理由－性別・年齢別



居住地域別でみると、「場所が遠い」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で３割強（34.0%）で高い。また、「どんなサービスがあるのかわからない」は加住・石川（北部地域）で７割（71.7%）を超えている。（図５－４－３）

図５－４－３　東京都八王子保健所を利用したことがない理由－居住地域別

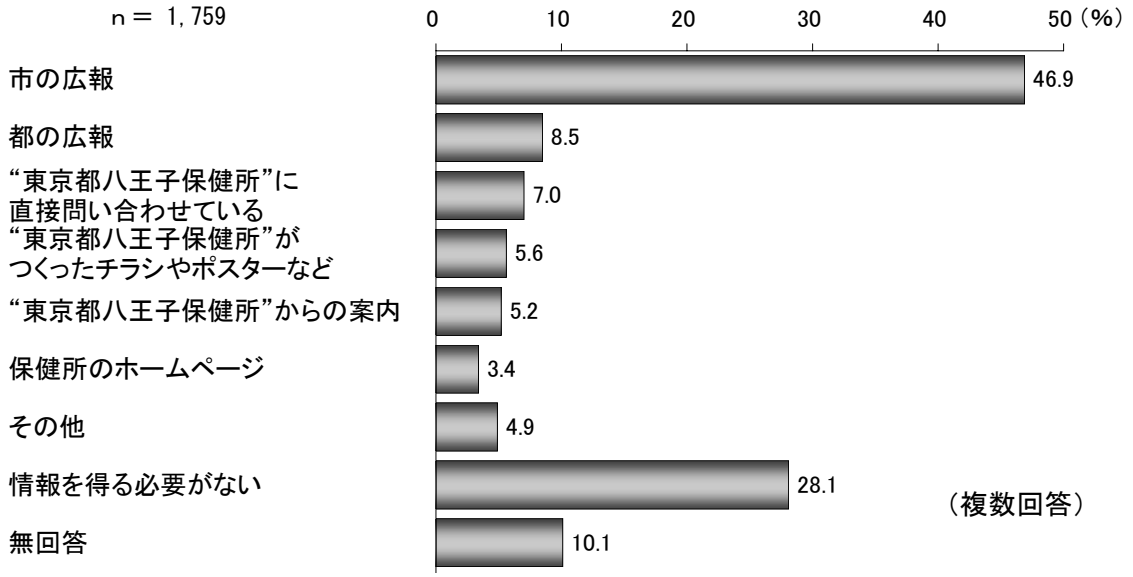


５－５　東京都八王子保健所に関する情報入手方法

◇「市の広報」が４割台半ばと突出している

問12　あなたは“東京都八王子保健所”に関する情報をどのように入手していますか。
（○はいくつでも）

図５－５－１



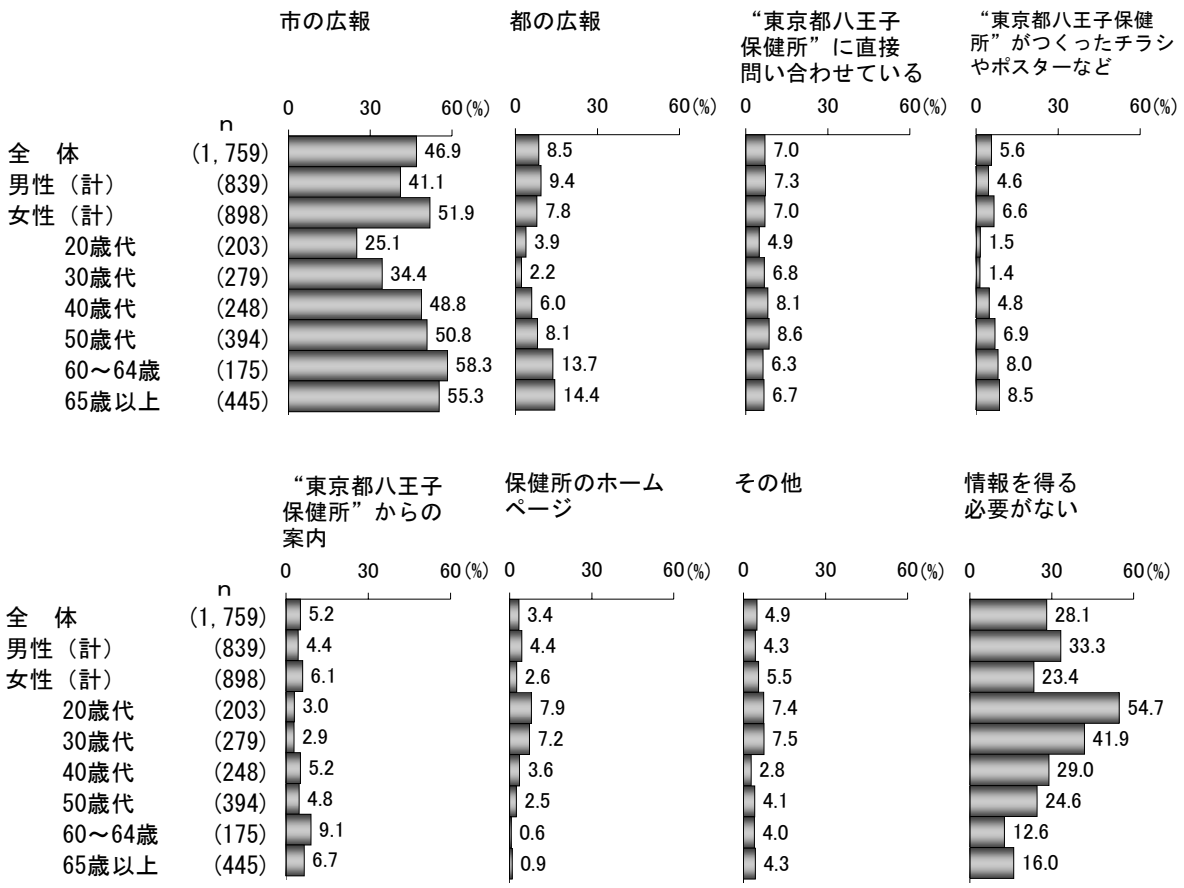
“東京都八王子保健所”に関する情報の入手方法について聞いたところ、「市の広報」が４割台半ば（46.9%）と最も高く、ついで「都の広報」（8.5%）、「“東京都八王子保健所”に直接問い合わせている」（7.0%）と続いている。一方で、「情報を得る必要がない」は３割弱（28.1%）となっている。

（図５－５－１）

性別にみると、「市の広報」は女性の方が男性よりも 10.8 ポイント高い。

年齢別にみると、「市の広報」は高い年代ほど割合が高くなる傾向にある。一方、「情報を得る必要がない」は低い年代ほど割合が高くなる傾向にある。（図５－５－２）

図５－５－２　東京都八王子保健所に関する情報入手方法－性別・年齢別



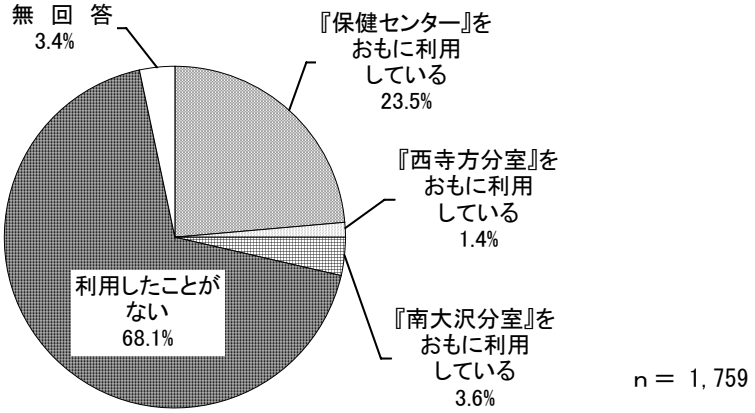
５－６　八王子市の『保健センター』の利用の有無

◇『保健センター』を主に利用した』人は２割強にとどまる

［問 13　から　問 14　までは、現在八王子市が設置している『保健センター』に関する質問です。］

問13　あなたは、八王子市の『保健センター』を利用したことがありますか。また、おもに利用する『保健センター』はどこですか（○は１つだけ）

図５－６－１



八王子市の『保健センター』の利用の有無について聞いたところ、「『保健センター』をおもに利用している」は２割強(23.5%)となっている一方で、「利用したことがない」は７割弱(68.1%)と高くなっている。(図５－６－１)

性別にみると、「『保健センター』をおもに利用している」は、女性の方が 9.7 ポイント高い。

年齢別にみると、「『保健センター』をおもに利用している」は 30 歳代で一番割合が高く、３割台半ば（35.8%）となっている。(図５－６－２)

居住別にみると、「『保健センター』をおもに利用している」は加住・石川（北部地域）が３割台半ば（35.5%）で一番割合が高い。また、由木・由木東・南大沢（東部地域）は「『保健センター』をおもに利用している」の割合がもっとも低く、１割にも満たない（4.6%）のに対し、「『南大沢分室』を利用している」は２割弱（19.5%）で、高くなっている。(図５－６－３)

図５－６－２　八王子市の『保健センター』の利用の有無－性別・年齢別

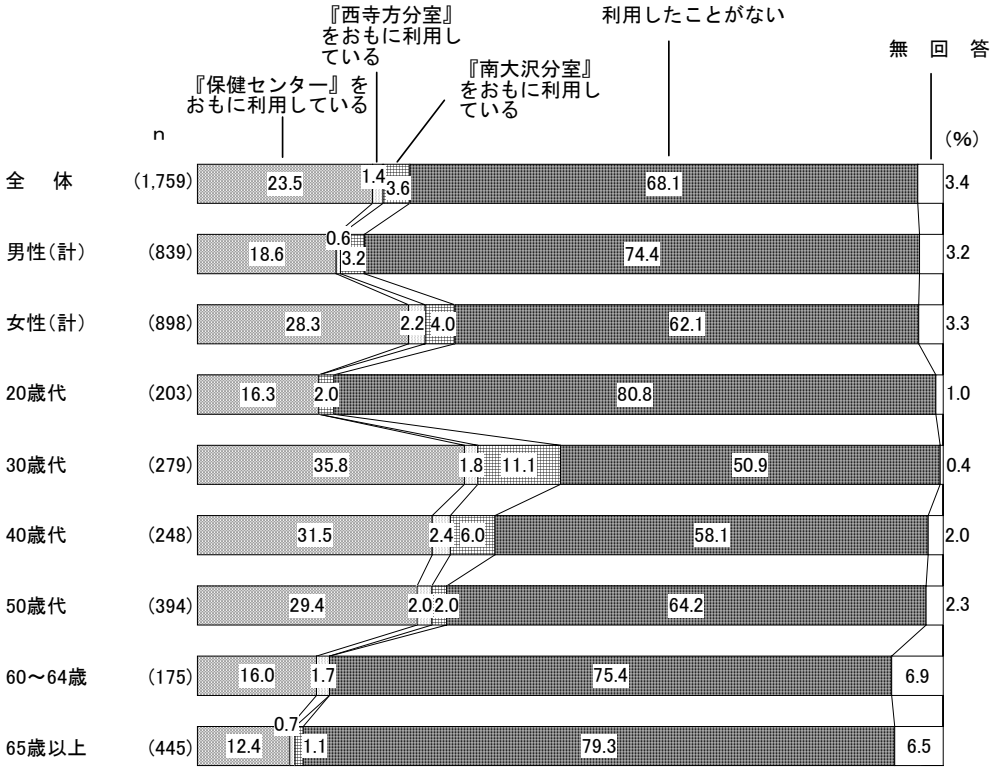
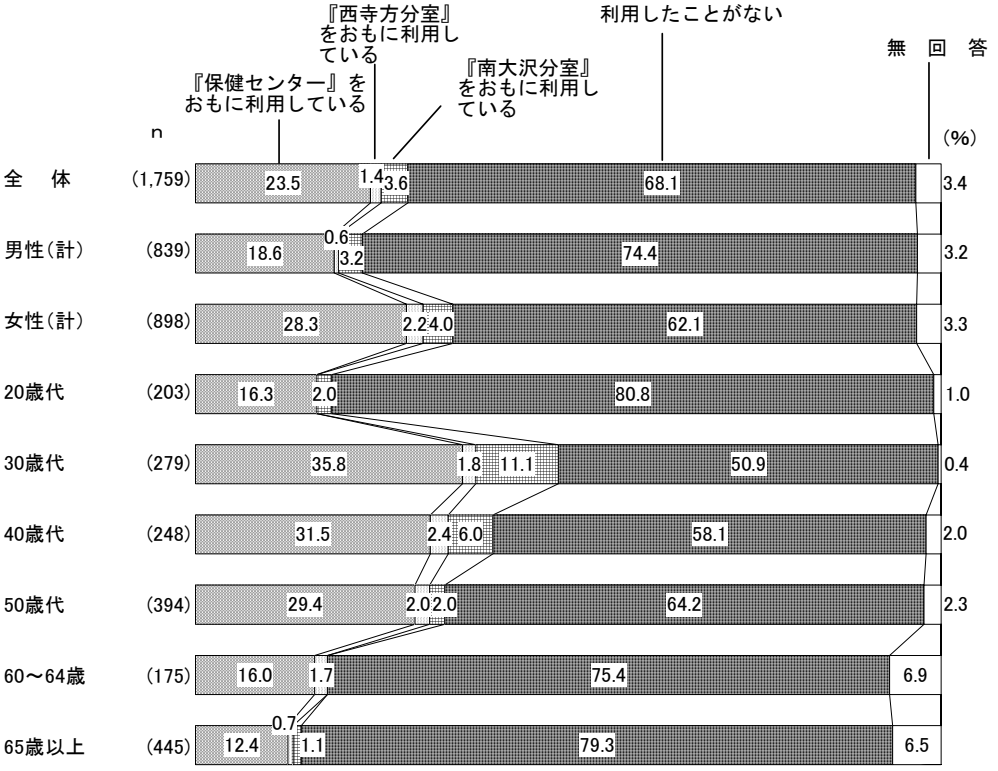


図５－６－３　八王子市の『保健センター』の利用の有無－居住地域別



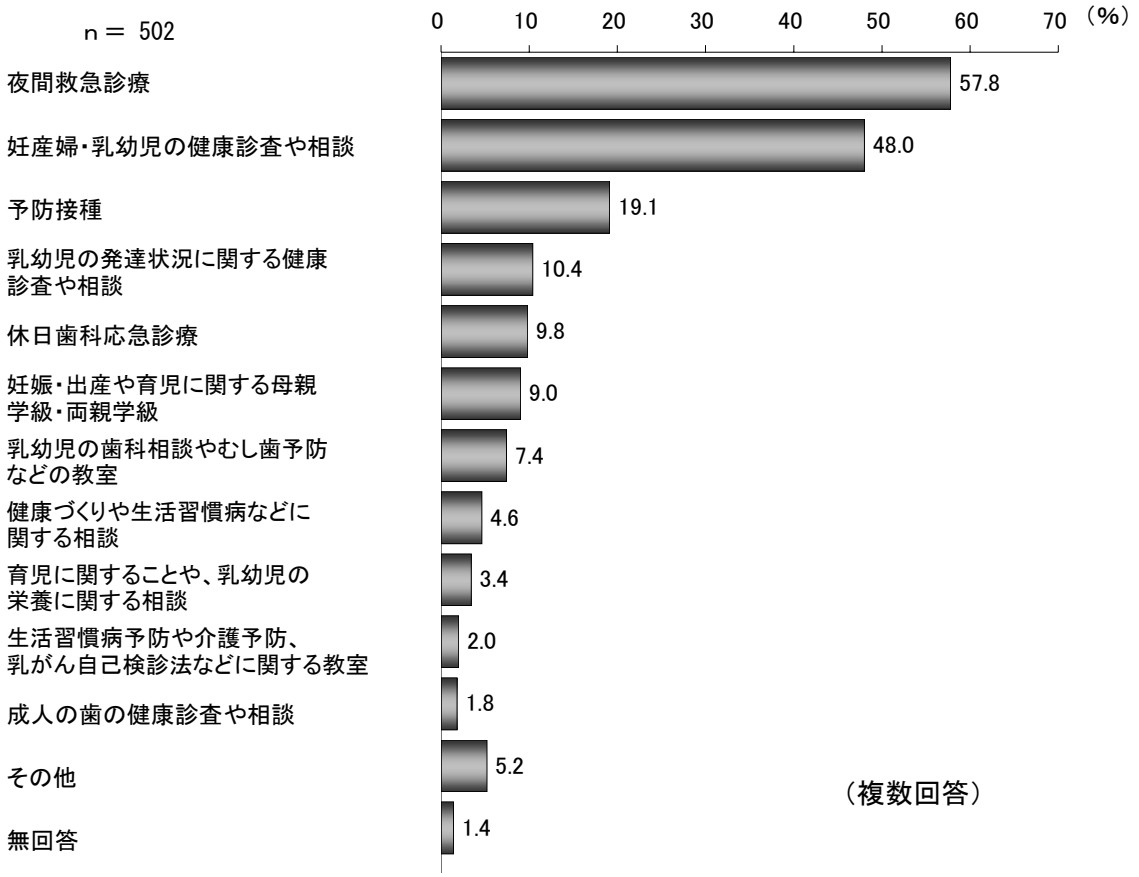
５－７　『保健センター』の利用目的

◇「夜間救急診療」が６割弱

（問13で「１」から「３」とお答えの方に）

問13－１　あなたは、どのような目的で『保健センター』を利用しましたか。（○はいくつでも）

図５－７－１



八王子市の『保健センター』の利用の有無で「『保健センター』をおもに利用している」または「『西寺方分室』をおもに利用している」、「『南大沢分室』をおもに利用している」と答えた人(502 人)に、利用目的を聞いたところ、「夜間救急診療」が６割弱(57.8%)と最も高く、ついで「妊産婦・乳幼児の健康診査や相談」(48.0%)、「予防接種」(19.1%)、「乳幼児の発達状況に関する健康診査や相談」(10.4%)と続いている。(図５－７－１)

性別でみると、「妊産婦・乳幼児の健康診査や相談」は、女性の方が 14.1 ポイント高い。

年齢別でみると、「夜間救急診療」は 50 歳代が７割を超え（72.7%）、「妊産婦・乳幼児の健康診査や相談」は 30 歳代が８割を超え（80.9%）、それぞれ高くなっている。（図５－７－２）

居住地域別でみると、「夜間救急診療」はほとんどの地区で５割を超えているが、由木・由木東・南大沢（東部地域）は２割にも満たず（16.4%）、低くなっている。（図５－７－３）

図５－７－２　『保健センター』の利用目的－性別・年齢別（上位５項目）

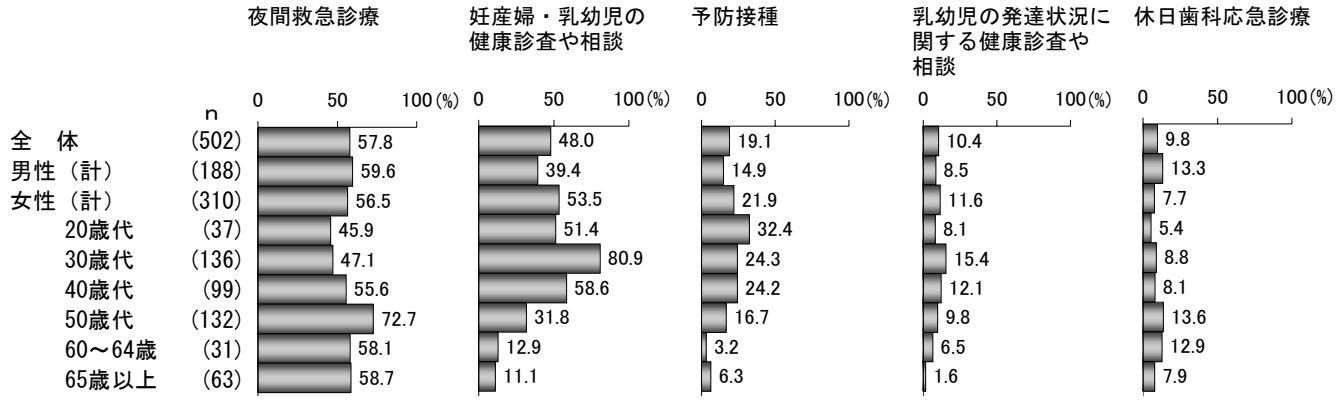
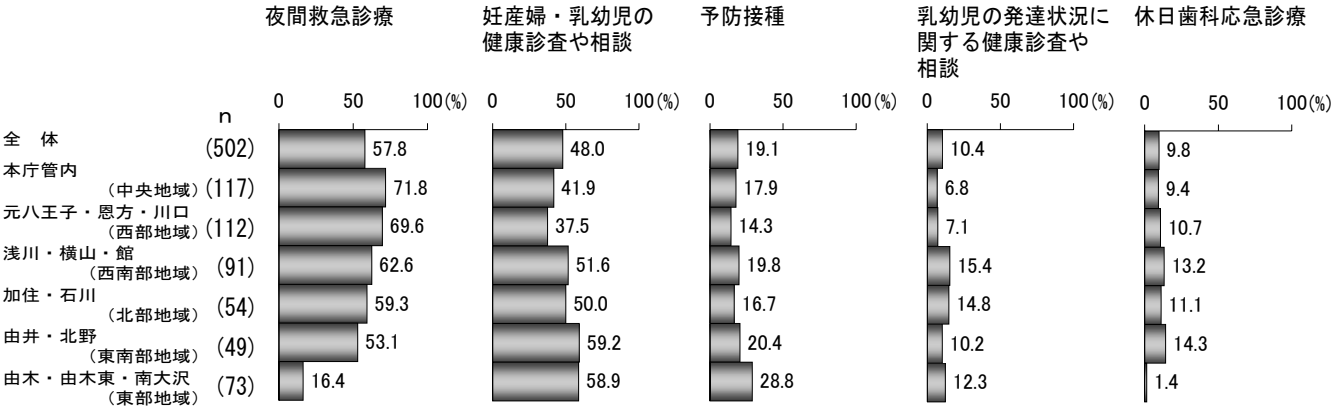


図５－７－３　『保健センター』の利用目的－居住地域別（上位５項目）



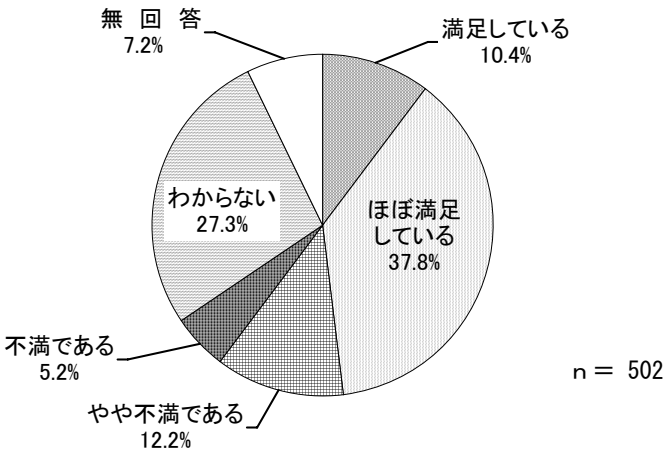
５－８　『保健センター』の実施業務に対する印象

◇「ほぼ満足している」が４割弱

（問 13 で「１」から「３」とお答えの方に）

問13－２　あなたは、八王子市の『保健センター』が実施している業務について、どのような印象をもっていますか。（○は１つだけ）

図５－８－１



八王子市の『保健センター』の利用の有無で「『保健センター』をおもに利用している」または「『西寺方分室』をおもに利用している」、「『南大沢分室』をおもに利用している」と答えた人(502 人)に、『保健センター』の実施業務について聞いたところ、「ほぼ満足している」が４割弱(37.8%)と最も高く、「満足している」(10.4%)と合わせた『満足』は５割弱(48.2%)となっている。（図５－８－１）

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別にみると、「満足している」は 20 歳代で２割を超え（24.3%）、『満足』でも５割台半ば（56.7%）と高くなっている。また、50 歳代は「満足している」が１割にも満たず（1.5%）、極めて低いものの、「ほぼ満足している」（50.8%）と合わせた『満足』は５割超（52.3%）で高くなっている。

（図５－８－２）

図５－８－２　『保健センター』の実施業務に対する印象－性別・年齢別

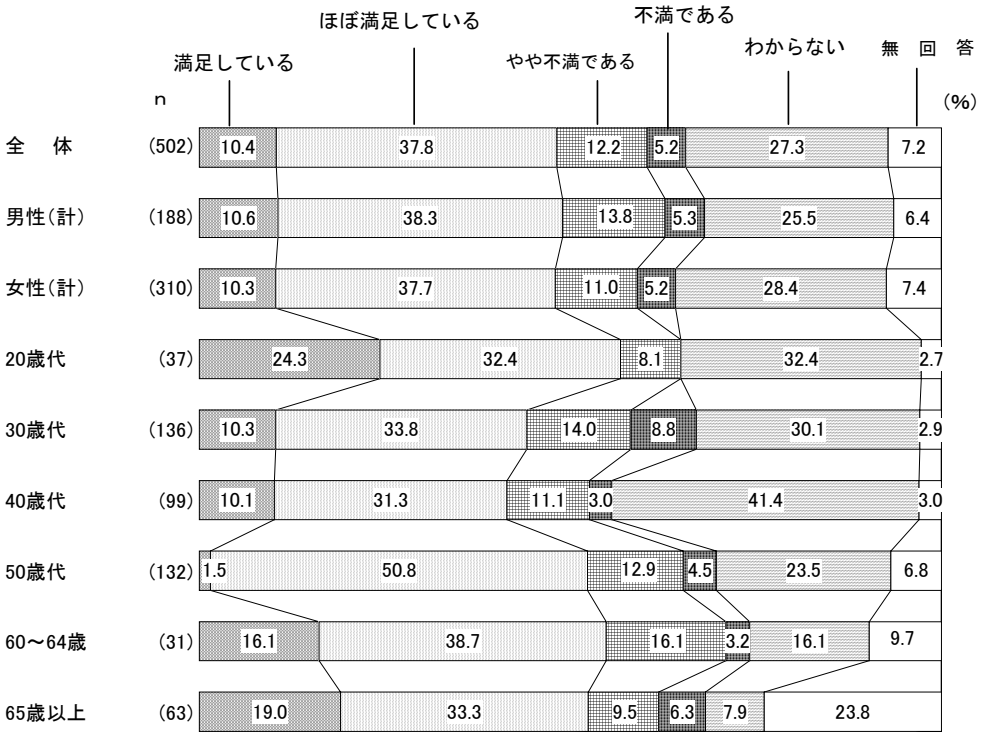
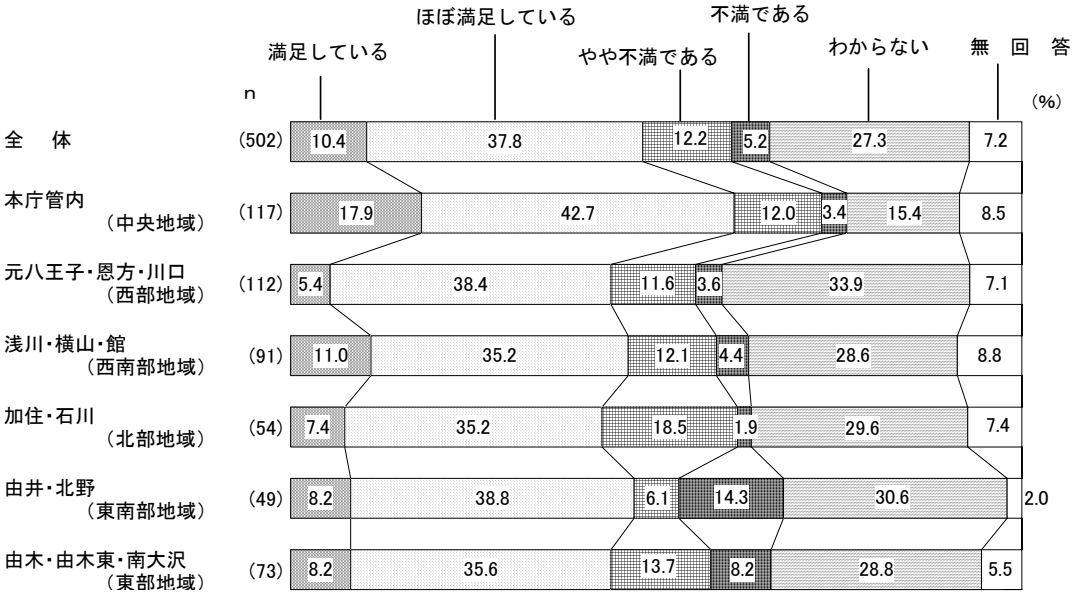


図５－８－３　『保健センター』の実施業務に対する印象－居住地域別



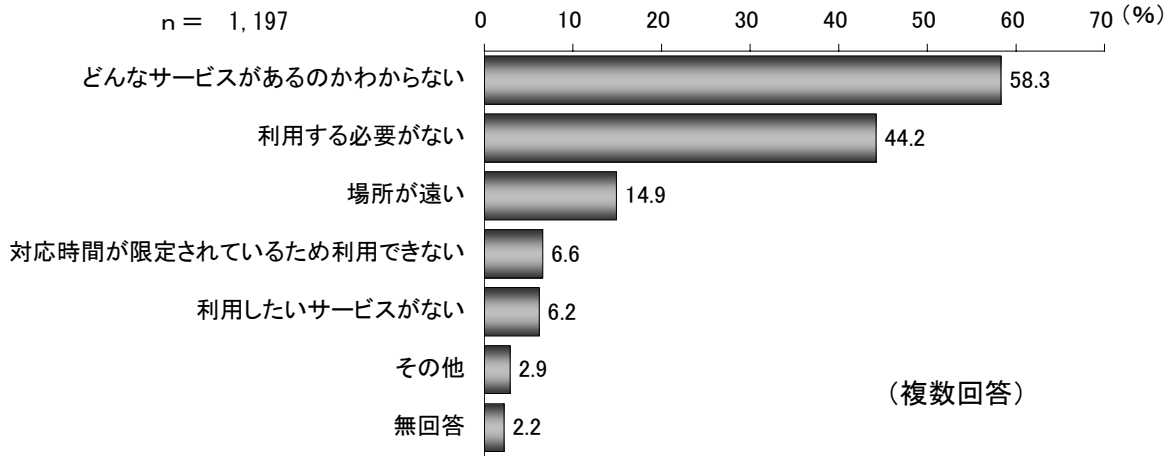
５－９　『保健センター』を利用したことがない理由

◇「どんなサービスがあるのかわからない」が６割弱

（問 13 で「４　利用したことがない」とお答えの方に）

問13－３　あなたが、『保健センター』を利用したことがない理由はどのようなものですか。
（○はいくつでも）

図５－９－１



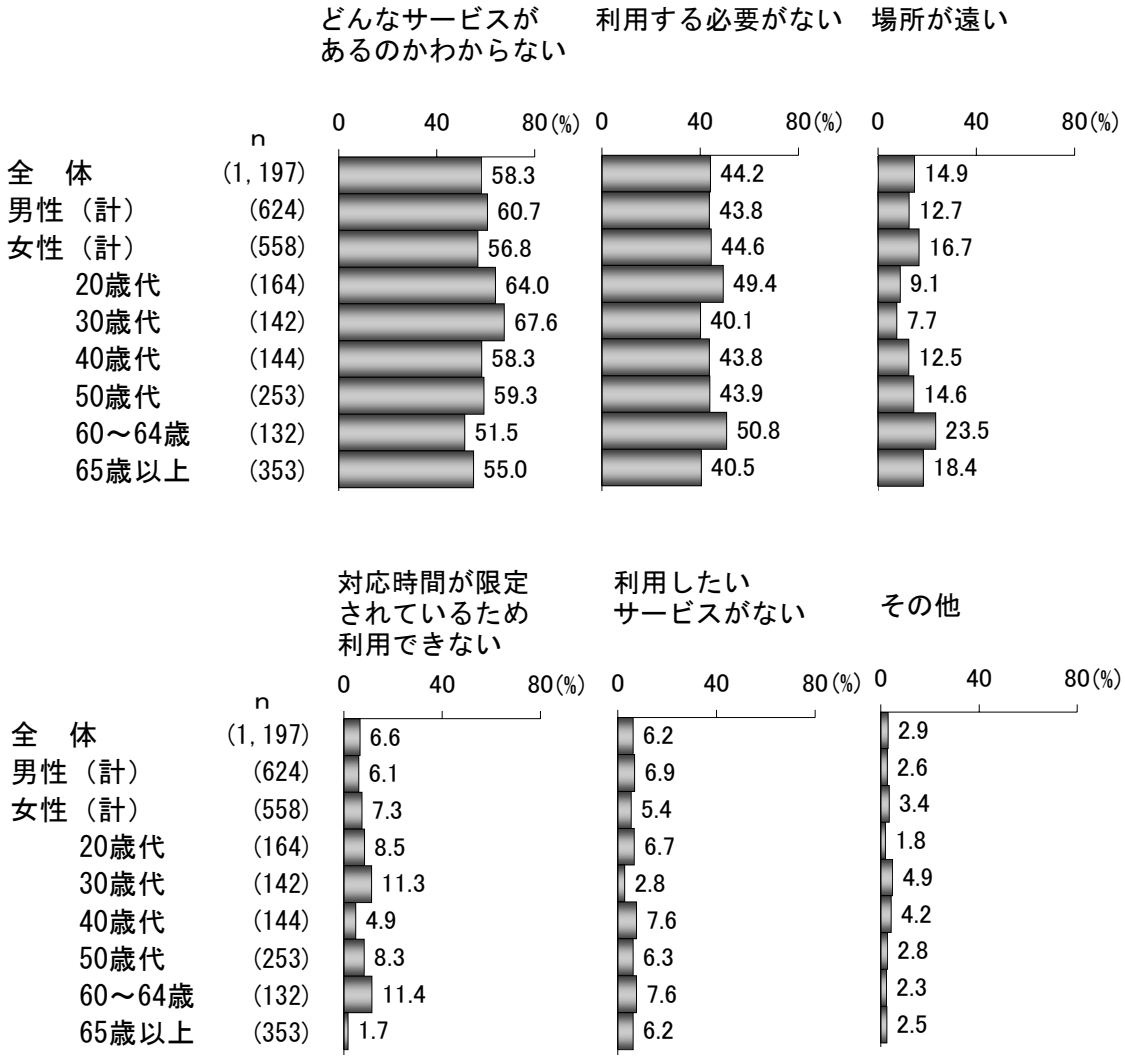
八王子市の『保健センター』の利用の有無で「利用したことがない」と答えた人(1,197 人)に、利用したことがない理由を聞いたところ、「どんなサービスがあるのかわからない」が６割弱(58.3%)と最も高く、ついで「利用する必要がない」(44.2%)、「場所が遠い」(14.9%)と続いている。

(図５－９－１)

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

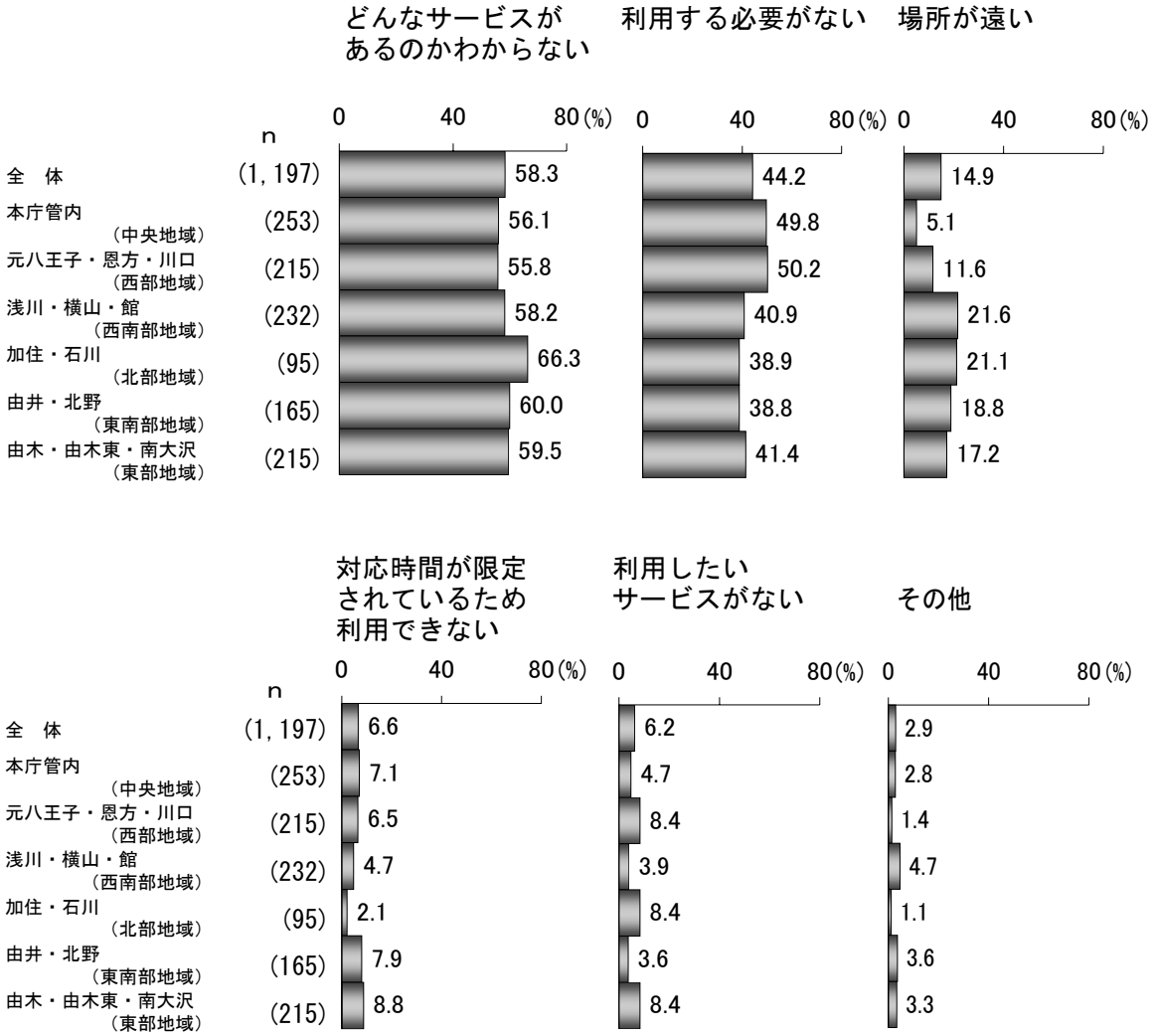
年齢別にみると、「どんなサービスがあるのかわからない」が 30 歳代で６割台半ばを超えて（67.6%）高く、20 歳代も６割を超えて（64.0%）高い。また、「利用する必要がない」は、20 歳代と 60～64 歳の年代が約５割となっている。（図５－９－２）

図５－９－２　『保健センター』を利用したことがない理由－性別・年齢別



居住地域別にみると、「利用する必要がない」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で５割（50.2%）、で高い。また、本庁管内（中央地域）も５割弱（49.8%）と高くなっている。(図５－９－３)

図５－９－３　『保健センター』を利用したことがない理由－居住地域別

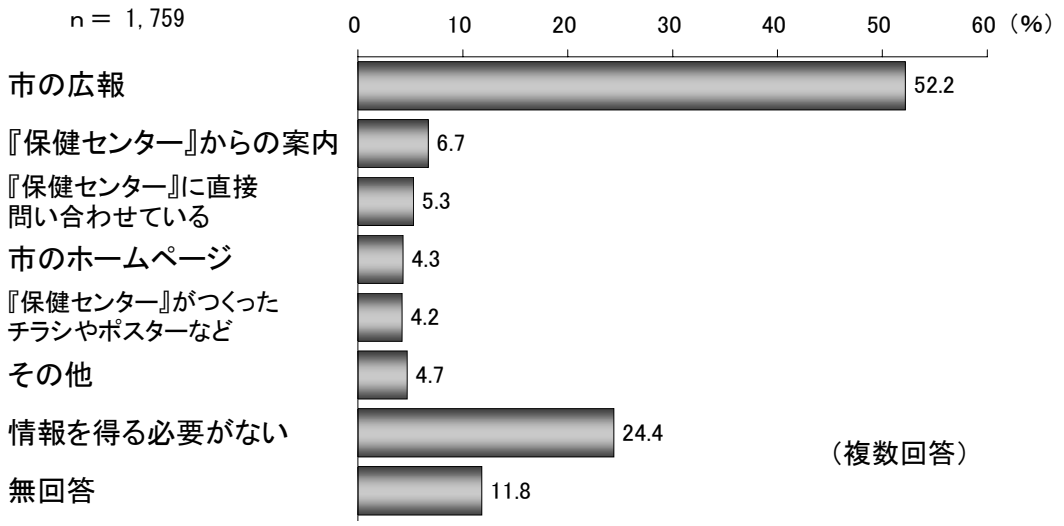


５－10　『保健センター』に関する情報の入手方法

◇「市の広報」が５割強と突出している

問14　あなたは『保健センター』に関する情報をどのように入手していますか。（○はいくつでも）

図５－10－１

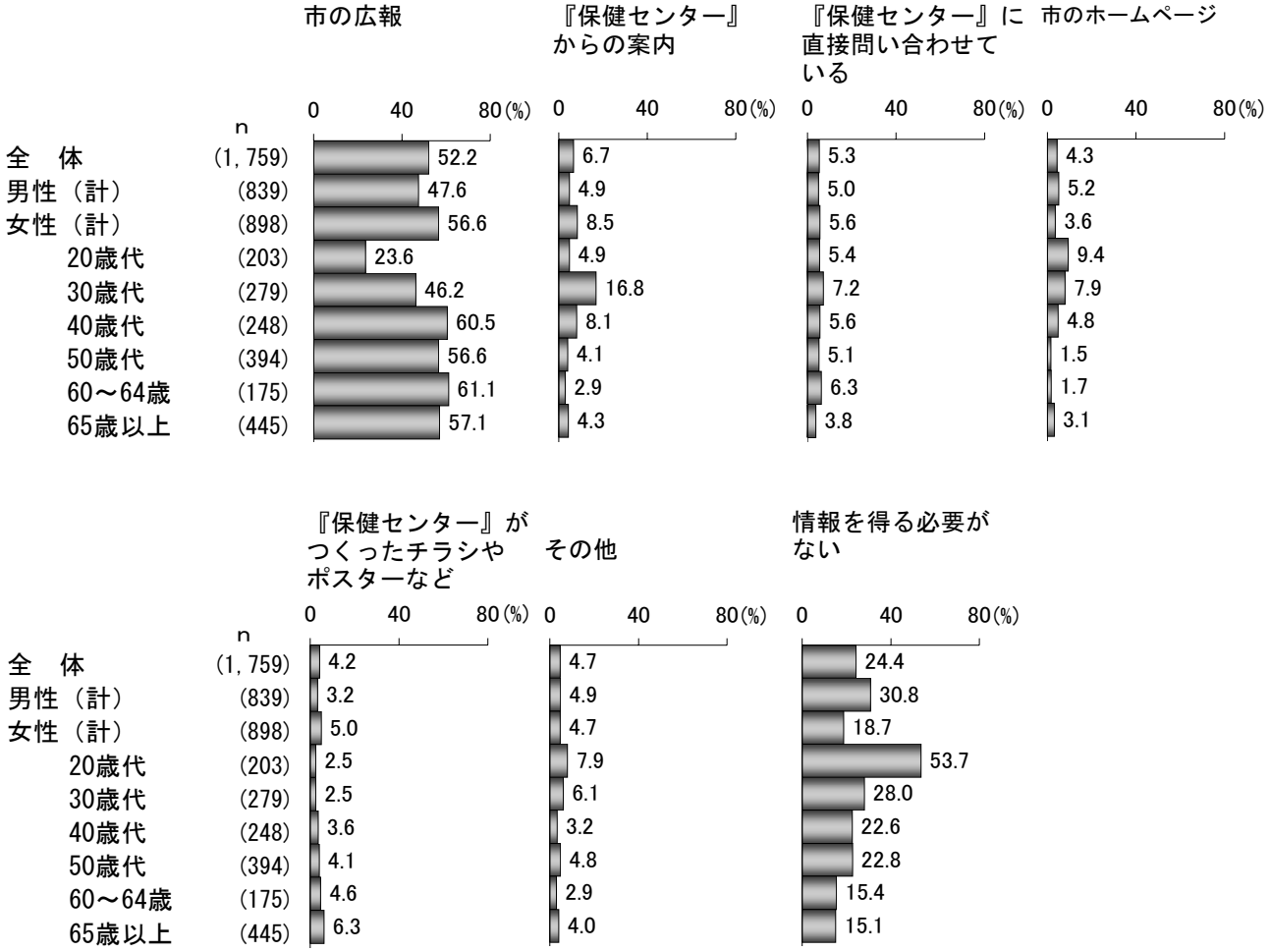


『保健センター』に関する情報の入手方法について聞いたところ、「市の広報」が５割強(52.2%)と最も高く、「『保健センター』からの案内」(6.7%)と続いている。一方、「情報を得る必要がない」は２割台半ば(24.4%)となっている。(図５－10－１)

性別にみると、「市の広報」は女性の方が 9.0 ポイント高い。一方、「情報を得る必要がない」は男性の方が 12.1 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、20 歳代は「市の広報」が２割強（23.6%）にとどまっているのに対し、「情報を得る必要がない」は５割を超え（53.7%）、高くなっている。（図５－10－２）

図５－10－２『保健センター』に関する情報の入手方法－性別・年齢別



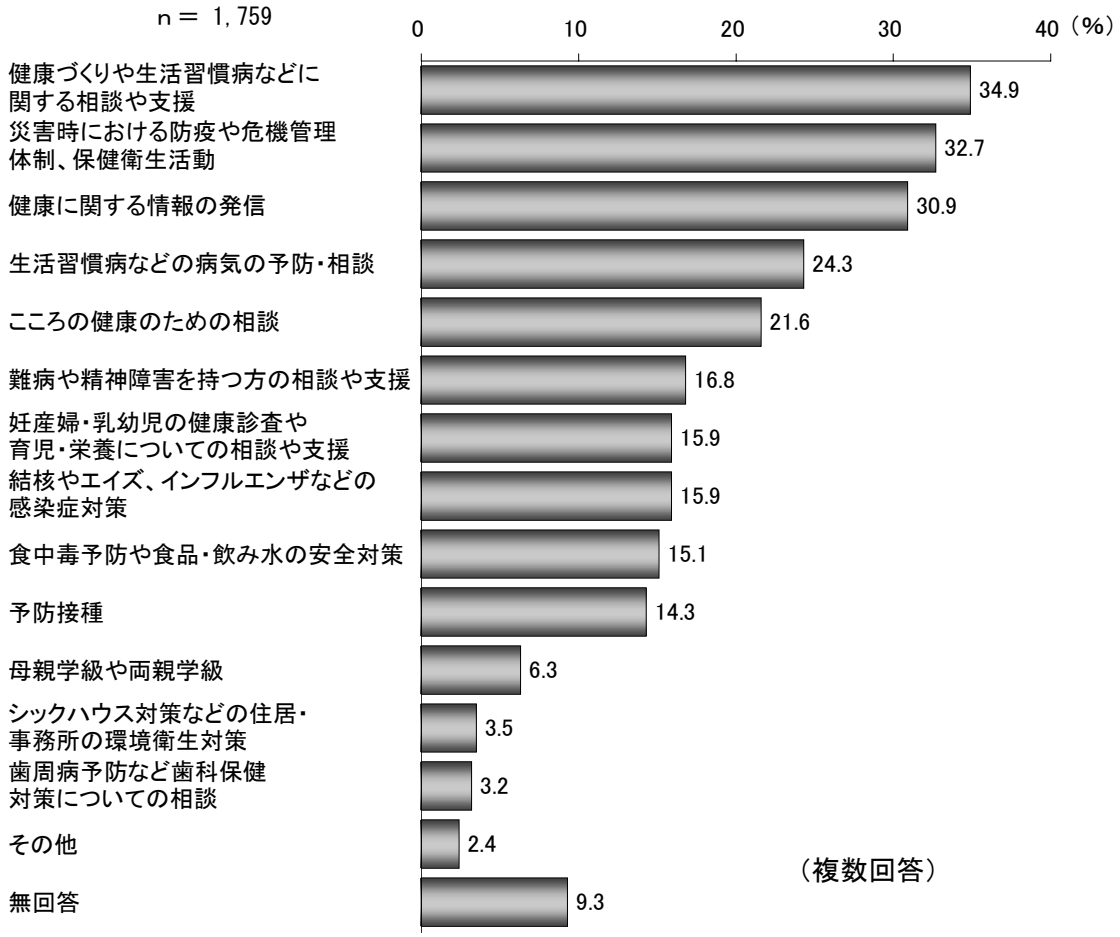
５－11　新しい『八王子市保健所(仮称)』で特に重視していくべきもの

◇「健康づくりや生活習慣病などに関する相談や支援」が３割台半ば

［問 15　および　問 16　は、平成 19 年４月以降、本市が運営する『八王子市保健所（仮称）』（旭町 13－18　※ 現在の“東京都八王子保健所”と場所は変わりません）についての質問です。］

問 15　あなたは、新しい『八王子市保健所（仮称)』が行う保健サービスとして、特に何を重視していくべきだと思いますか。（○は３つまで）

図５－11－１

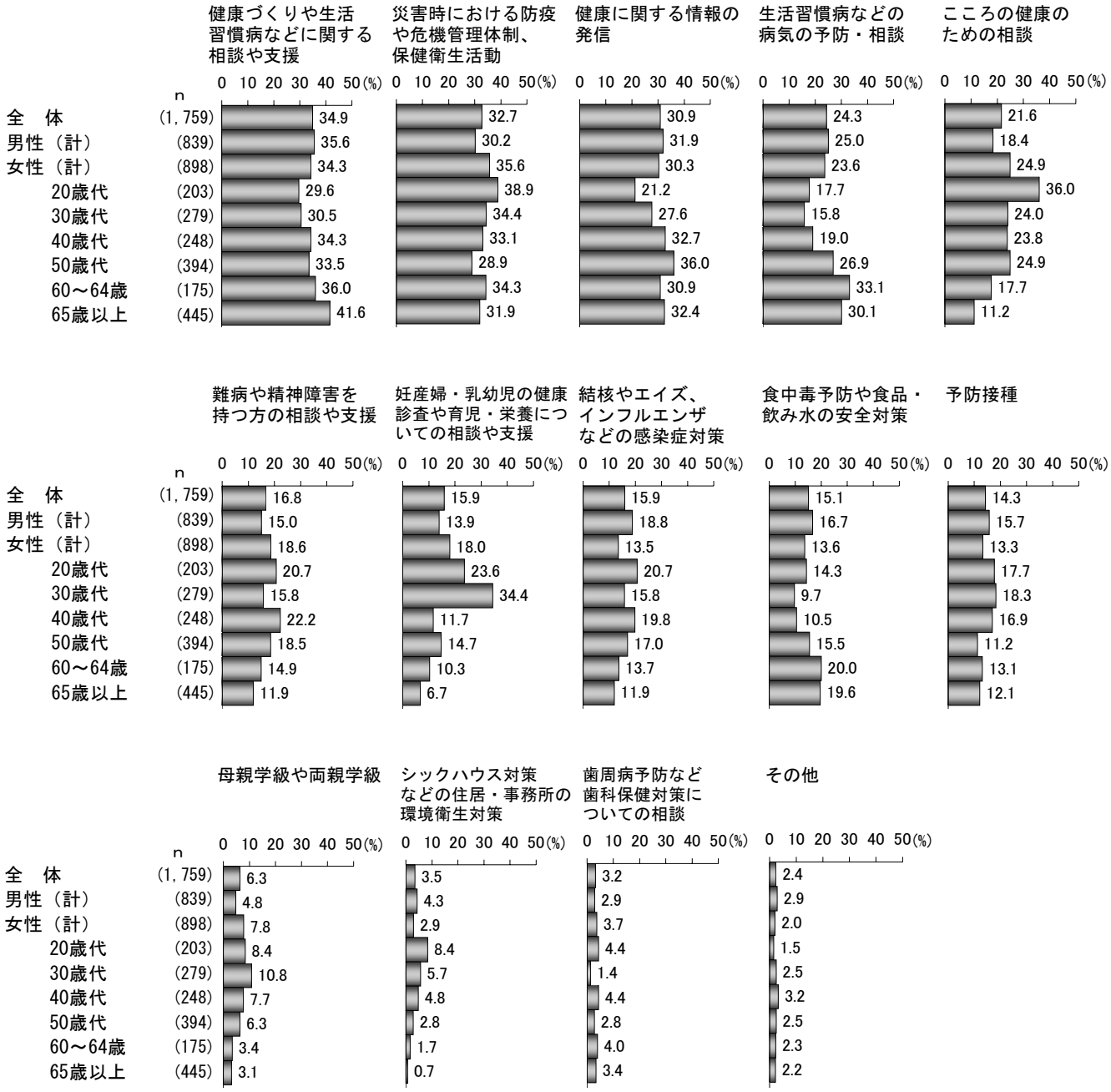


新しい『八王子市保健所（仮称)』が行う保健サービスとして、特に重視していくべきことについて聞いたところ、「健康づくりや生活習慣病などに関する相談や支援」が３割台半ば(34.9%)と最も高く、ついで「災害時における防疫や危機管理体制、保健衛生活動」(32.7%)、「健康に関する情報の発信」(30.9%)、「生活習慣病などの病気の予防・相談」(24.3%)と続いている。(図５－11－１)

性別にみると、「こころの健康のための相談」は女性の方が 6.5 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「こころの健康のための相談」は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、20 歳代が３割台半ば（36.0％）と高い。また、「健康づくりや生活習慣病などに関する相談や支援」は、65 歳以上が４割を超え（41.6％）高く、「妊産婦・乳幼児の健康診査や育児・栄養についての相談や支援」は、30 歳代が３割強（34.4％）と高くなっている。（図５－11－２）

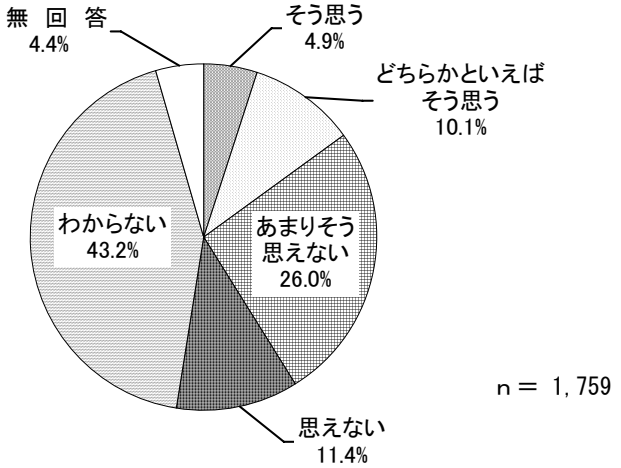
図５－11－２　新しい『八王子市保健所（仮称）』で特に重視していくべきもの－性別・年齢別



第２章
６．「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度
６－１　市民協働の推進状況
◇『そう思う』が１割台半ばにとどまる

問17　あなたは、市が市民協働のまちを進めていると感じますか。（○は１つだけ）

図６－１－１

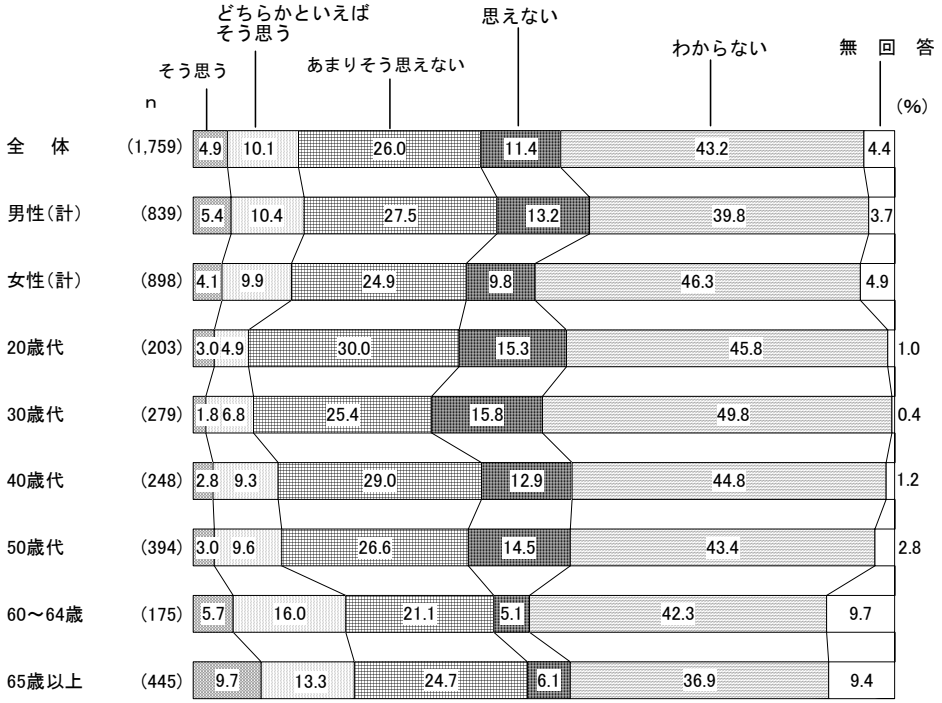


市が市民協働のまちを進めていると感じるかどうかについて聞いたところ、「そう思う」は4.9%にとどまり、「どちらかといえばそう思う」（10.1%）と合わせた『そう思う』は１割台半ば(15.0%)となっている。一方、「あまりそう思えない」（26.0%）と「思えない」（11.4%）を合わせた『思えない』は４割弱(37.4%)となっている。（図６－１－１）

性別にみると、「思えない」は男性のほうが3.4ポイント高く、「わからない」は女性の方が6.5ポイント高い。

年齢別にみると、『そう思う』は60歳以上で２割を超え、高くなっている。（図６－１－２）

図６－１－２　市民協働の推進状況－性別・年齢別

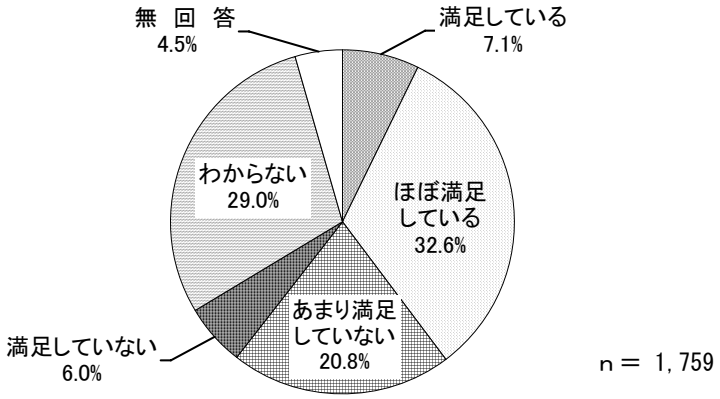


６－２　現在の市政情報入手方法の満足度

◇『満足』は４割弱、『満足していない』は２割台半ば

問 18　市は、市政の情報を、積極的に配信・提供していますが、あなたは、現在の市政情報の入手方法に満足していますか。（○は１つだけ）

図６－２－１

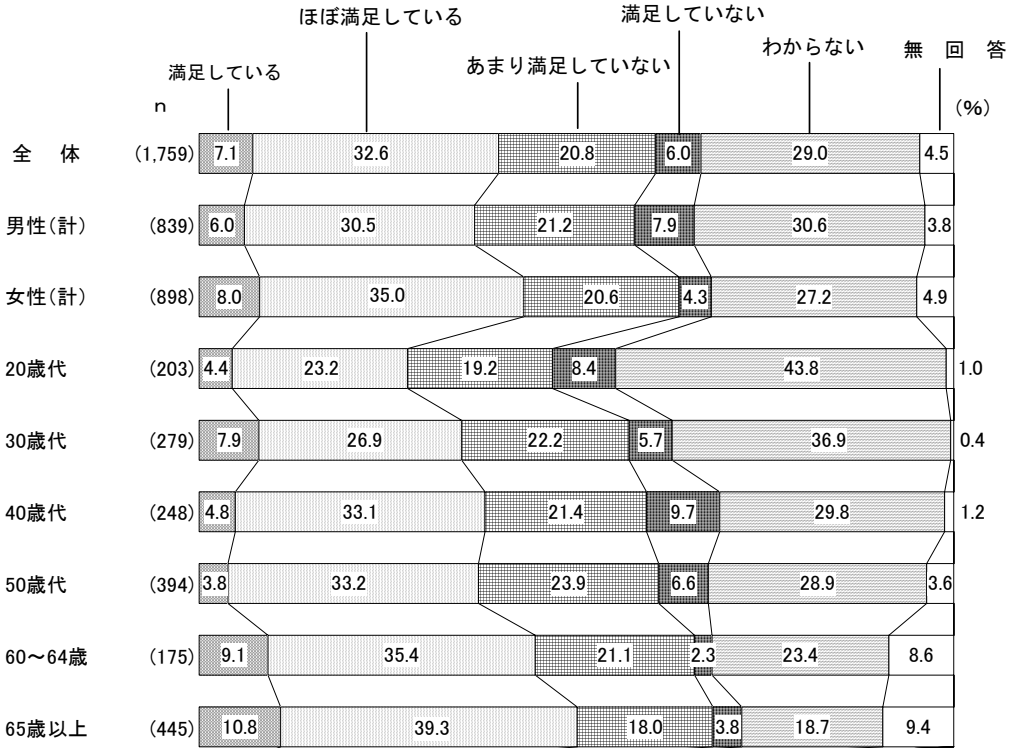


市政情報の入手方法の満足度について聞いたところ、「ほぼ満足している」は３割強(32.6%)と最も高く、「満足している」(7.1%)と合わせた『満足』は４割弱(39.7%)となっている。一方、「あまり満足していない」(20.8%)と「満足していない」(6.0%)を合わせた『満足していない』は２割台半ば(26.8%)となっている。(図６－２－１)

性別にみると、『満足している』は女性の方が 6.5 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『満足している』は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、65 歳以上では５割を超え、高くなっている。また、「わからない」では低い年代ほど割合が高い傾向にあり、20 歳代では４割を超え（43.8%)、高くなっている。(図６－２－２)

図６－２－２　現在の市政情報入手方法の満足度ー性別・年齢別

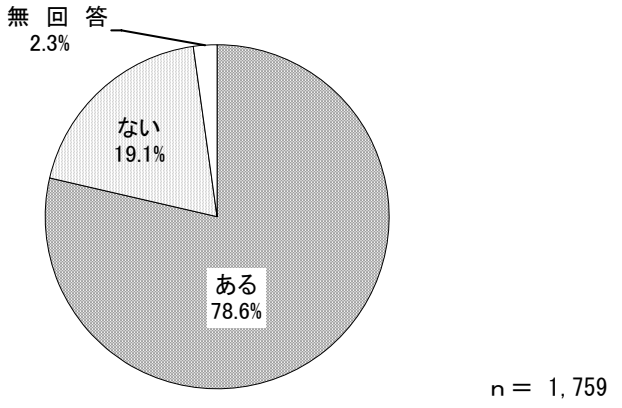


６－３　市の窓口の利用の有無

◇利用したことが「ある」人は８割近くと突出している

問 19　あなたは、この１年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことはありますか。（○は１つだけ）

図６－３－１



この１年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことがあるか聞いたところ、「ある」は８割近く(78.6%)で、「ない」(19.1%)を大きく上回っている。

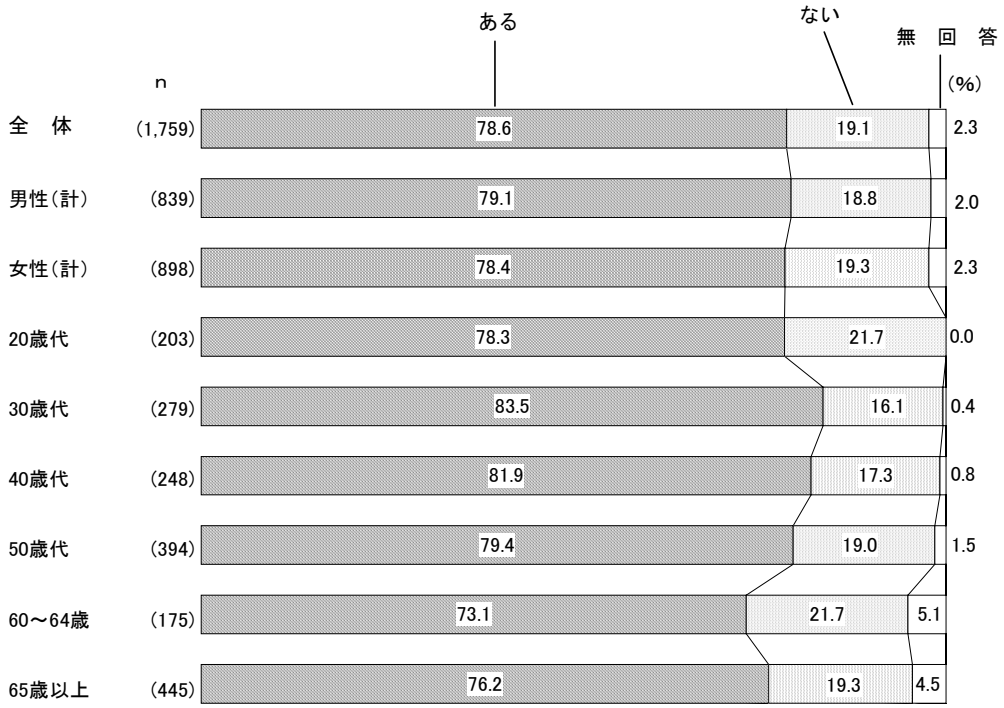
（図６－３－１）

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別にみると、「ある」は 30 歳代（83.5%）と 40 歳代（81.9%）で、８割を超えている。

（図６－３－２）

図６－３－２　市の窓口の利用の有無ー性別・年齢別



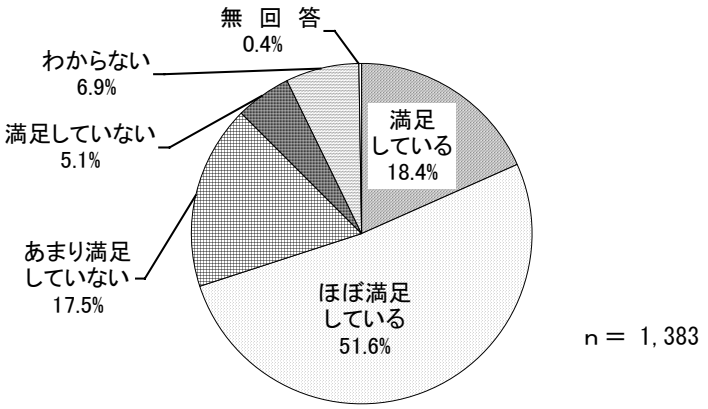
６－４　市の窓口サービスの満足度

◇『満足』が７割を占める

（問19で「１　ある」とお答えの方に）

問19－１　あなたは、市の窓口サービスに満足していますか。（○は１つだけ）

図６－４－１

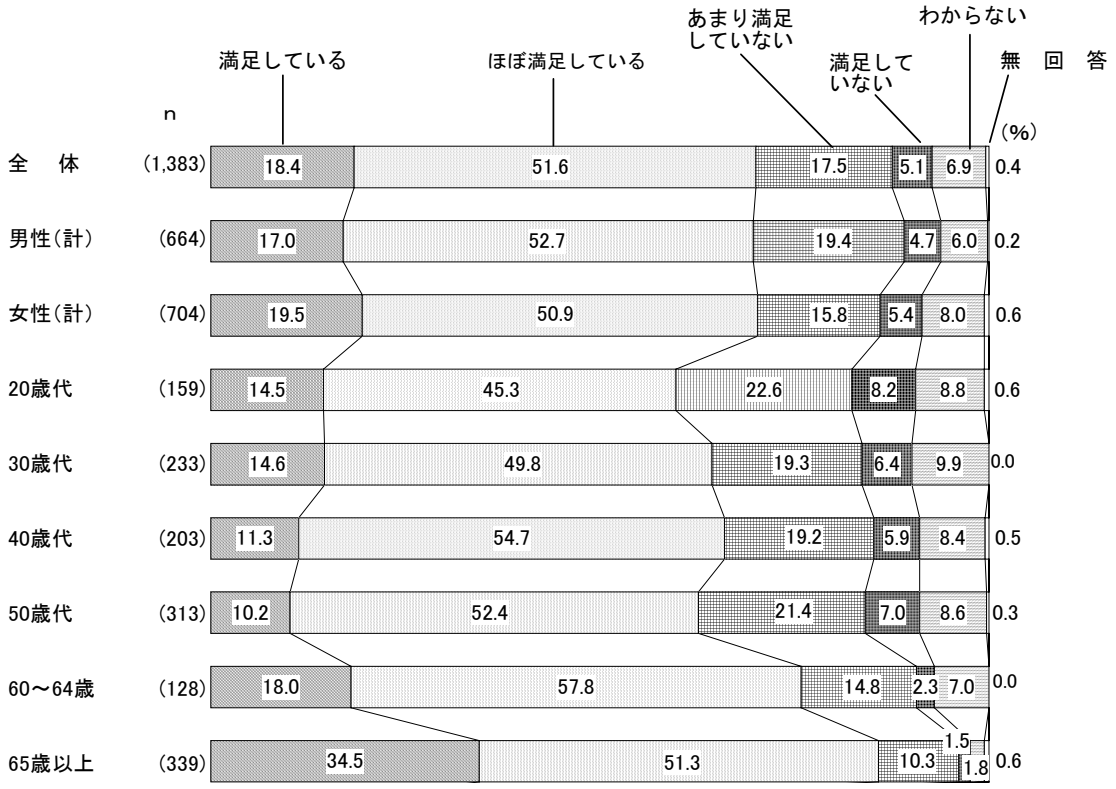


この一年間で市の窓口の利用が「ある」（1,383 人）と答えた人に、市の窓口サービスの満足度について聞いたところ、「ほぼ満足している」が５割強（51.6%）と最も高く、「満足している」（18.4%）と合わせた『満足』は７割（70.0%）となっている。「あまり満足していない」（17.5%）と「満足していない」（5.1%）を合わせた『満足していない』は２割強（22.6%）となっている。（図６－４－１）

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別にみると、『満足している』は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、65 歳以上の年代で８割台半ば（85.8%）を占め、高くなっている。（図６－４－２）

図６－４－２　市の窓口サービスの満足度ー性別・年齢別

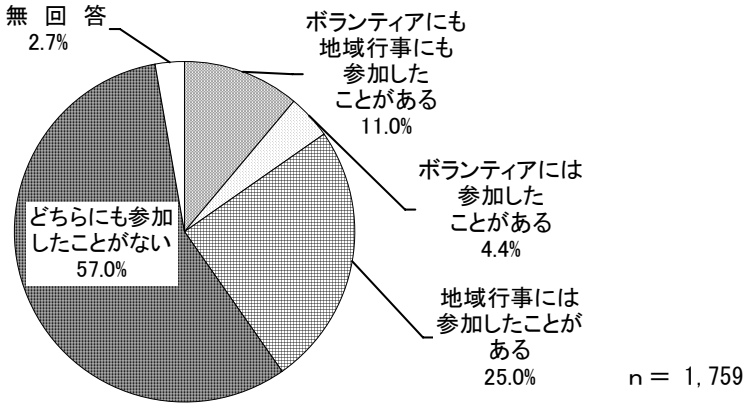


６－５　この１年間の地域行事への参加

◇『参加したことがある』が４割

問 20　あなたは、この１年間に公園清掃などのボランティア活動や盆踊りなど地域行事に参加したことがありますか。（○は１つだけ）

図６－５－１



この１年間に公園清掃などのボランティア活動や盆踊りなどの地域行事に参加したことがあるか聞いたところ、「地域行事には参加したことがある」は２割台半ば(25.0%)、「ボランティアにも地域行事にも参加したことがある」(11.0%)、「ボランティアには参加したことがある」(4.4%)と続き、３項目を合わせた『参加したことがある』は４割（40.4%）となっている。一方で、「どちらにも参加したことがない」は５割台半ば(57.0%)と半数を占めている。(図６－５－１)

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向にある。

年齢別にみると、『参加したことがある』は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、65 歳以上の年代では５割を超え（52.1%）高い。「どちらにも参加したことがない」は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、20 歳代では８割を超え（82.3%）高くなっている。(図６－５－２)

居住地域別にみると、『参加したことがある』は元八王子・恩方・川口（西部地域）で５割近く（48.5%）と高く、「どちらにも参加したことがない」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で６割台半ばを超え（68.3%）高くなっている。(図６－５－３)

図６－５－２　この１年間の地域行事への参加－性別・年齢別

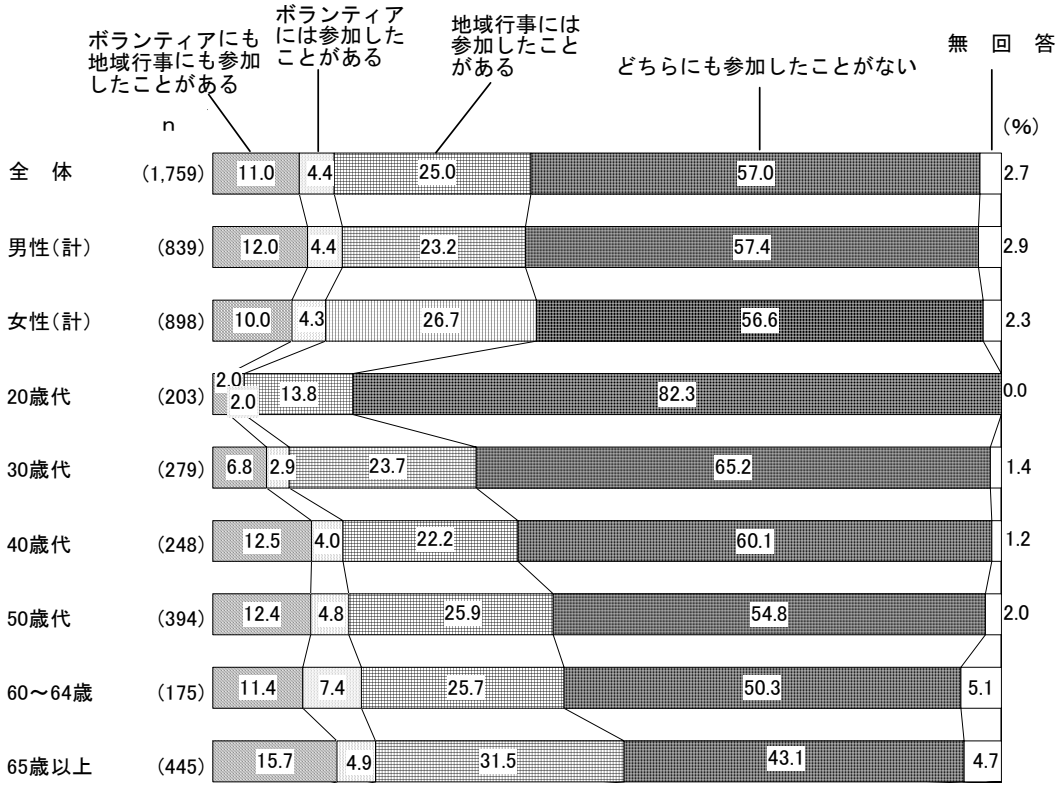
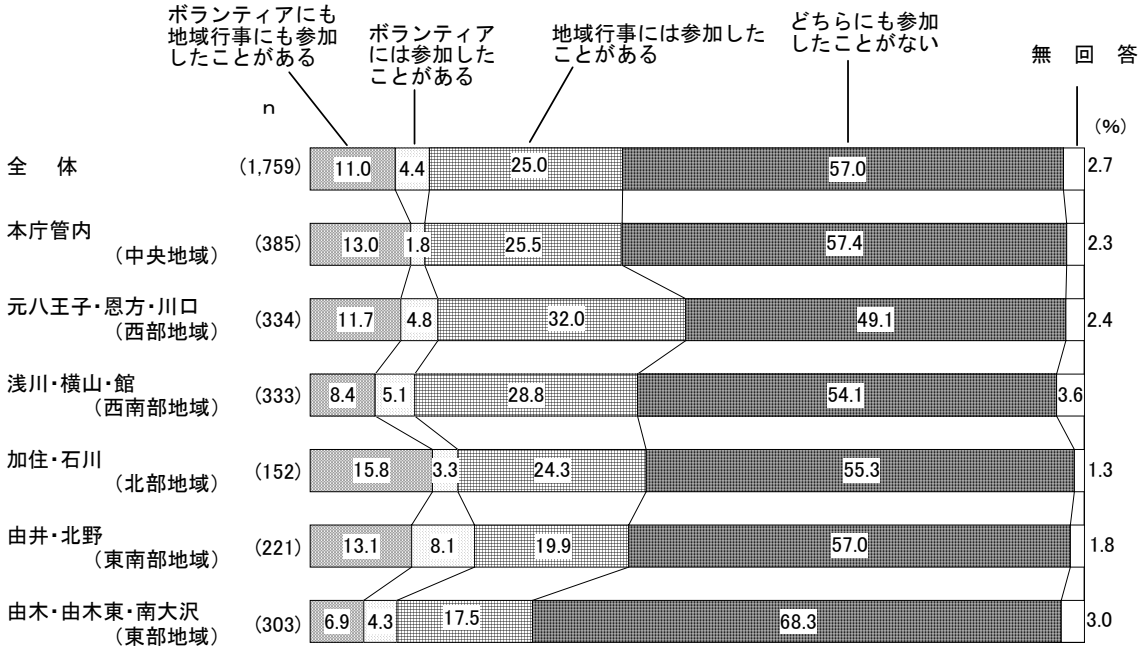


図６－５－３　この１年間の地域行事への参加－居住地域別

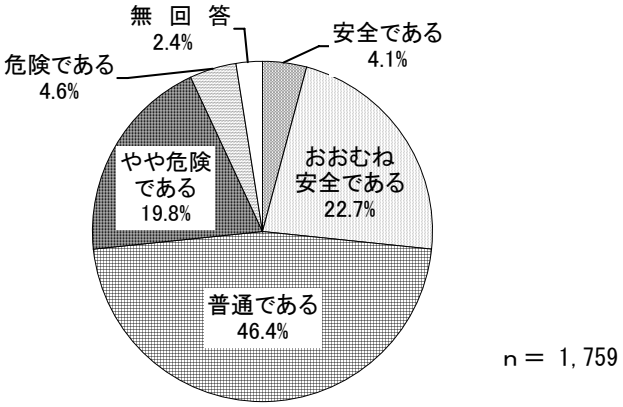


６－６　日常生活環境の安全度

◇「普通である」が４割台半ば、『安全である』が２割台半ば、『危険である』が２割を超える

問21　あなたは、あなたのお住まいの地域が安全であると感じますか。（○は１つだけ）

図６－６－１



住まいの地域が安全であると感じるかどうかについて聞いたところ、「普通である」が４割台半ば(46.4%)と最も高い。「安全である」(4.1%)と「おおむね安全である」(22.7%)を合わせた『安全である』は２割台半ば(26.8%)となっている。「やや危険である」(19.8%) と「危険である」(4.6%) を合わせた『危険である』は２割 (24.4%) を超えている。(図６－６－１)

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向となっている。

年齢別にみると、『危険である』は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、20 歳代で３割台半ば (35.5%) となっている。また、「普通である」は 65 歳以上で５割 (54.2%) を超えている。(図６－６－２)

居住地域別にみると、『安全である』は本庁管内（中央地域）で約３割 (29.1%) と最も高く、『危険である』は、加住・石川地域（北部地域）で３割台半ば (35.6%) となっている。(図６－６－３)

図６－６－２　日常生活環境の安全度－性別・年齢別

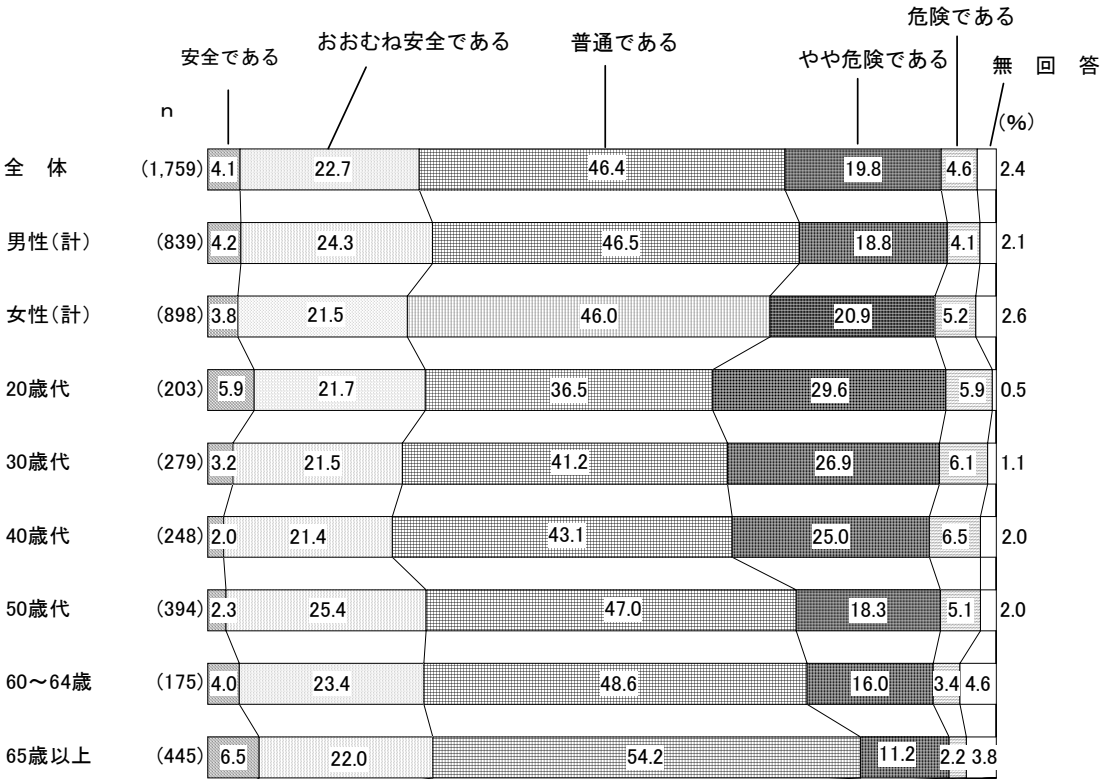
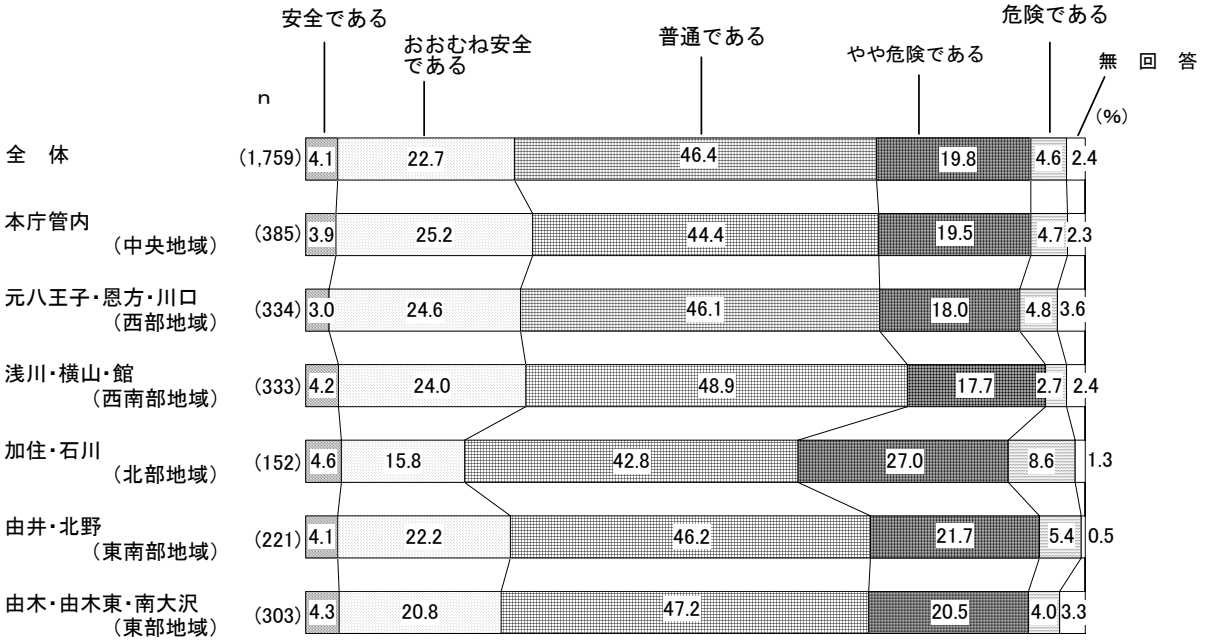


図６－６－３　日常生活環境の安全度－居住地域別

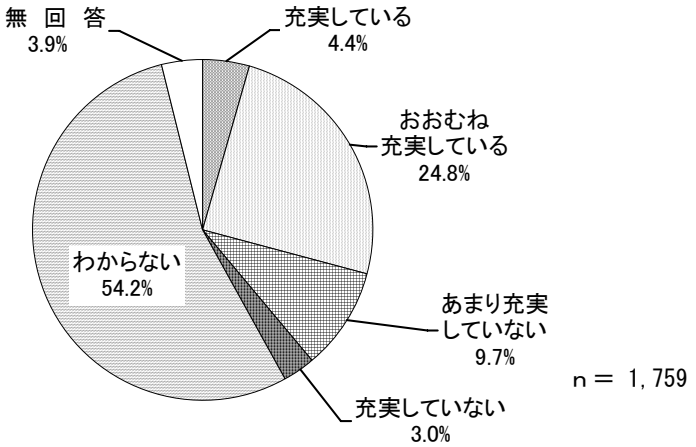


６－７　市の相談窓口の充実度

◇『充実している』が約３割、「わからない」が５割台半ば

問 22　市では、様々な相談を行っていますが、あなたは、市の相談窓口が充実していると思いますか。（○は１つだけ）

図６－７－１



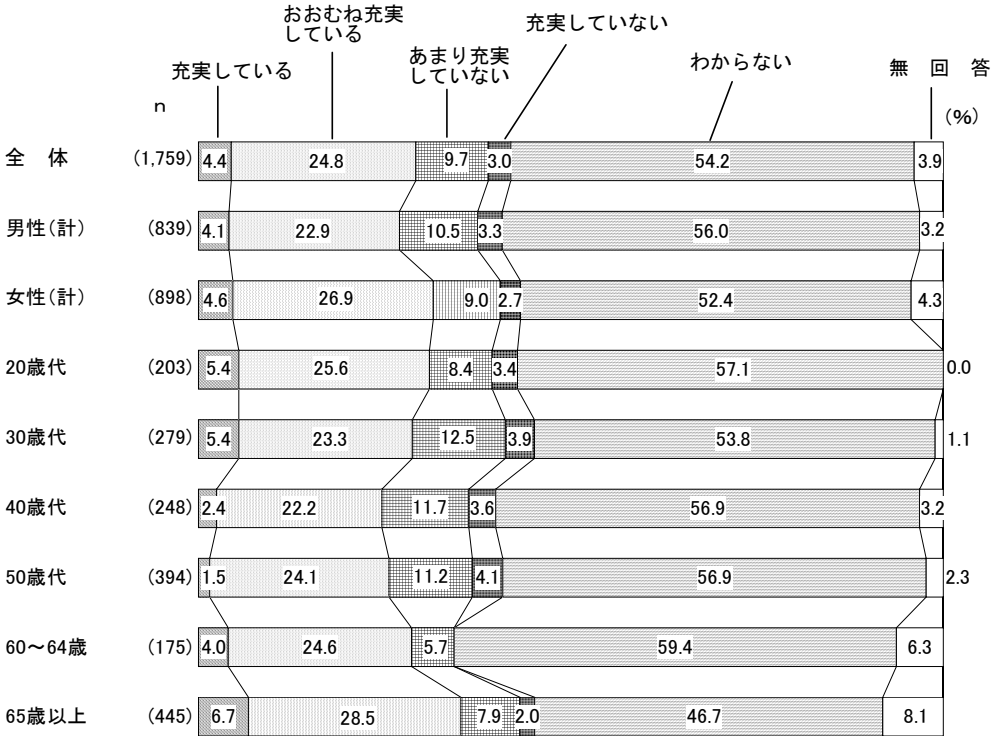
市の相談窓口が充実しているかどうかについて聞いたところ、「おおむね充実している」（24.8%）と「充実している」（4.4%）を合わせた『充実している』）は約３割(29.2%)となっている。一方、「あまり充実していない」(9.7%)と「充実していない」(3.0%)を合わせた『充実していない』は１割強(12.7%)となっている。（図６－７－１）

性別にみると、「おおむね充実している」は女性の方が 4.0 ポイント高い。

年齢別にみると、『充実している』は 65 歳以上で高く、３割台半ば（35.2%）となっている。

（図６－７－２）

図６－７－２　市の相談窓口の充実度－性別・年齢別

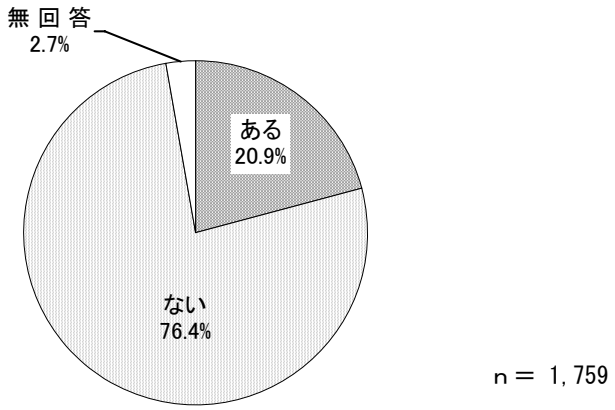


６－８　市の相談窓口の利用の有無

◇利用したことが「ある」人は２割強にとどまる

問23　あなたは、市の相談窓口を利用したことがありますか。（○は１つだけ）

図６－８－１

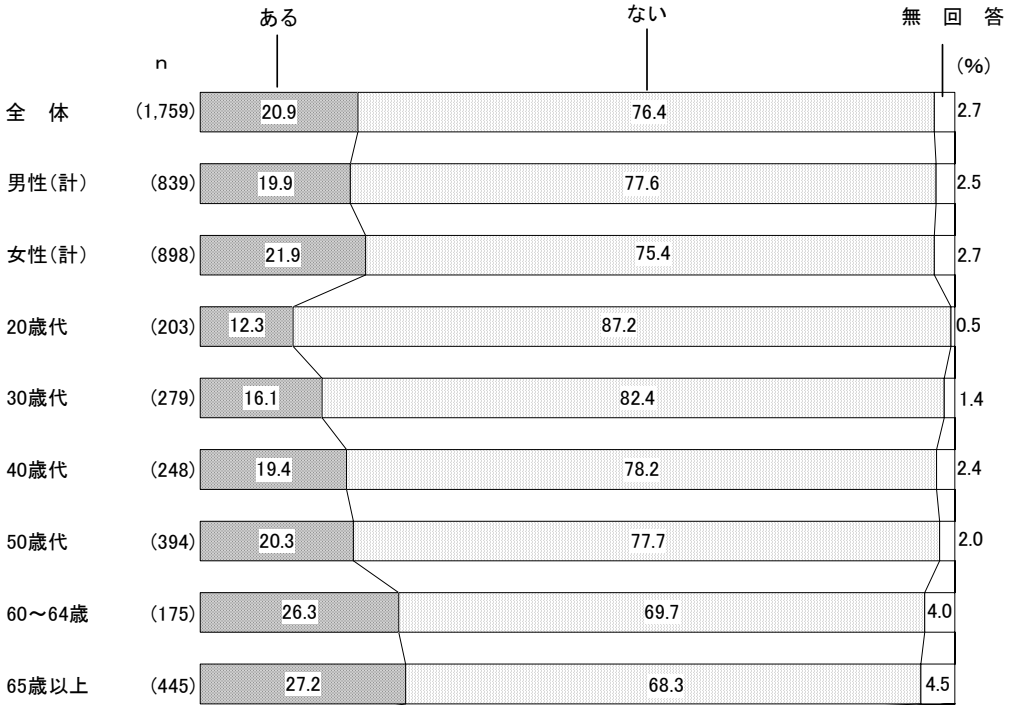


市の相談窓口の利用について聞いたところ、「ある」が２割強(20.9%)、「ない」が７割台半ば(76.4%)となっている。（図６－８－１）

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別にみると、「ある」は高い年代ほど割合が高い傾向にある。「ない」は 20 歳代で８割台半ばを超え（87.2%)、高くなっている。（図６－８－２）

図６－８－２　市の相談窓口の利用の有無－性別・年齢別

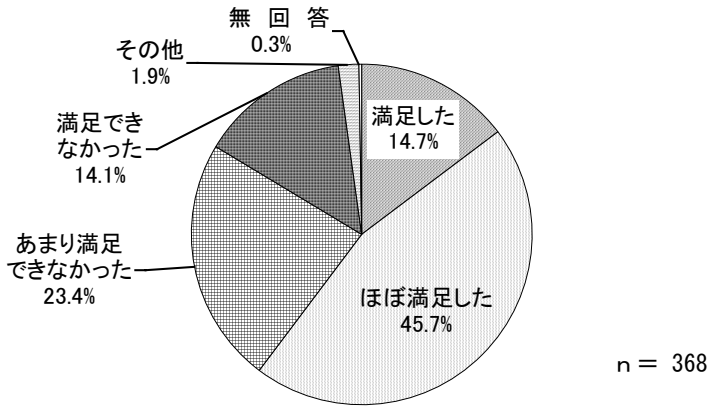


６－９　相談窓口を利用した感想

◇『満足した』が６割を超える

問 23－１　市の相談窓口を利用してどう感じましたか。（○は１つだけ）

図６－９－１

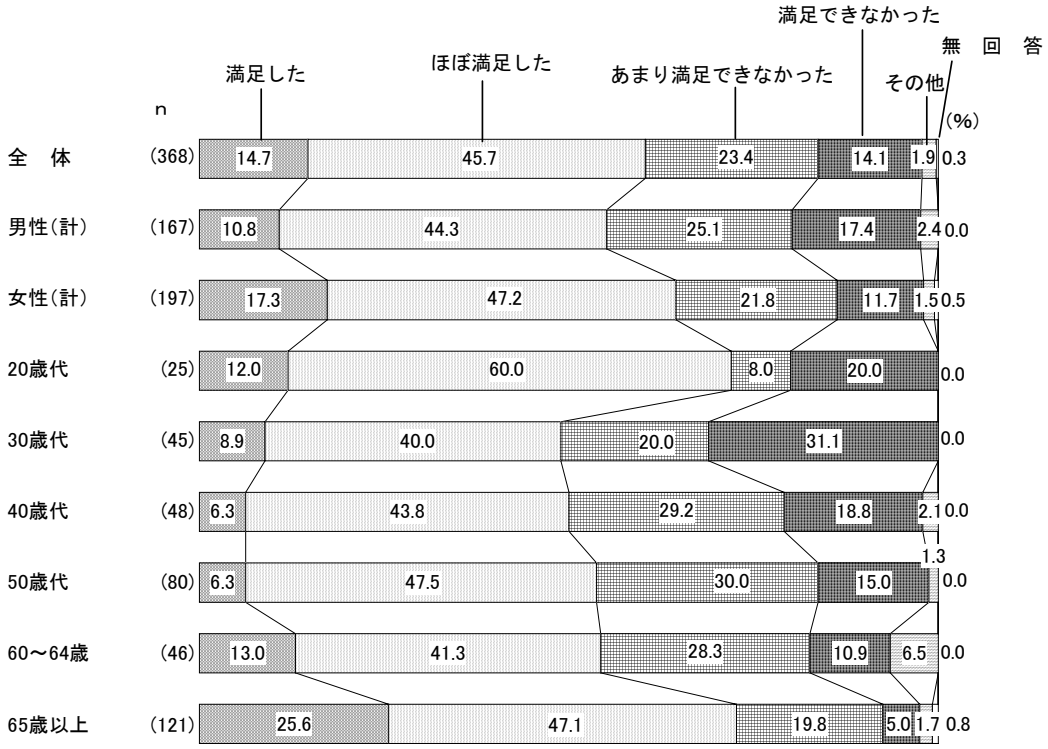


市の相談窓口の利用で「ある」と答えた人(368 人)に、市の相談窓口を利用してどう感じたか聞いたところ、「ほぼ満足した」が４割台半ば(45.7%)と最も高く、「満足した」(14.7%)と合わせた『満足した』は約６割（60.4%)となっている。一方、「あまり満足できなかった」(23.4%)と「満足できなかった」(14.1%)を合わせた『満足できなかった』は４割弱(37.5%)となっている。(図６－９－１)

性別にみると、「満足した」は女性の方が 6.5 ポイント高く、『満足した』でも 9.4 ポイント高い。「満足できなかった」は男性の方が 5.7 ポイント高く、『満足できなかった』でも 9.0 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『満足した』は 65 歳以上（72.7%）と 20 歳代（72.0%）で７割を超え、高くなっている。一方、「満足できなかった」は 30 歳代で３割を超え（31.1%)、『満足できなかった』でも５割を超え（51.1%)、高くなっている。(図６－９－２)

図６－９－２　相談窓口を利用した感想－性別・年齢別

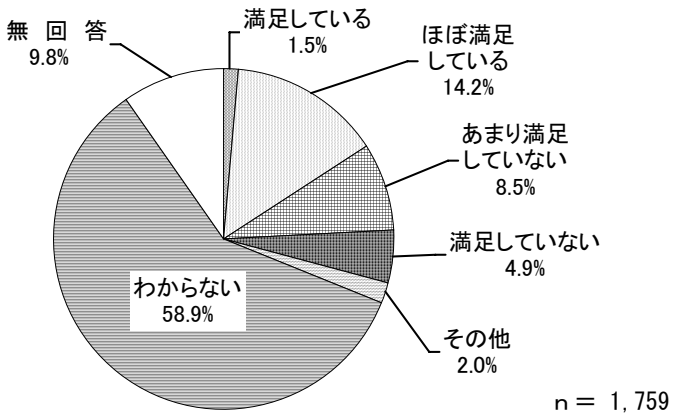


６－10　市の子育て支援施策の満足度

◇「ほぼ満足している」が１割台半ば

問 24　あなたは、市が行っている様々な子育て支援策について、日頃どのように感じていますか。
（○は１つだけ）

図６－10－１



市の子育て支援施策についてどのように感じているかについて聞いたところ、「満足している」(1.5%)と「ほぼ満足している」(14.2%)を合わせた『満足している』は１割台半ば(15.7%)となっている。一方、「あまり満足していない」(8.5%)と「満足していない」(4.9%)を合わせた『満足していない』は１割強(13.4%)となっている。また、「わからない」が６割弱（58.9%）となっている。

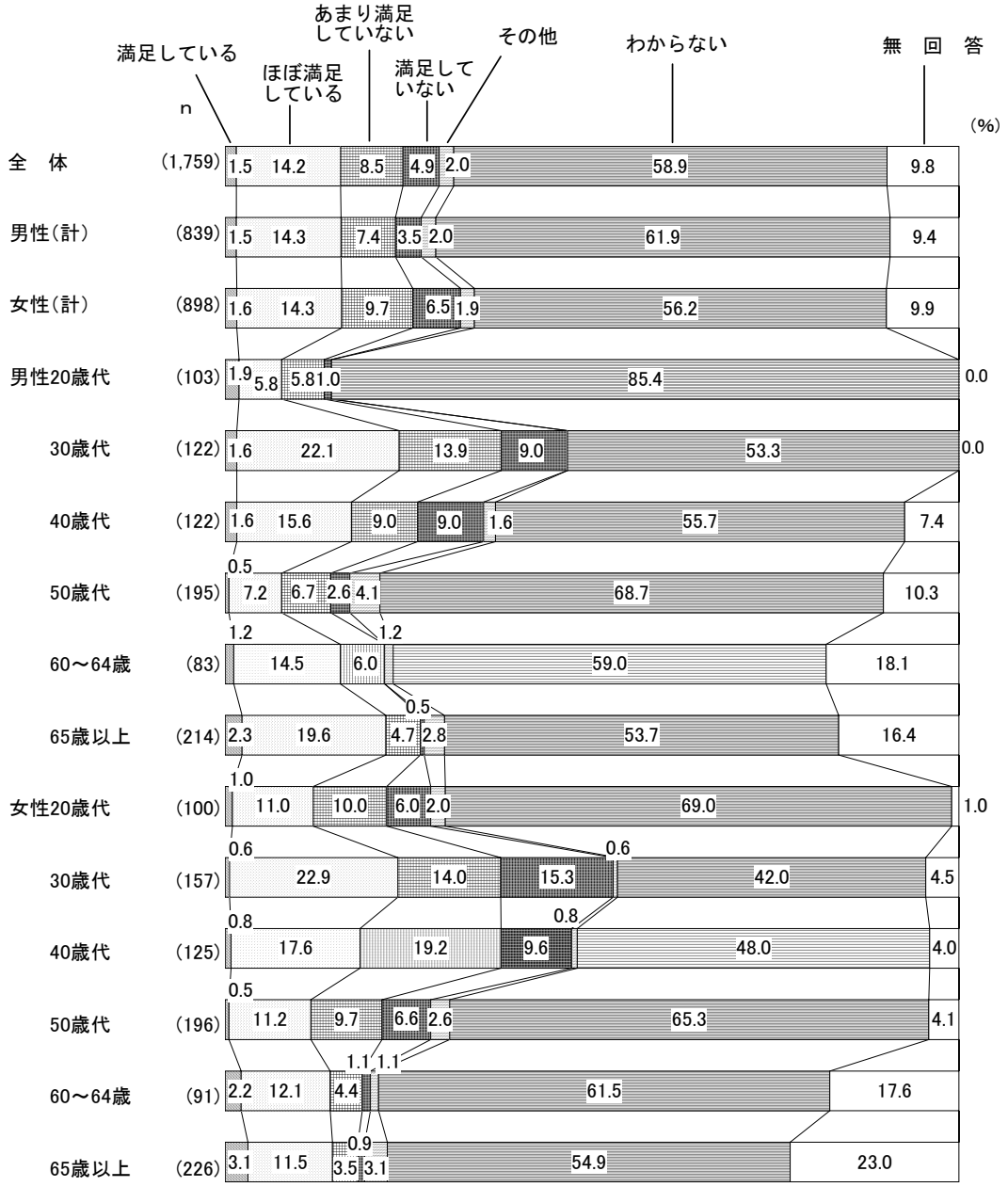
（図６－10－１）

性別にみると、『満足している』は男女ともほぼ同数であるが、『満足していない』は女性の方が 5.3 ポイント高い。

性・年齢別にみると、『満足していない』は女性の 30 歳代（29.3%）と 40 歳代（28.8%）で３割近くと高くなっている。「わからない」は男性の 20 歳代で８割台半ば（85.4%）を占め、高くなっている。

（図６－10－２）

図６－10－２　市の子育て支援施策の満足度－性・年齢別

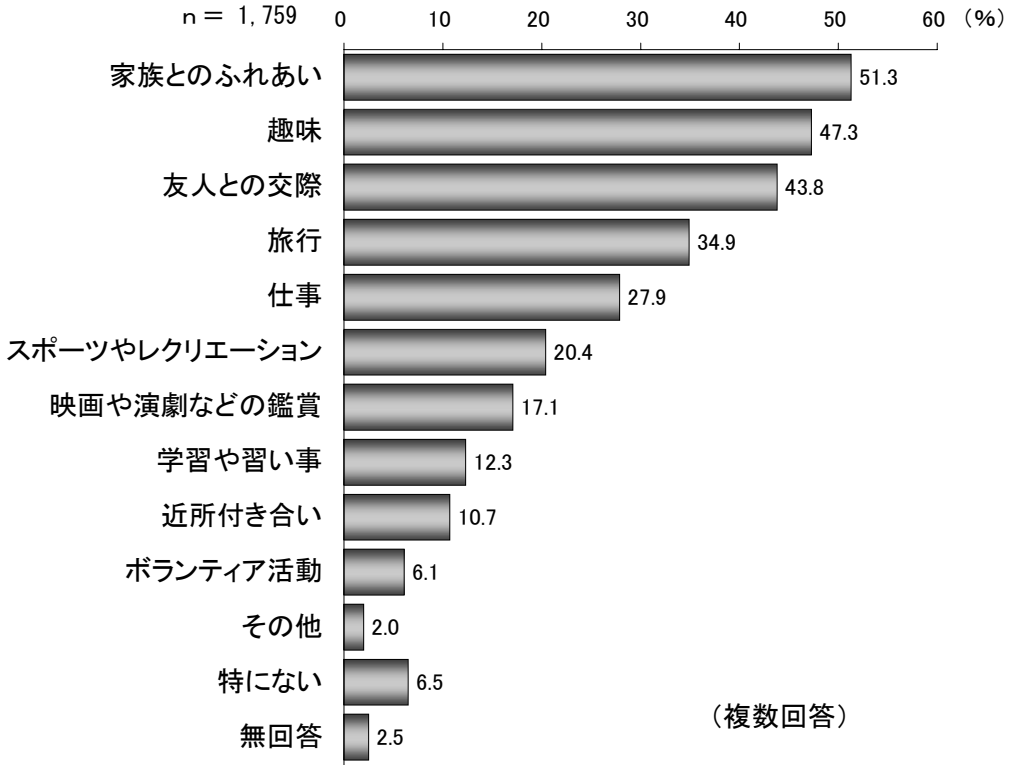


６－11　現在の生きがい

◇「家族とのふれあい」が５割強

問25　あなたの現在の生きがいはどのようなことですか。（○はいくつでも）

図６－11－１



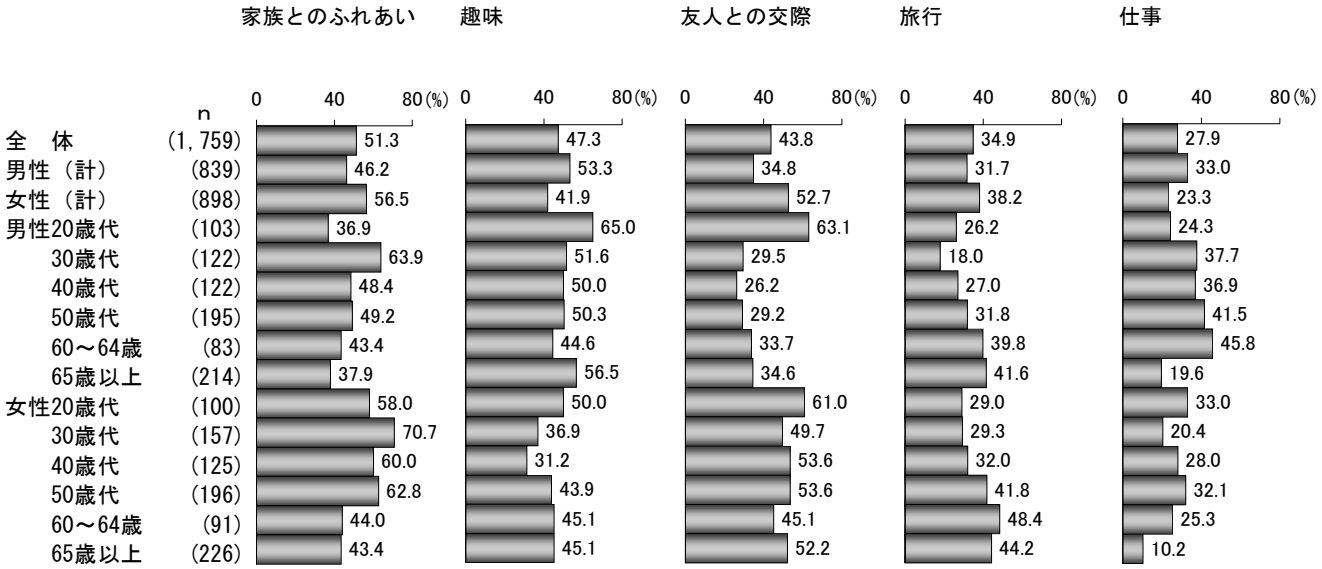
現在の生きがいについて聞いたところ、「家族とのふれあい」が５割強(51.3%)と最も高く、ついで「趣味」(47.3%)、友人との交際(43.8%)、「旅行」(34.9%)、「仕事」(27.9%)と続いている。

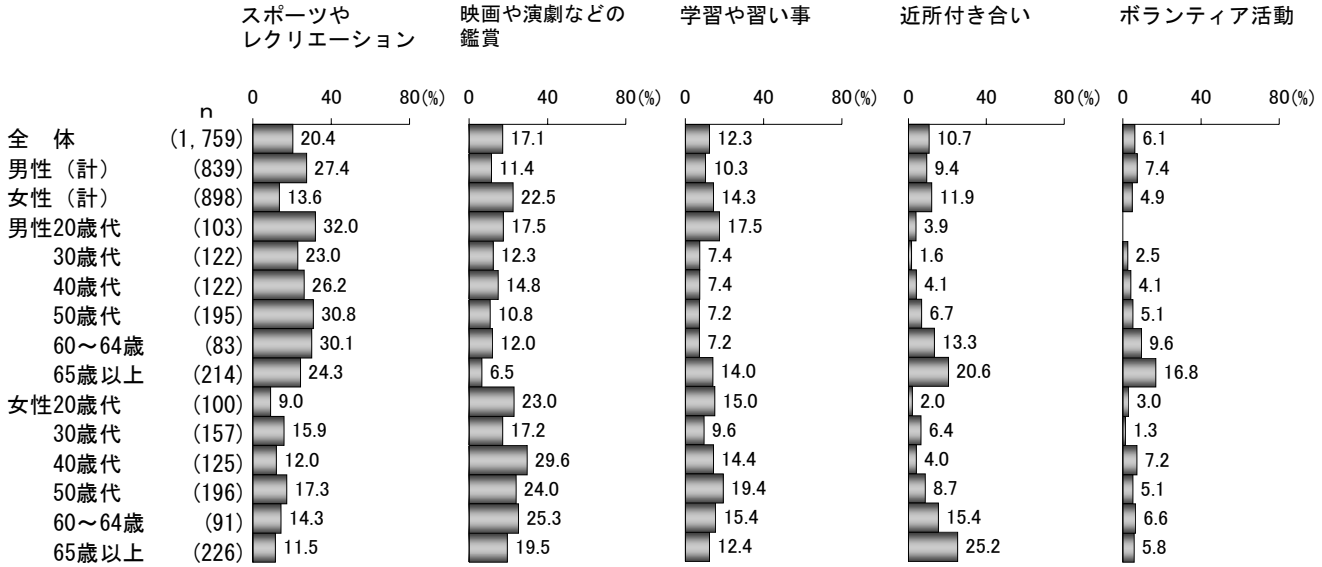
（図６－11－１）

上位 10 項目を性別にみると、女性の方が「友人との交際」は 17.9 ポイント、「映画や演劇などの鑑賞」は 11.1 ポイント、「家族とのふれあい」は 10.3 ポイント高い。一方、男性は、「スポーツやレクリエーション」は 13.8 ポイント、「趣味」は 11.4 ポイント、「仕事」は 9.7 ポイントそれぞれ高くなっている。

性・年齢別にみると、「家族とのふれあい」は、女性の 30 歳代で７割を占め（70.7%）高く、「趣味」は男性の 20 歳代で６割台半ば（65.0%）と高い。「友人との交際」は男性と女性の 20 歳代でそれぞれ６割を超えて高く、「旅行」は女性の 60～64 歳で４割台半ばを超え（48.4%）高い。「仕事」は男性の 50 歳代と 60～64 歳で４割を超え高く、「スポーツやレクリエーション」は男性の 20 歳代、50 歳代、60～64 歳で３割を超え高い。「近所付き合い」は男女ともに高い年代ほど割合が高い傾向にあり、65 歳以上は男女ともに２割を超え、高くなっている。(図６－11－２）

図６－11－２　現在の生きがい－性・年齢別（上位 10 項目）



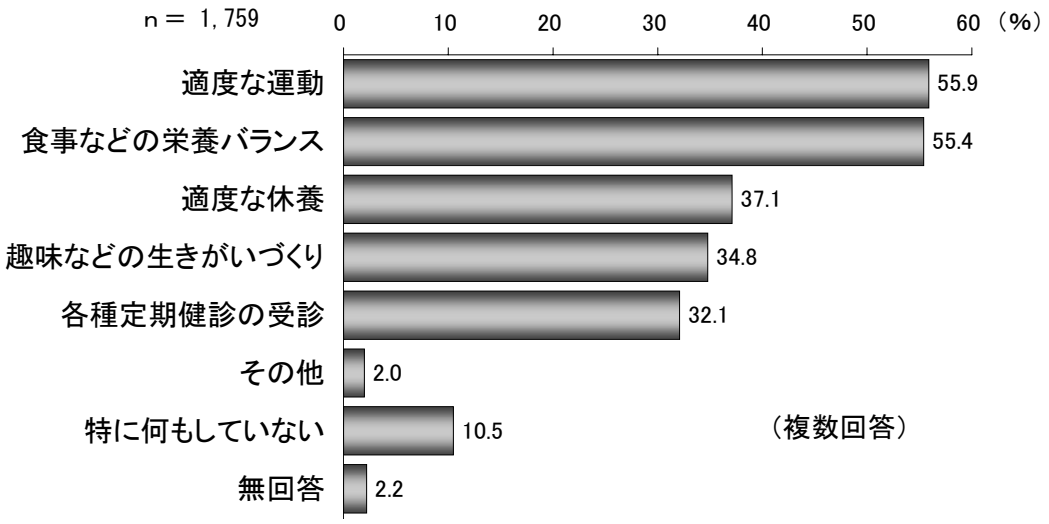


６－12　健康のために心がけていること

◇「適度な運動」と「食事などの栄養バランス」の二項目が５割台半ば

問26　あなたが健康の維持・増進のために、自ら心がけて行動していることはどれですか。
（○はいくつでも）

図６－12－１

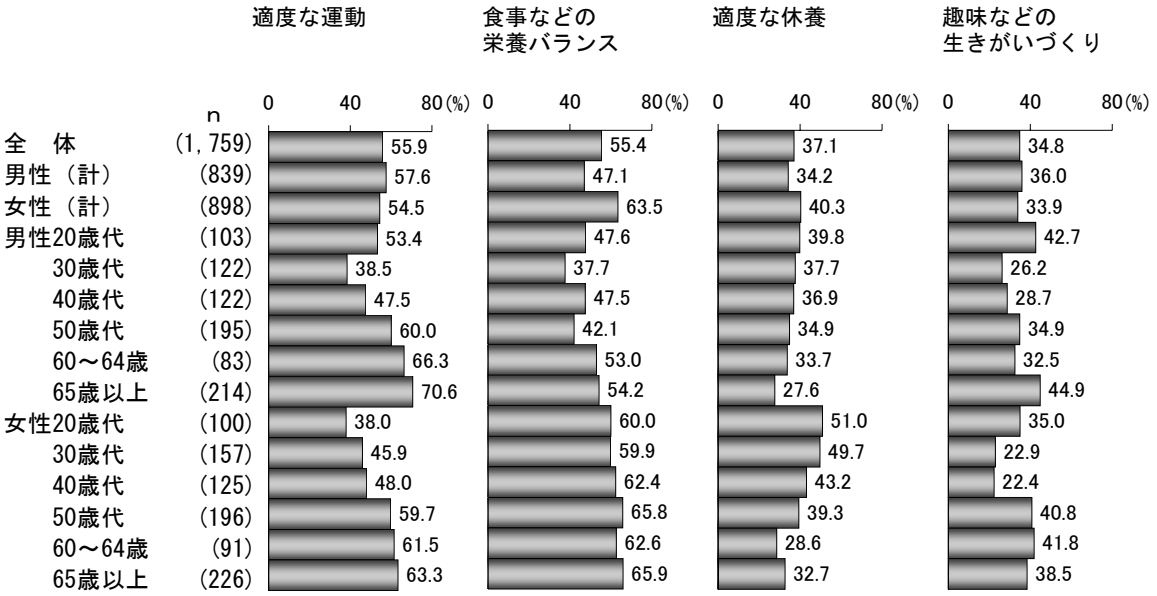


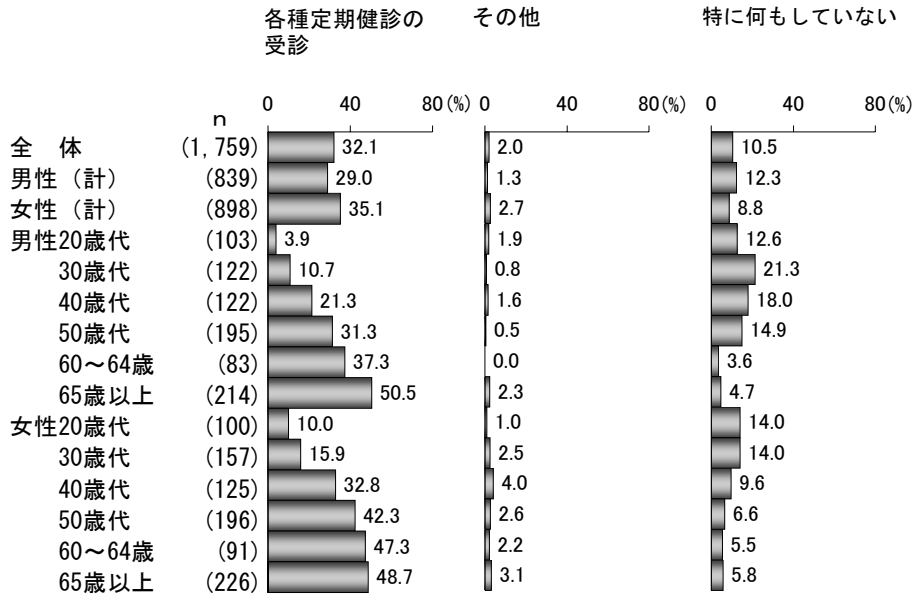
健康の維持･増進のために、自ら心がけて行動していることについて聞いたところ、「適度な運動」が５割台半ば(55.9%)と最も高く、ついで「食事などの栄養バランス」(55.4%)、「適度な休養」(37.1%)と続いている。（図６－12－１）

性別にみると、「食事などの栄養バランス」は女性の方が 16.4 ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「適度な運動」は男性の 65 歳以上で７割（70.6%）と高く、また男女とも高い年代ほど割合が高くなっている。「食事などの栄養バランス」は、女性の 50 歳代と 65 歳以上で６割台半ばと高くなっている。「適度な休養」は男女ともに低い年代ほど割合が高い傾向にあり、また女性の 20 歳代は５割を超え（51.0%）高い。「特に何もしていない」は男性の 30 歳代で２割を超え（21.3%）高くなっている。（図６－12－２）

図６－12－２　健康のために心がけていること－性・年齢別



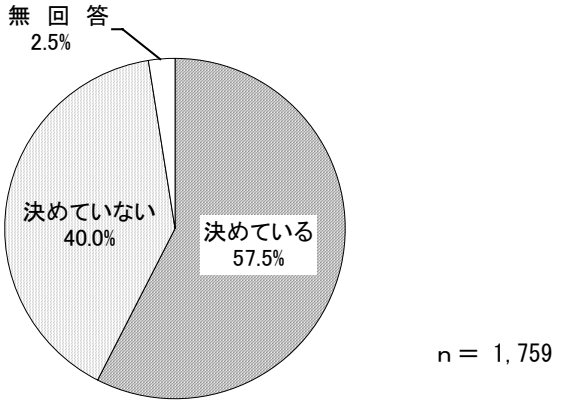


６－13　かかりつけの医療機関の有無

◇「決めている」人は６割弱

問27　あなたは、かかりつけの医療機関を決めていますか。（○は１つだけ）

図６－13－１

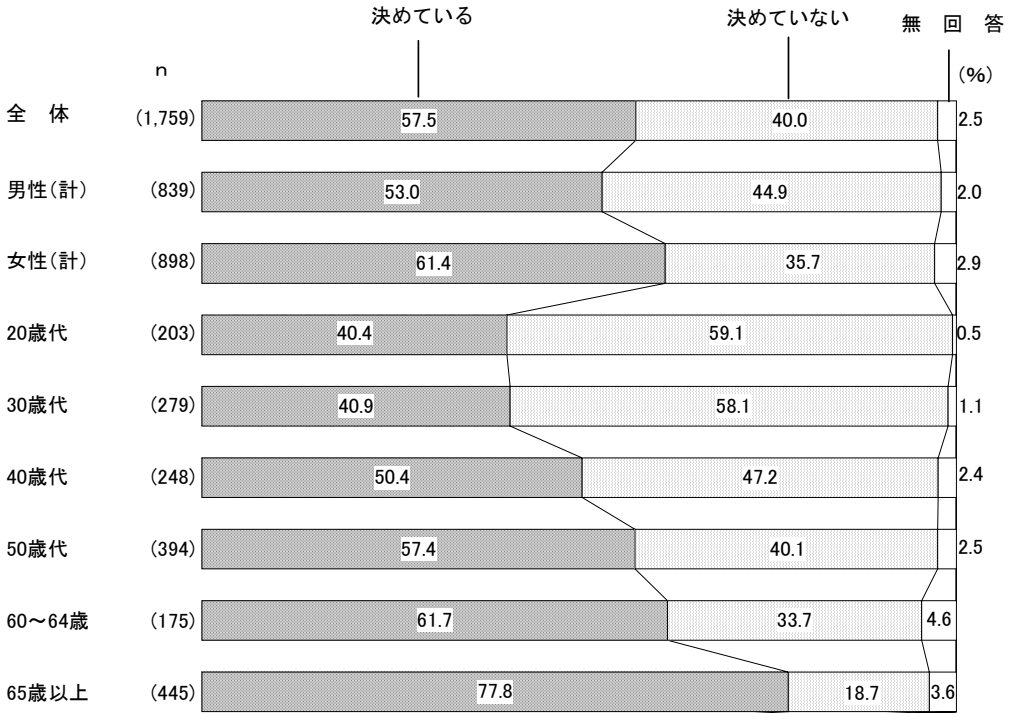


かかりつけの医療機関を決めているかについて聞いたところ、「決めている」が６割弱(57.5%)、「決めていない」が４割(40.0%)となっている。（図６－13－１）

性別にみると、「決めている」は女性の方が 8.4 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「決めている」は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、65 歳以上は８割弱（77.8%）で高くなっている。（図６－13－２）

図６－13－２　かかりつけの医療機関の有無－性別・年齢別

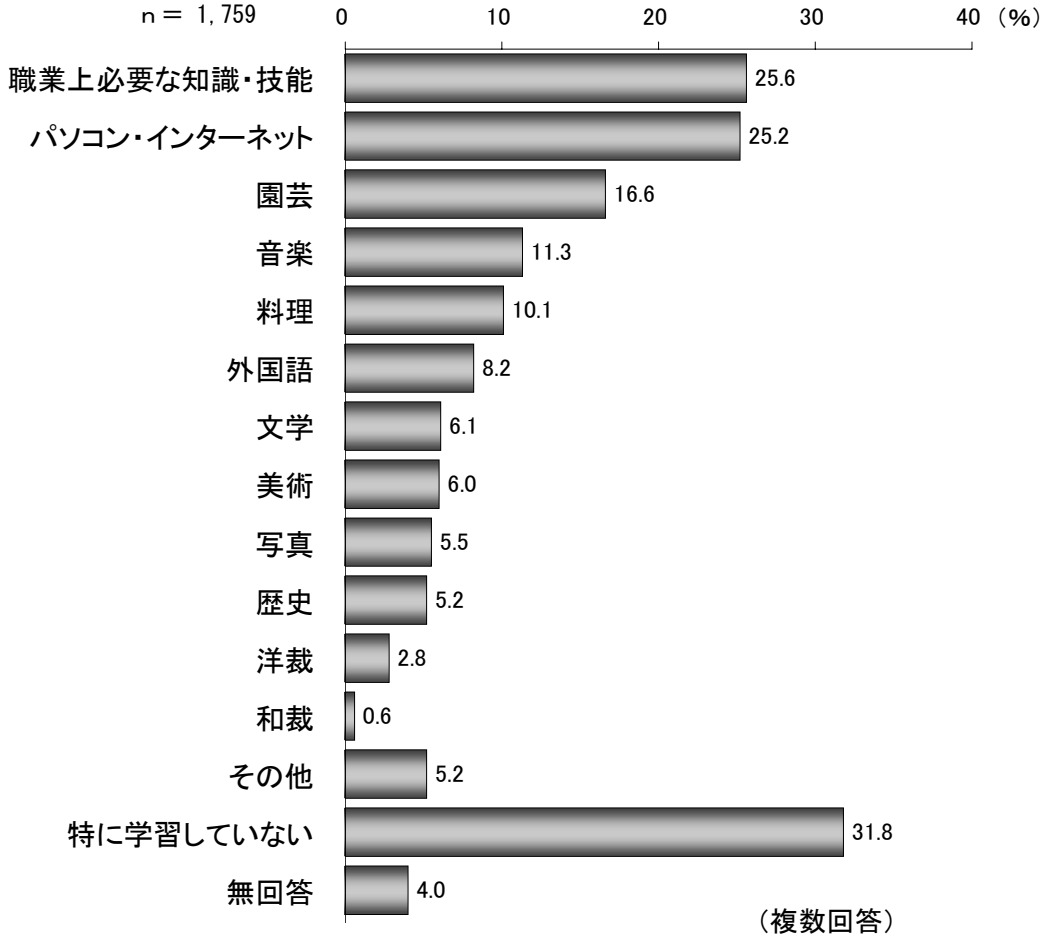


６－14　この１年間に取り組んだ学習活動

◇「職業上必要な知識・技能」と「パソコン・インターネット」の二項目が２割台半ば

問28　あなたがこの１年間に取り組んだ学習活動はどれですか。（○はいくつでも）

図６－14－１



この１年間に取り組んだ学習活動について聞いたところ、「職業上必要な知識･技能」が２割台半ば(25.6%)と最も高く、ついで「パソコン･インターネット」(25.2%)、「園芸」(16.6%)、「音楽」(11.3%)、「料理」(10.1%)と続いている。また、「特に学習していない」は約３割（31.8%）となっている。

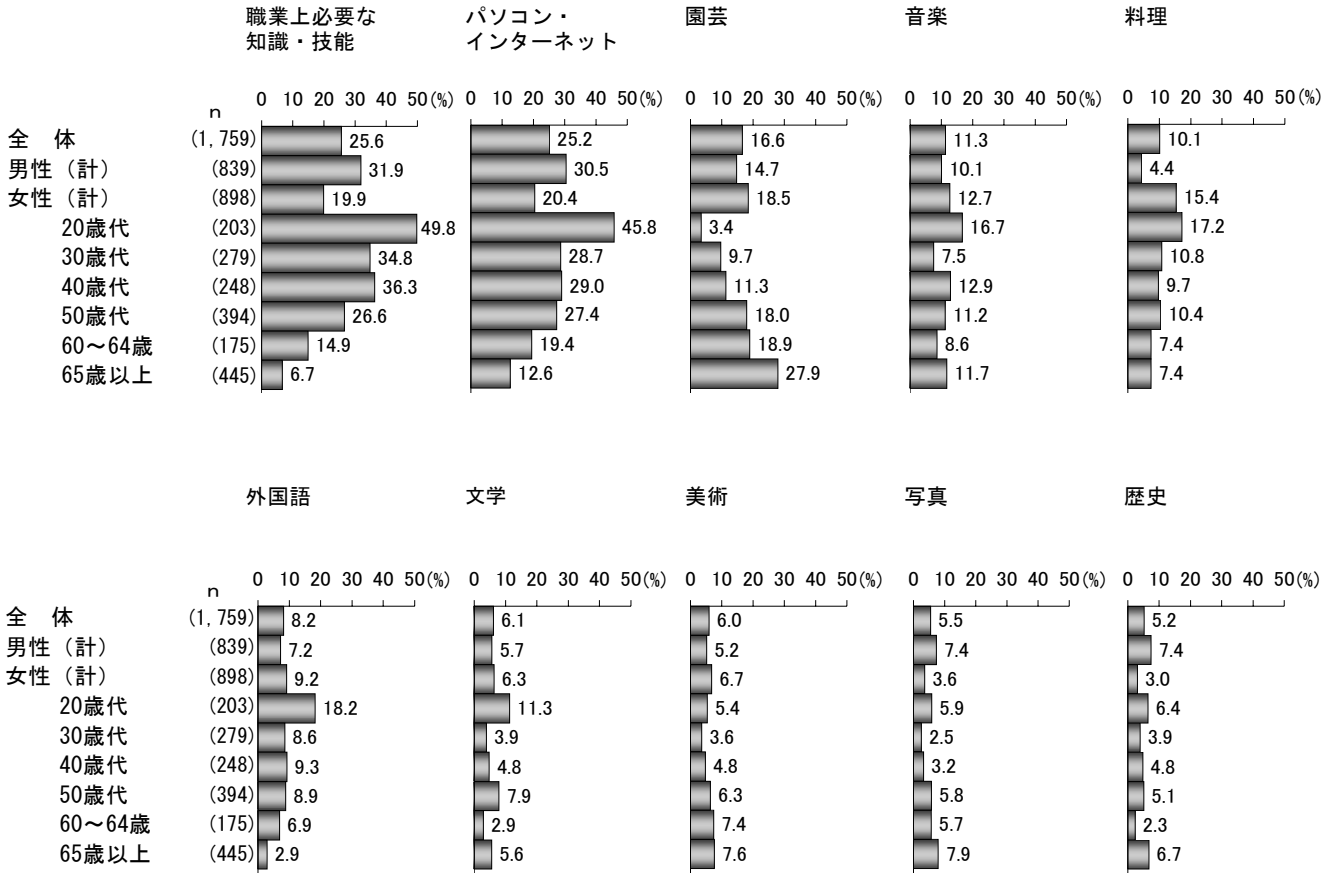
（図６－14－１）

上位 10 項目を性別にみると、「職業上必要な知識・技能」で 12.0 ポイント、「パソコン・インターネット」で 10.1 ポイント、それぞれ男性の方が高く、「料理」で 11.0 ポイント女性の方が高くなっている。

年齢別にみると、「職業上必要な知識・技能」、「パソコン・インターネット」、「料理」、「外国語」は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、20 歳代で「職業上必要な知識・技能」は５割弱（49.8%）、「パソコン・インターネット」は４割台半ば（45.8%）で高い。「園芸」は高い年代ほど割合が高い傾向にある。

（図６－14－２）

図６－14－２　この１年間に取り組んだ学習活動－性別・年齢別（上位 10 項目）

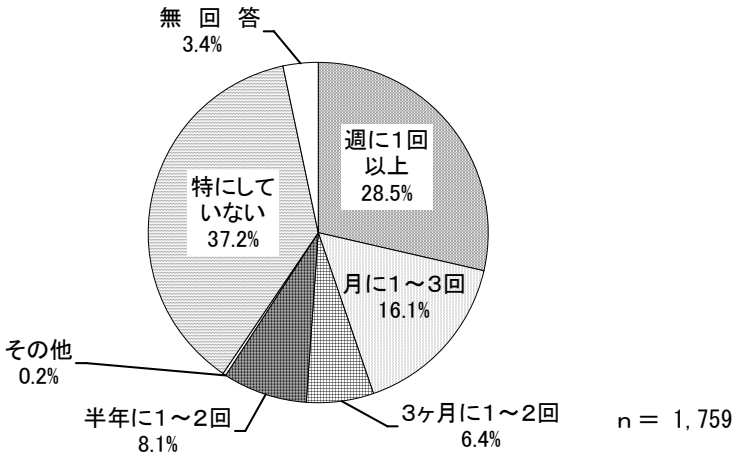


６－15　この１年間に行ったスポーツの頻度

◇「週に１回以上」が３割弱、「特にしていない」が４割弱

問29　あなたがこの１年間にスポーツを行った回数はどのくらいですか。（○は１つだけ）

図６－15－１



この１年間にスポーツを行った回数について聞いたところ、「週に１回以上」が３割弱(28.5%)、「月に１～３回」が１割台半ば(16.1%)、「３ヶ月に１～２回」(6.4%)、「半年に１～２回」(8.1%)が１割未満となっている。一方で「特にしていない」は４割弱(37.2%)となっている。（図６－15－１）

性別にみると、「特にしていない」は女性の方が 8.1 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「週 1 回以上」は 60～64 歳、65 歳以上で３割台半ばと高くなっている。

（図６－15－２）

居住地域別にみると、「特にしていない」は加住・石川（北部地域）で４割台半ばを超え（46.1%）高くなっている。（図６－15－３）

図６－15－２　この１年間に行ったスポーツの頻度－性別・年齢別

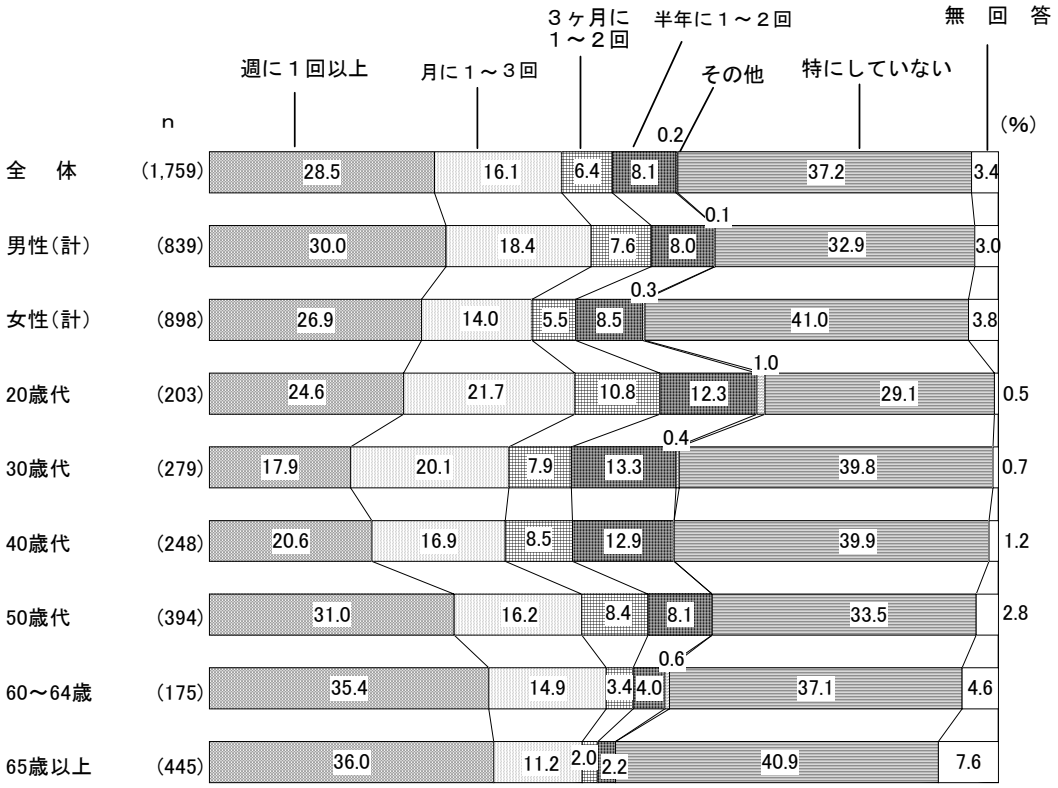
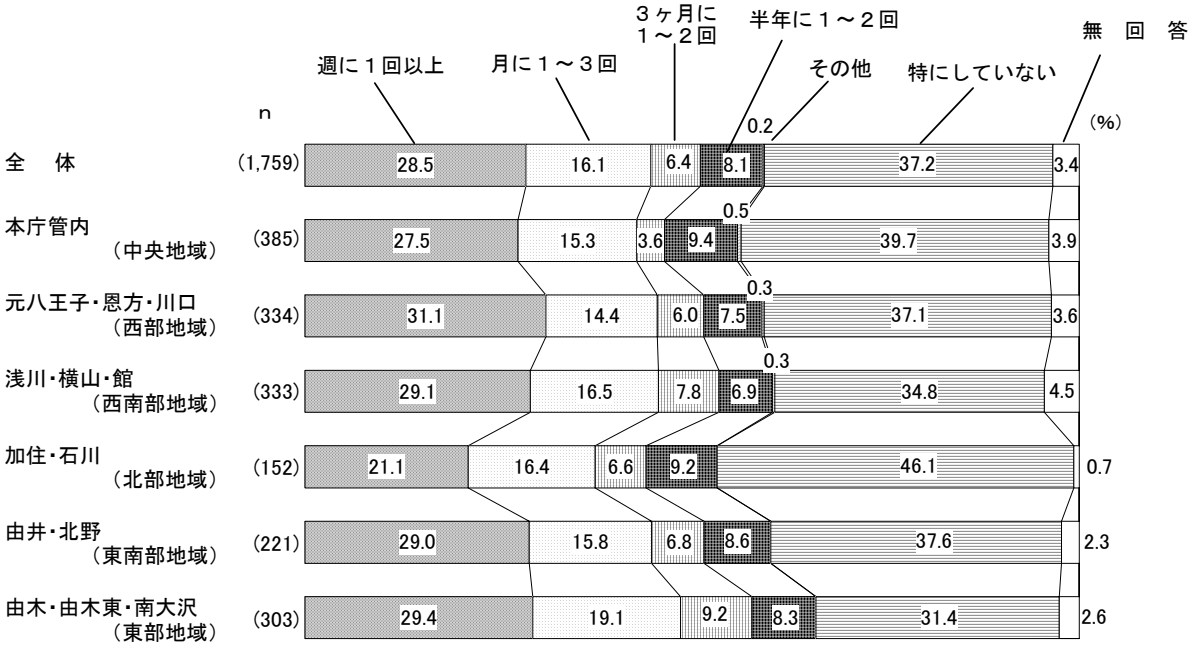


図６－15－３　この１年間に行ったスポーツの頻度－居住地域別

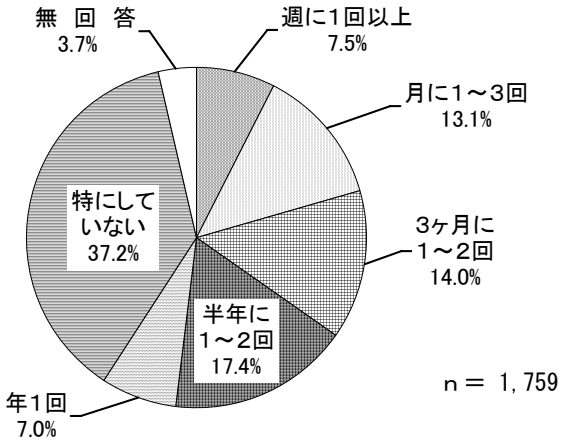


６－16　この１年間の芸術・文化活動の頻度

◇「半年に１～２回」が２割弱、「特にしていない」が４割弱

問 30　あなたは、この１年間にどのくらいの頻度で芸術・文化活動に参加しましたか。（鑑（観）賞も含みます）（○は１つだけ）

図６－16－１



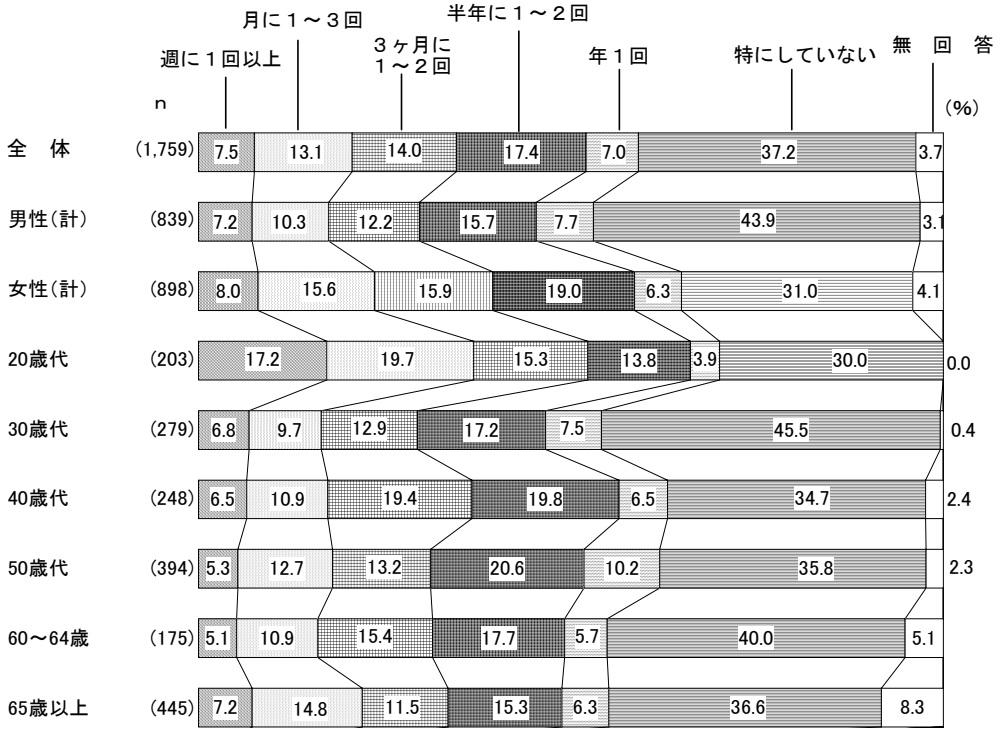
この１年間の芸術･文化活動の参加頻度について聞いたところ､「週に１回以上」が１割未満(7.5%)、「月に１～３回」が１割強(13.1%)、「３ヶ月に１～２回」が１割台半ば(14.0%)、「半年に１～２回」が２割弱(17.4%)となっている。一方で「特にしていない」は４割弱(37.2%)となっている。

（図６－16－１）

性別にみると、「特にしていない」は男性の方が 12.9 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「週に１回以上」と「月に１～３回以上」は 20 歳代で割合が高く、それぞれ２割弱となっている。（図６－16－２）

図６－16－２　この１年間の芸術･文化活動の頻度－性別・年齢別

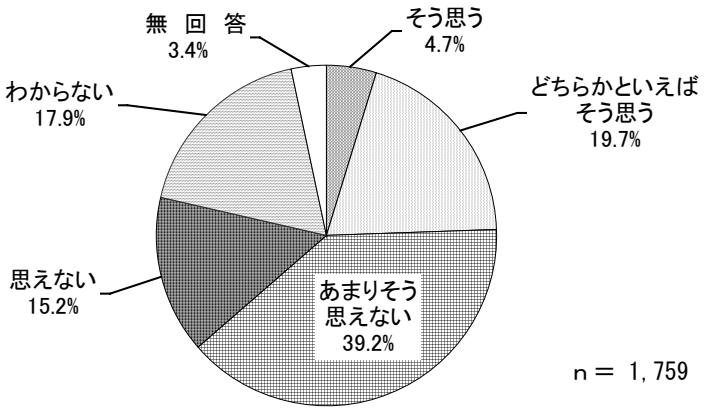


６－17　市は景観に配慮されたまちであるか

◇『思えない』が５割台半ば、『そう思う』が２割台半ば

問31　あなたは、本市が景観に配慮されたまちであると思いますか。（○は１つだけ）

図６－17－１



市が景観に配慮されたまちであるかについて聞いたところ、「あまりそう思えない」が４割弱(39.2%)と最も多く、「思えない」(15.2%)と合わせた『思えない』は５割台半ば(54.4%)となっている。一方、「そう思う」(4.7%)と「どちらかといえばそう思う」(19.7%)を合わせた『そう思う』は２割台半ば(24.4%)となっている。また、「わからない」が２割近く（17.9%）となっている。（図６－17－１）

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別にみると、『そう思う』は 65 歳以上が 3 割弱（28.7%）と最も高く、『思えない』は 50 歳代が約６割（60.7%）で高くなっている。（図６－17－２）

居住地域別にみると、『そう思う』は由木・由木東・南大沢（東部地域）で３割台半ば（35.0%）と高い。また、『そう思えない』は加住・石川（北部地域）で６割台半ば（65.8%）と高くなっている。

（図６－17－３）

図６－17－２　市は景観に配慮されたまちであるかー性別・年齢別

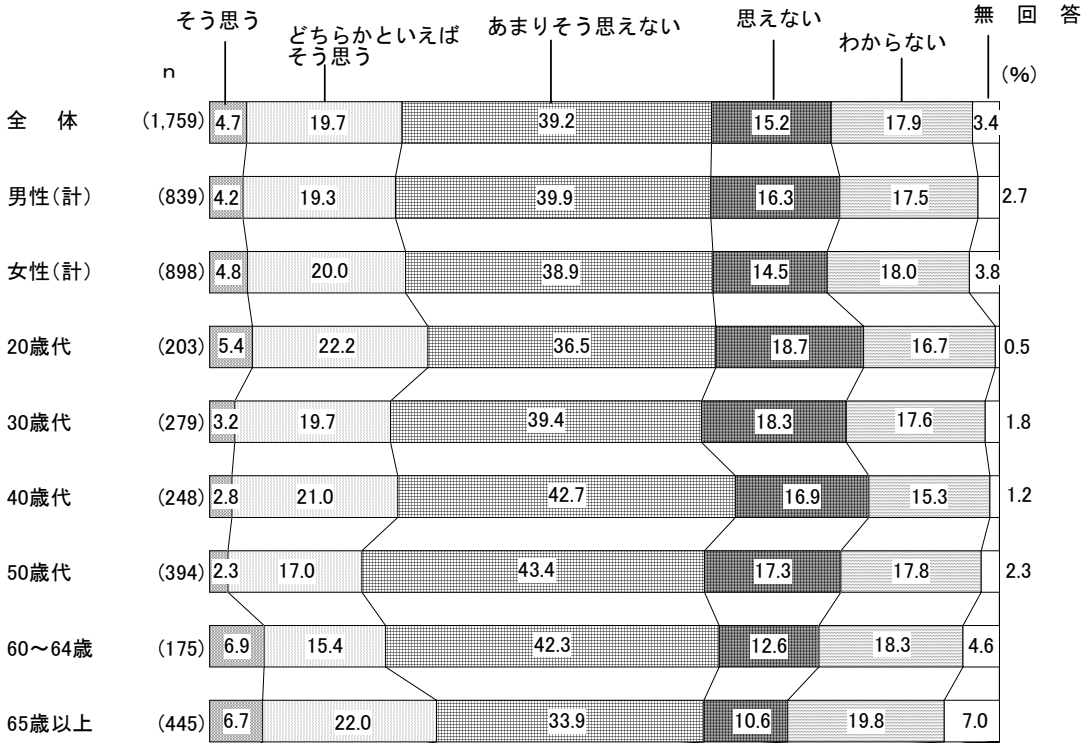
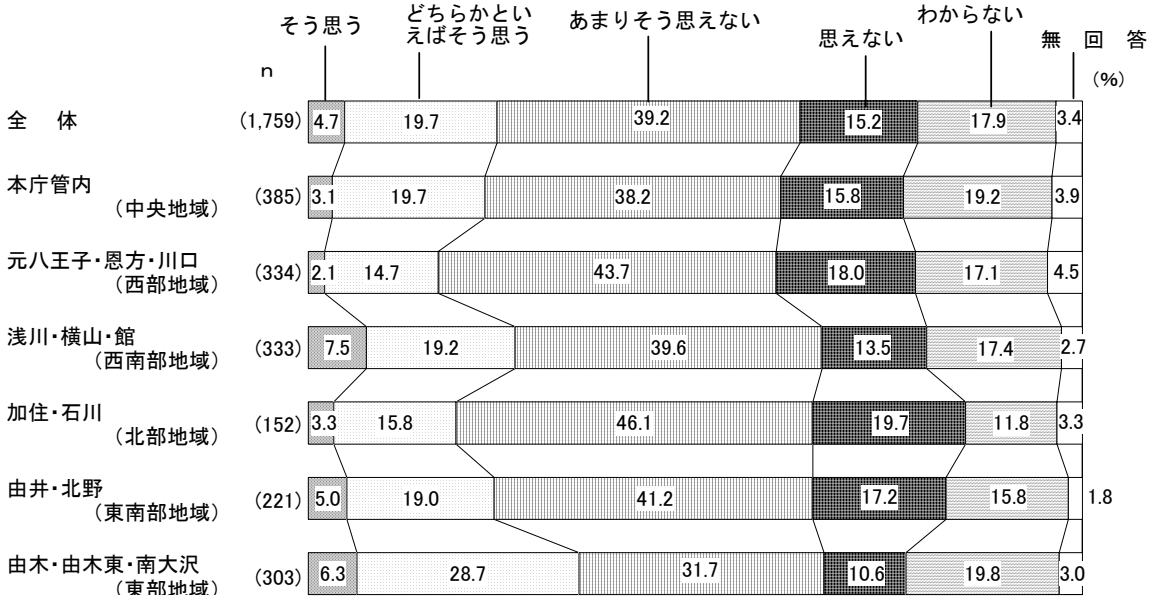


図６－17－３　市は景観に配慮されたまちであるかー居住地域別

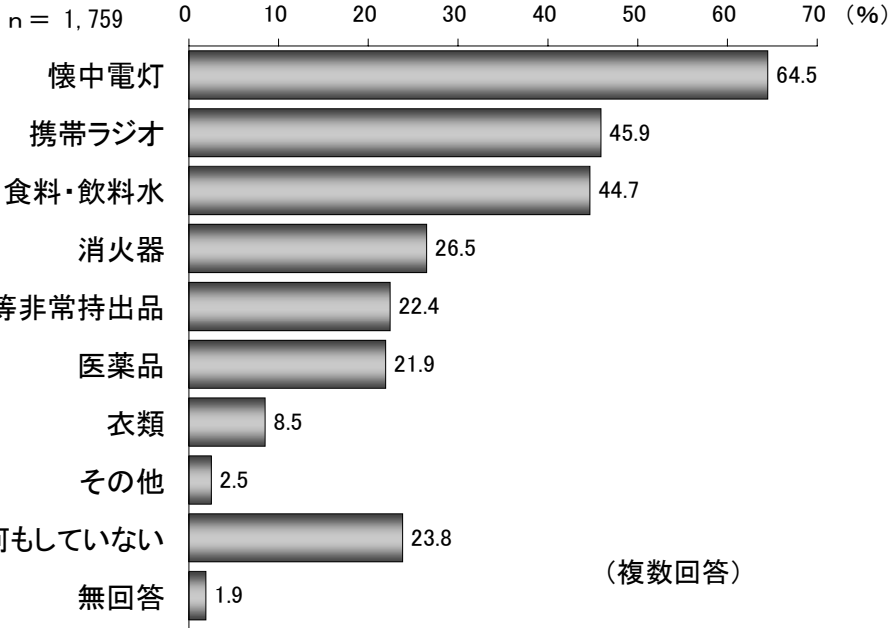


６－18　災害に対する準備

◇「懐中電灯」が６割台半ばと突出している

問32　あなたの家庭では、大地震等の災害に備えどのようなものを準備していますか。
（○はいくつでも）

図６－18－１

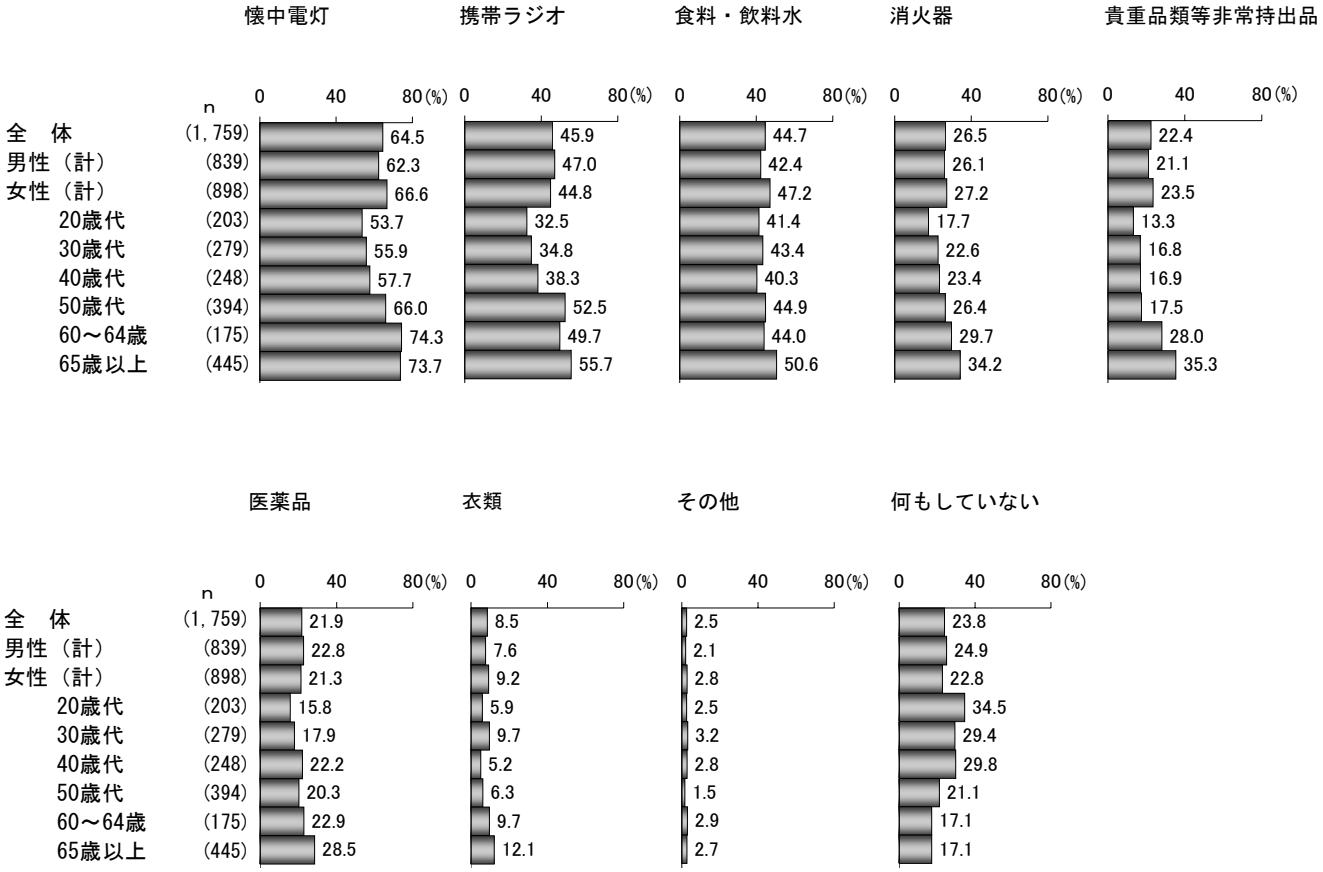


大地震等の災害に備えた準備についてきいたところ、「懐中電灯」が６割台半ば(64.5%)と最も高く、ついで「携帯ラジオ」(45.9%)、「食料・飲料水」(44.7%)、「消火器」(26.5%)と続いている。一方、「何もしていない」は２割強（23.8%）となっている。（図６－18－１）

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向となっている。

年齢別にみると、「懐中電灯」、「携帯ラジオ」、「消火器」、「貴重品類等非常持出品」「医薬品」は、高い年代ほど割合が高い傾向にある。「何もしていない」は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、20 歳代は３割台半ば（34.5%）と高くなっている。（図６－18－２）

図６－18－２　災害に対する準備－性別・年齢別

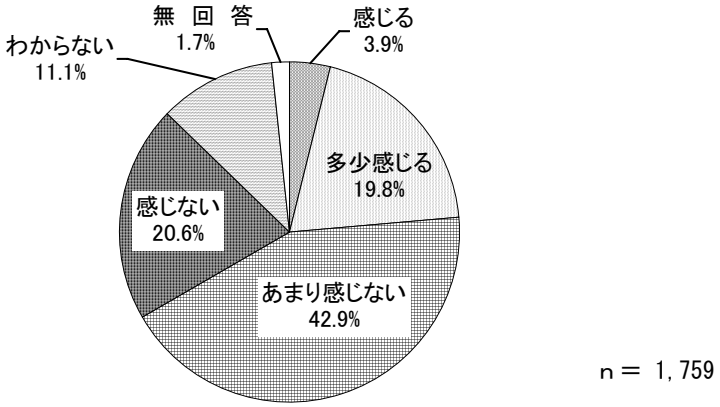


６－19　市のにぎわいと活力の有無

◇『感じない』が６割強

問33　あなたは、本市がにぎわいと活力があるまちであると感じますか。（○は１つだけ）

図６－19－１



市がにぎわいと活力があるまちであると感じるかについて聞いたところ、「あまり感じない」が４割強(42.9%)と最も高く、「感じない」(20.6%)と合わせた『感じない』は６割強(63.5%)である。「感じる」(3.9%）と「多少感じる」(19.8%）を合わせた『感じる』は２割強（23.7%）となっている。

（図６－19－１）

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別にみると、『感じない』は 60～64 歳代で高く、７割台半ば（74.9%）と高く、また 50 歳代でも７割強（71.3%）と高くなっている。（図６－19－２）

居住地域別にみると、『感じる』は由木・由木東・南大沢（東部地域）で３割弱（28.4%)、浅川・横山・館（西南部地域）で２割台半ば（26.4%）と高くなっている。一方、『感じない』は加住・石川（北部地域）で７割強（73.7%）となっている。（図６－19－３）

図６－19－２　市のにぎわいと活力の有無－性別・年齢別

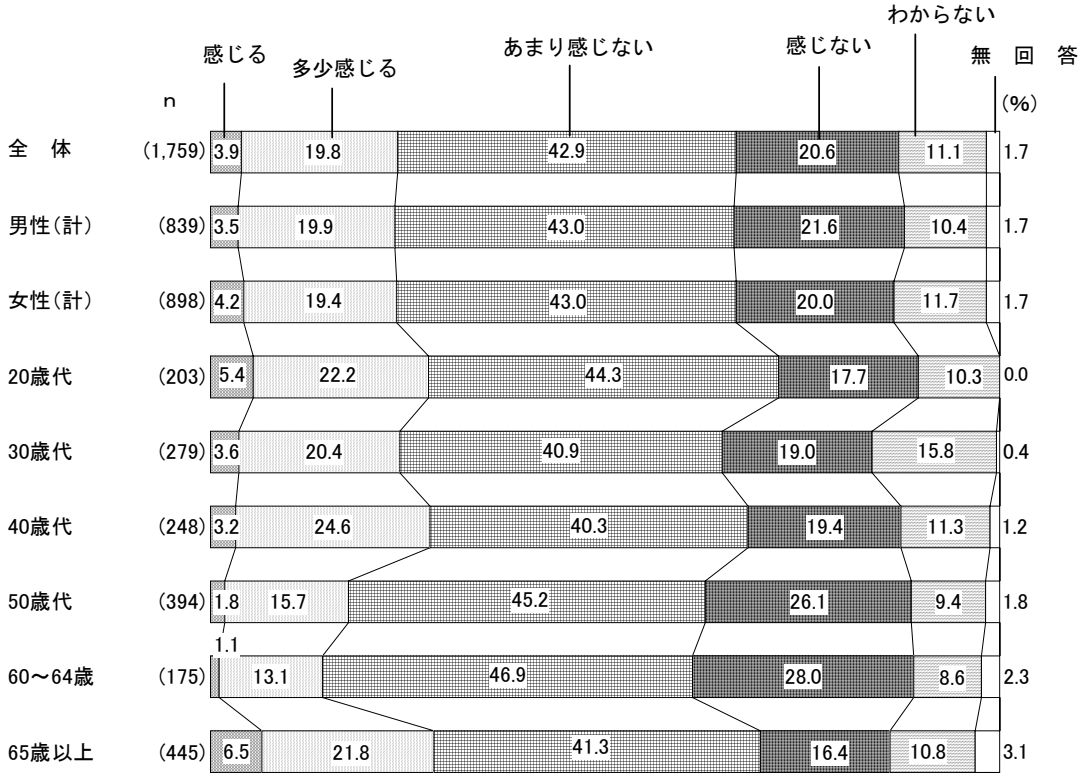
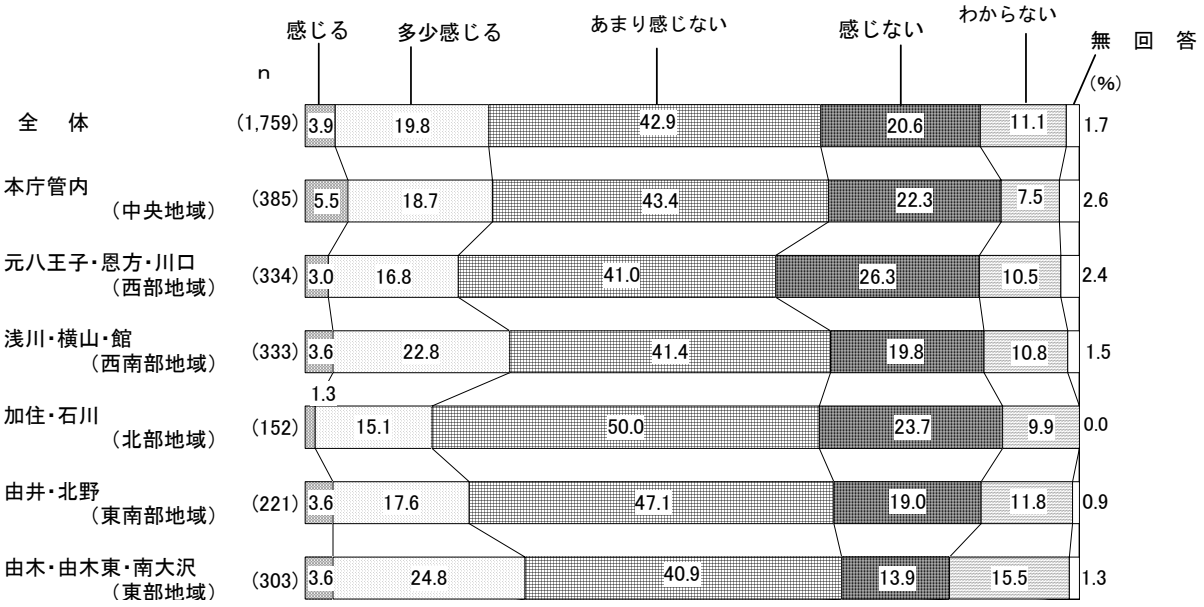


図６－19－３　市のにぎわいと活力の有無－居住地域別

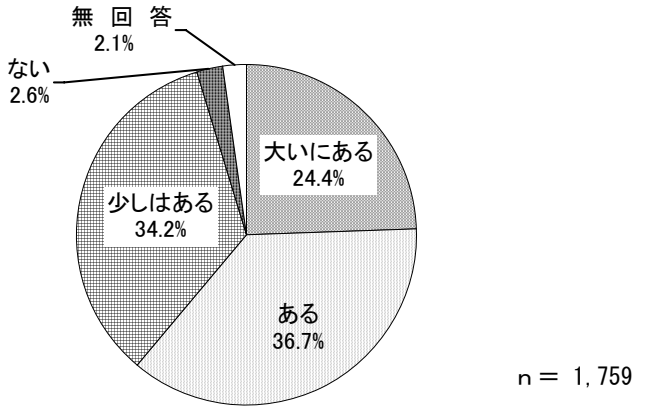


６－20　環境問題への関心度

◇環境問題に関心が『ある』人は９割を超える

問34　あなたは、環境問題に関心はありますか。（○は１つだけ）

図６－20－１

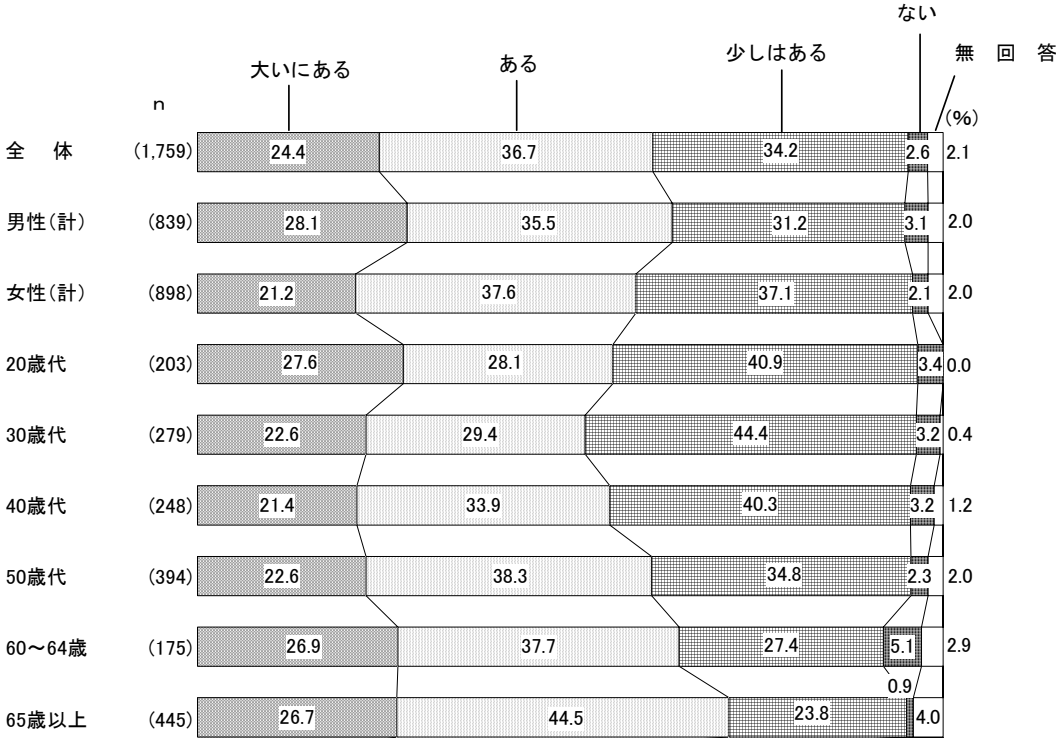


環境問題に関心があるかどうかについて聞いたところ、「大いにある」が２割台半ば(24.4%)、「ある」(36.7%)と「少しはある」(34.2%)が３割台半ばとなっていて、三項目をあわせた『ある』は９割台半ば（95.3%）と高くなっている。一方で「ない」はわずか2.6%となっている。（図６－20－１）

性別にみると、『ある』は女性・男性ともに９割台半ばと高い。なお、「大いにある」は男性が6.9ポイント女性よりも高くなっている。

年齢別にみると、『ある』は高い年代ほど割合が高くなる傾向にあり、65歳以上は９割台半ば(95.0%)と高くなっている。（図６－20－２）

図６－20－２　環境問題への関心度－性別・年齢別

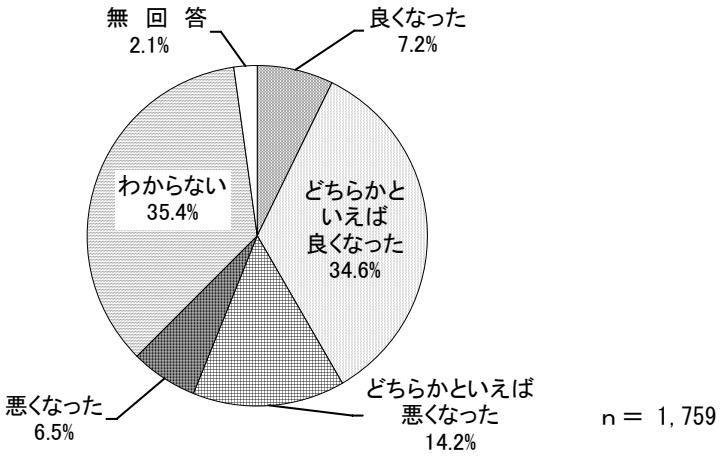


６－21　市の現在の環境

◇『良くなった』が４割強

問35　あなたは、本市の環境（水、緑、ごみ、大気など）が以前と比べどうなったと感じていますか。
（○は１つだけ）

図６－21－１



市の環境が以前と比べてどう感じたのかを聞いたところ、「良くなった」(7.2%)と「どちらかといえば良くなった」(34.6%)を合わせた『良くなった』は４割強(41.8%)となっている。一方、「どちらかといえば悪くなった」(14.2%)と「悪くなった」(6.5%)を合わせた『悪くなった』は２割強(20.7%)となっている。(図６－21－１)

性別にみると、『良くなった』は女性で3.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『良くなった』は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、65 歳以上の年代で６割以上(61.8%) を占め、高くなっている。(図６－21－２)

居住地域別にみると、『良くなった』は本庁管内（中央地域)、元八王子・恩方・川口（西部地域)、浅川・横山・館（西南部地域）で４割台半ばを超え、高くなっている。(図６－21－３)

図６－21－２　市の現在の環境－性別・年齢別

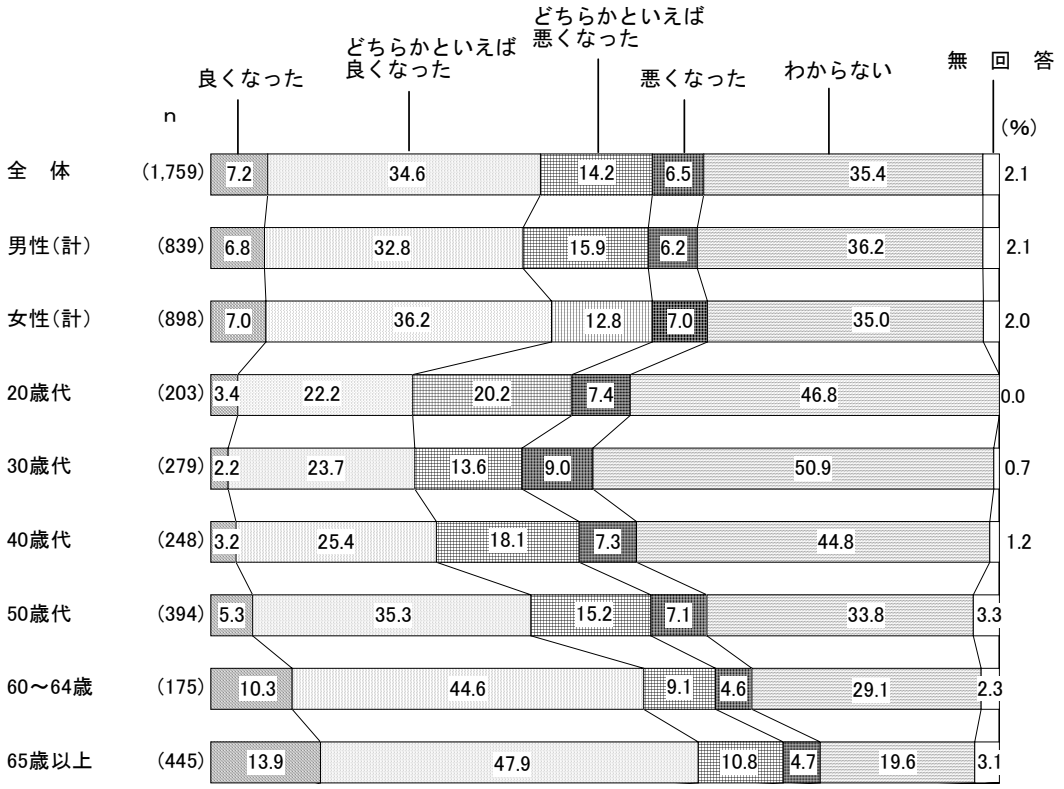
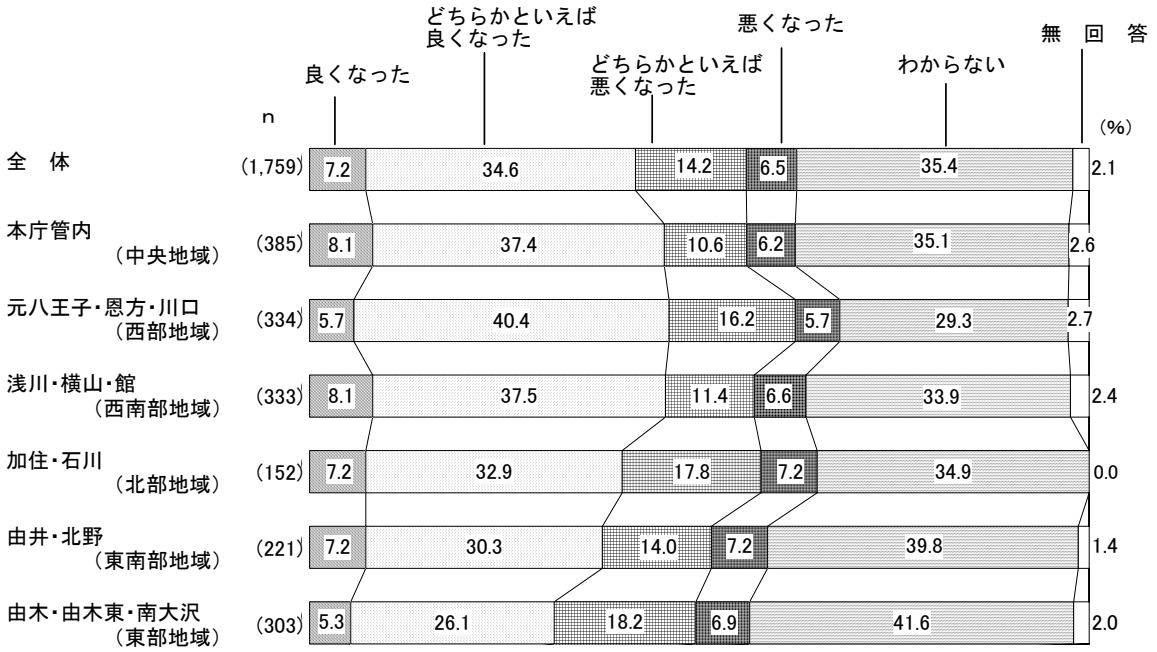


図６－21－３　市の現在の環境－居住別地域

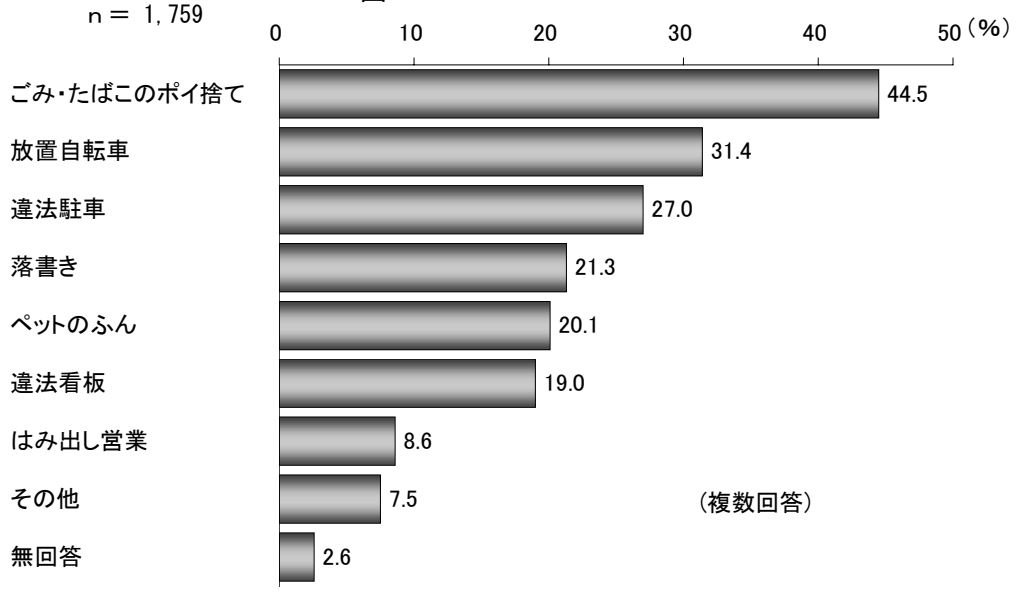


６－22　都市の美観が損なわれる原因

◇「ごみ・たばこのポイ捨て」が４割台半ば

問36　都市の美観が損なわれる主な原因は、次のどれだと思いますか。（○は２つまで）

図６－22－１

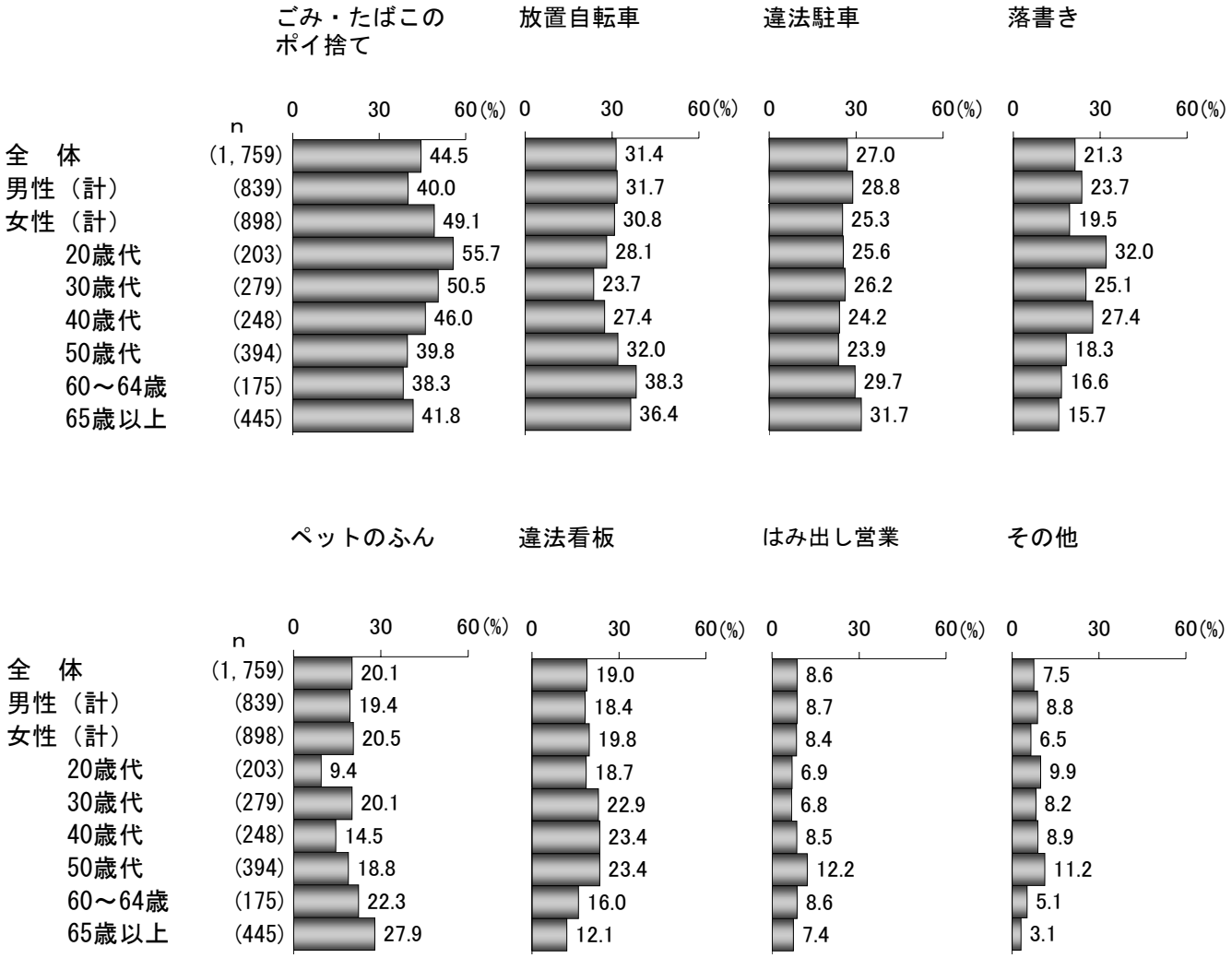


都市の美観が損なわれる主な原因について聞いたところ、「ごみ・たばこのポイ捨て」が４割台半ば(44.5%)と最も多く、ついで「放置自転車」(31.4%)、「違法駐車」(27.0%)、「落書き」(21.3%)と続いている。（図６－22－１）

性別にみると、「ごみ・たばこのポイ捨て」で女性の方が 9.1 ポイント上回っている。

年齢別にみると、「ごみ・たばこのポイ捨て」は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、20 歳代では５割台半ば（55.7%）と高くなっている。（図６－22－２）

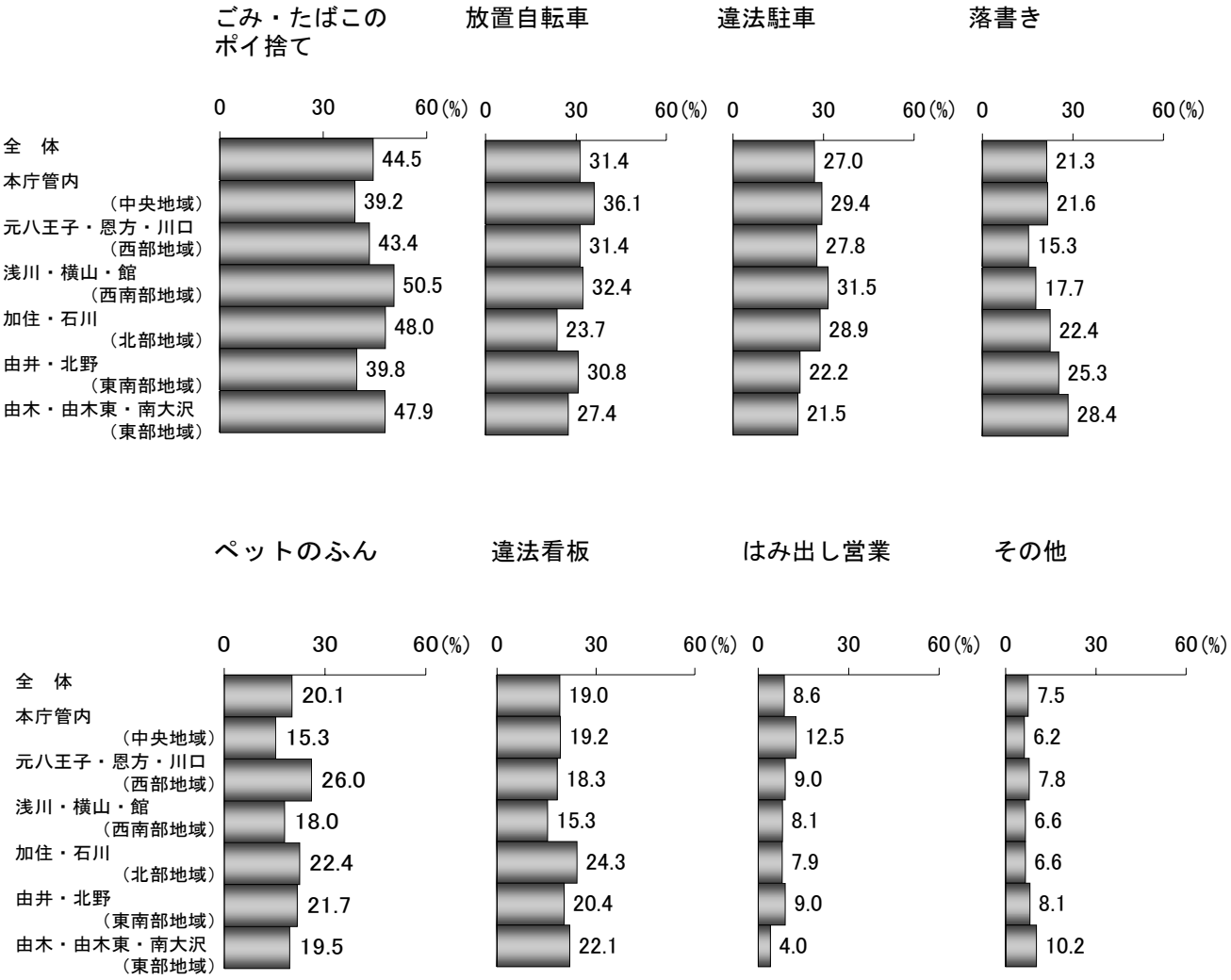
図６－22－２　都市の美観が損なわれる原因－性別・年齢別



居住地域別でみると、「ごみ・たばこのポイ捨て」は浅川・横山・館(西南部地域)でほぼ５割（50.5%）と高くなっている。「放置自転車」は本庁管内(中央地域)で３割台半ば（36.1%）と高くなっている。また、「ペットのふん」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で２割台半ば（26.0%）となっている。

（図６－22－３）

図６－22－３　都市の美観が損なわれる原因－居住地域別

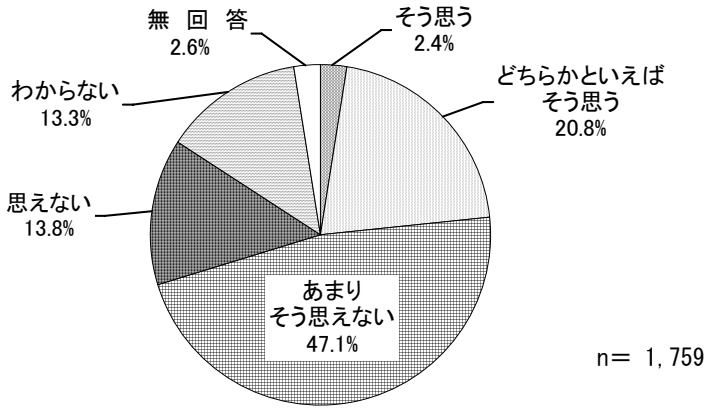


６－23　市は、美観が保持されたまちだと思うか

◇『思えない』が６割強

問37　本市は、都市の美観が保持されているまちであると思いますか。（○は１つだけ）

図６－23－１



市は美観が保持されたまちだと思うかどうかについて聞いたところ、「あまりそう思えない」が５割弱（47.1%）と最も高く、「思えない」（13.8%）と合わせた『思えない』が６割（60.9%）となっている。

（図６－23－１）

性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別にみると、『思えない』は 65 歳以上のみ５割台半ば（56.2%）で、他の年代はすべて６割以上となっている。（図６－23－２）

居住地域別にみると、『思えない』はいずれの地域でも５割以上と高く、特に加住・石川（北部地域）で７割を超え（72.3%）高くなっている。なお、『そう思う』は由木・由木東・南大沢（東部地域）で３割強（32.3%）と比較的高くなっている。（図６－23－３）

図６－23－２　市は、美観が保持されたまちだと思うか－性別・年齢別

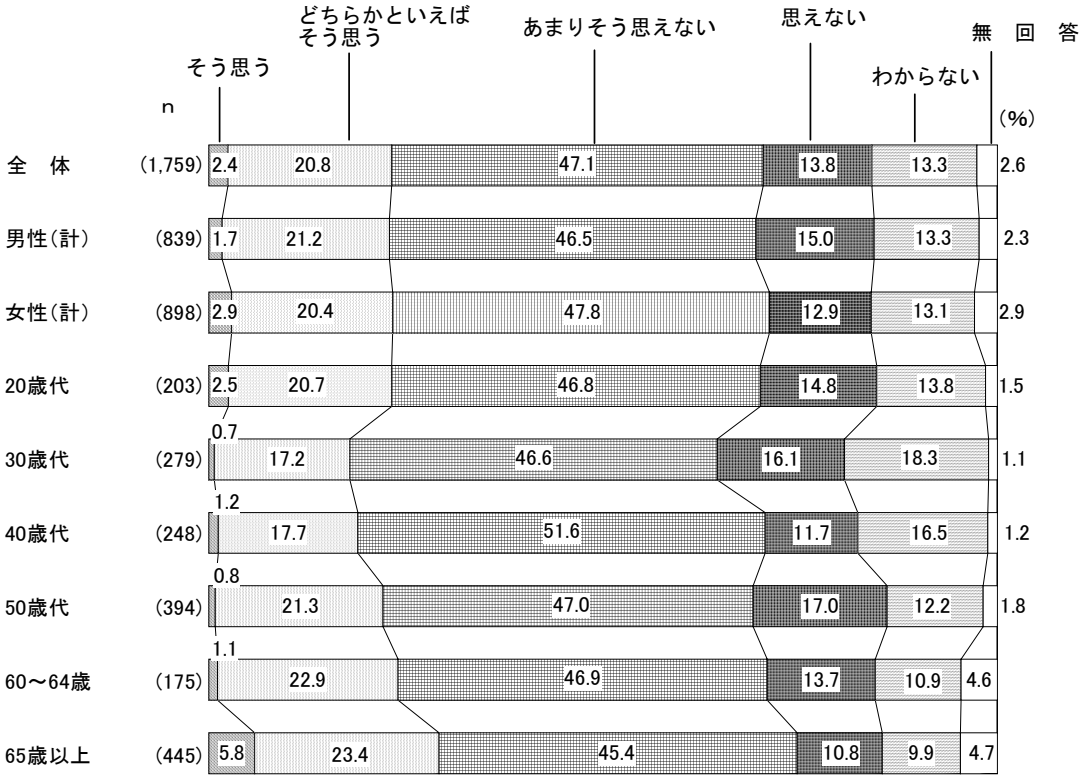
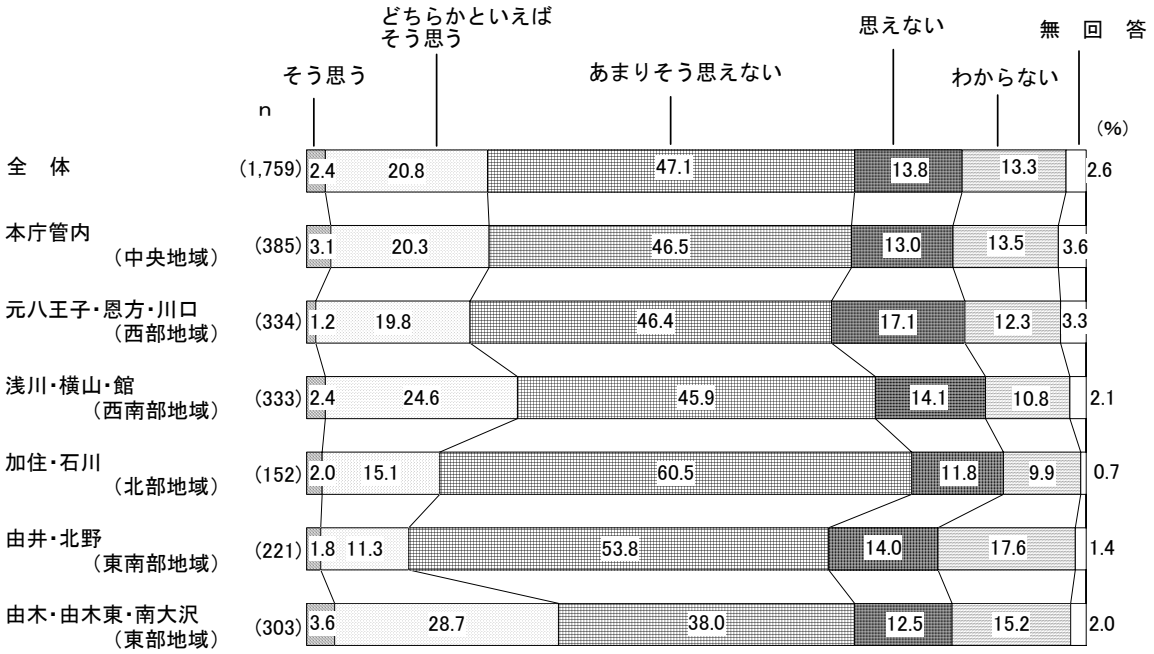


図６－23－３　市は、美観が保持されたまちだと思うか－居住地域別

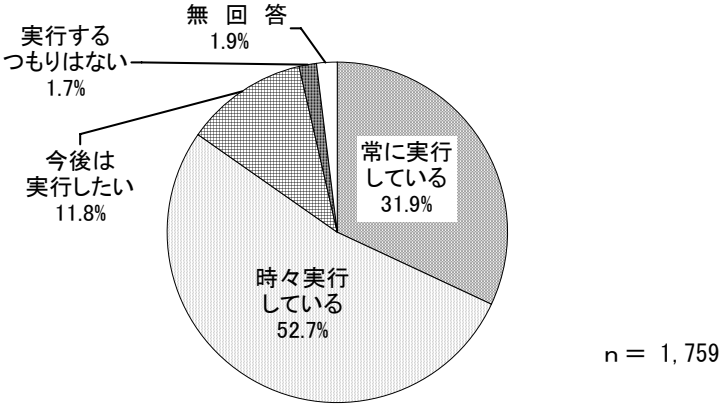


６－24　省エネ・省資源を実行しているか

◇『実行している』が８割台半ばと多数を占める

問 38　省エネ・省資源のためには、冷暖房を控える、電気をこまめに消す、冷蔵庫の開閉に気を遣う、ごみ減量のためのリサイクルを心がける、マイカーの使用を控える、省エネ製品を利用する、買物用のバッグを持参して買い物に行くなどがありますが、あなたは、省エネ・省資源を意識して実行していますか。（○は１つだけ）

図６－24－１

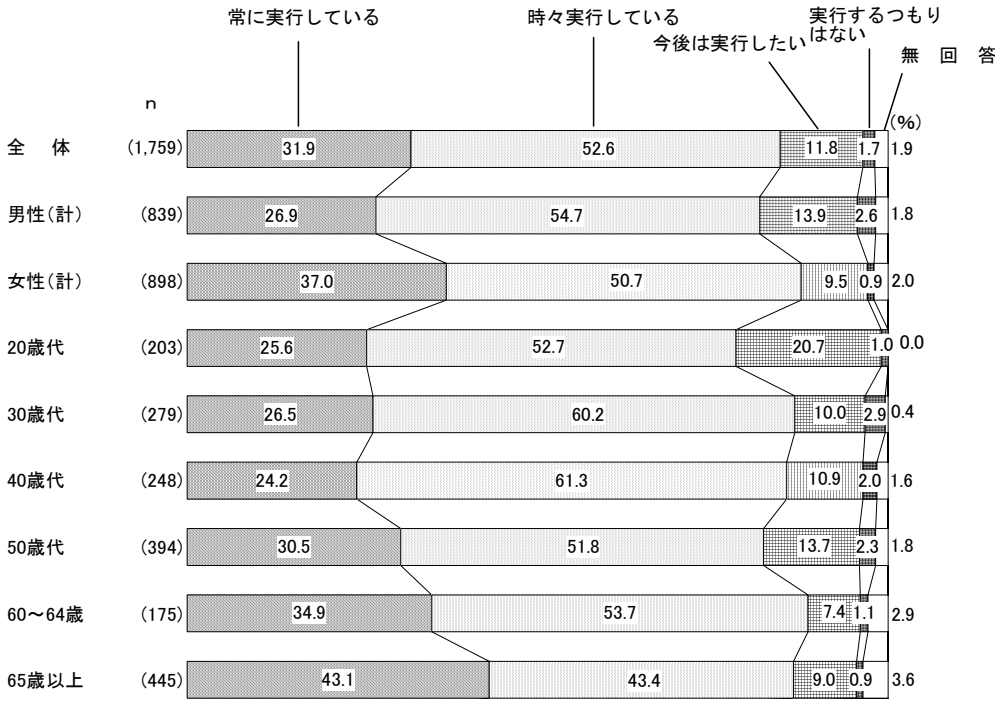


省エネ･省資源の実行について聞いたところ、「常に実行している」が３割強(31.9%)、「時々実行している」が５割を超え(52.6%)、両者をあわせた『実行している』は８割台半ば（84.5%）と高くなっている。（図６－24－１）

性別にみると、「常に実行している」は女性の方が 10.1 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「常に実行している」は 20 歳代では２割台半ば（25.6%）だが、65 歳以上では４割強（43.1%）となり、高い年代ほど割合が高い傾向にある。（図６－24－２）

図６－24－２　省エネ・省資源を実行しているかー性別・年齢別



Ⅲ　調査票

平成 18 年（第 38 回）八王子市市政世論調査

市政世論調査へのご協力のお願い

市では、市民の皆さんの生活環境への意識、市の施策等に対する評価及び市政への意見・要望を把握し、まちづくりに有効に活用していくために、毎年市政世論調査を実施しています。また、この調査を通じて市民の皆さんの市政への参加を図り、市民の皆さんと市との協働によるまちづくりを推進していきます。

この調査の対象者は、市内にお住まいの 20 歳以上の方々から無作為に 3,000 名を選ばせていただきました。また、調査は無記名で、調査結果につきましては統計的な処理をいたしますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いします。

平成 18 年５月　　八王子市長　黒須　隆一

【ご記入にあたってのお願い】

１．ご回答は、**必ずあて名のご本人**がご記入ください。
（無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません。）

２．ご回答は、次の要領で行ってください。

■あらかじめ設けてある**選択肢の中から選んで○印をつけて**ください。

■**回答の○の数**は、（○は１つだけ）（○は３つまで）（○はいくつでも）などのように指定していますので、それに合わせてください。

■**ご自分の答えが選択肢の中にない場合など**は、「その他」を選び、「（具体的に　　）」内にその内容を**具体的に記入**してください。

■**質問は、１ページから順に最後までお答えください。**なお、問○－１のように、**一部の方だけにお答えいただく質問もあります**が、その場合は矢印や説明文に従ってお答えください。

◎ ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、
平成 18 年 5 月 26 日（金）までにご投函ください。切手を貼る必要はありません。
※ ご協力いただいた方には、後日、調査結果報告書（概要版）をお送りします。

≪お問い合わせ先≫　**八王子市総合政策部広聴広報室（広聴担当）**まで
電 話：０４２－６２０－７４１１（直通）
（月曜日～金曜日　午前８時 30 分～午後５時 15 分）

＜あなたご自身について＞　～基本項目（フェイス・シート）～

最初にあなたご自身のことについておたずねします。

Ｆ１．あなたの性別は、次のどちらにあたりますか。（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

１	男性	47.7	２	女性	51.1
				（無回答）	1.3

Ｆ２．あなたの年齢は、次のどれにあたりますか。（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

１	20歳代	11.5	３	40歳代	14.1	５	60～64歳	9.9
２	30歳代	15.9	４	50歳代	22.4	６	65歳以上	25.3
							（無回答）	0.9

Ｆ３．あなたご自身は、次のどれにあたりますか。（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

１	20～39歳で単身者	14.3
２	20～39歳で配偶者がいて子どもがいない	3.5
３	20～64歳で一番下の子どもが小学校入学前	9.1
４	20～64歳で一番下の子どもが小学生	5.9
５	20～64歳で一番下の子どもが中学・高校生	6.9
６	20～64歳で一番下の子どもが高校を卒業している	23.1
７	40～64歳で単身者	5.4
８	40～64歳で配偶者がいて子どもがいない	4.9
９	65歳以上	25.0
	（無回答）	1.9

Ｆ４．あなたの世帯は、次のように分類した場合、どれにあたりますか。ご自分の立場（自分が親、自分が子ども）にかかわらず、世帯構成をお答えください。（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

１	ひとり暮らし（単身世帯）	9.1	４	親と子ども夫婦（二世代世帯）	7.1
２	夫婦のみ（一世代世帯）	23.9	５	親と子どもと孫（三世代世帯）	9.2
３	親と未婚の子ども（二世代世帯）	47.1	６	その他（具体的に　　）	2.3
				（無回答）	1.4

Ｆ５．現在、一緒に暮らしているご家族は、あなたを含めて何人ですか。（○は１つだけ）　ｎ＝1,759

１	１人	10.0	３	３人	25.2	５	５人	8.5	７	７人以上	1.9
２	２人	25.8	４	４人	23.1	６	６人	3.9		（無回答）	1.7

Ｆ６．あなたは、八王子市に住んで何年になりますか。（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

１	１年未満	2.8	３	３～10年未満	14.6	５	20年以上	40.5
２	１～３年未満	4.4	４	10～20年未満	14.6	６	生まれてからずっと	22.5
							（無回答）	0.7

Ｆ７．あなたのご職業は、次のどれにあたりますか。（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

１	農・林・漁業	0.5	７	アルバイト・パート	13.2
２	自営業	7.0	８	（専業）主婦・主夫	19.2
３	自由業（開業医、弁護士、司法書士など）	1.3	９	学生	3.0
４	会社や団体の役員	3.8	10	その他（具体的に　　）	1.9
５	会社・商店・サービス業などの勤め人	27.0	11	無職	17.5
６	教員・公務員	5.2		（無回答）	0.5

（Ｆ７で、「１」から「７」とお答えの方に）

Ｆ７－１　あなたの仕事場は、次のどれにあたりますか。（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

１	八王子市内	48.3	２	八王子市外	45.3
				（無回答）	6.4

Ｆ８．あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

１	一戸建て（持ち家）	63.7	５	都市再生機構（旧公団）・公社の賃貸住宅	4.1
２	分譲マンション	11.3	６	都営・市営住宅	5.3
３	一戸建て（借家）	2.2	７	社宅・官舎・寮	1.7
４	民間の賃貸アパート・マンション	9.9	８	その他（具体的に　　）	0.6
				（無回答）	1.2

Ｆ９．あなたのお住まいは、次のように各事務所の管轄区域に分類した場合、どの地区にあたりますか。（○は１つだけ）

※該当する地区が不明な場合は、（　　）内にお住まいの町名をご記入ください。

ｎ＝1,759

１	本庁管内（中央地域）	21.9	５	由井・北野（東南部地域）	12.6
２	元八王子・恩方・川口（西部地域）	19.0	６	由木・由木東・南大沢（東部地域）	17.2
３	浅川・横山・館（西南部地域）	18.9	７	不明　（お住まいの町名　　）	0.3
４	加住・石川（北部地域）	8.6		（無回答）	1.5

Ｆ１０．あなたのご家庭は、町会や自治会に入っていますか。（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

１	入っている	78.5	２	入っていない	20.6
				（無回答）	0.9

第　１　章

＜定住意向＞

問1. あなたは、これからも八王子市に住み続けたいと思いますか。（○は１つだけ）　　ｎ＝1,759

１　ずっと住み続けたい	46.1	３　市外へ移りたい	10.9
２　当分は住み続けたい	42.1	（無回答）	0.9

（問１で「１　ずっと住み続けたい」または「２　当分は住み続けたい」とお答えの方に）

問1－１　住み続けたい主な理由は何ですか。（○は３つまで）　　ｎ＝1,552

１	緑が多く自然に恵まれている	59.2	６	古き良きものが多い	6.9
２	交通の便が良い	34.2	７	街並み・景観が美しい	10.8
３	買い物に便利	25.5	８	公園などがよく整備されている	9.3
４	地域住民の連帯感が強い	10.4	９	その他（具体的に　　）	16.7
５	教育環境が良い	3.7	10	特に理由はない	13.9
				（無回答）	1.2

（問１で「３　市外へ移りたい」とお答えの方に）

問1－２　市外へ移りたい主な理由は何ですか。（○は３つまで）　　ｎ＝192

１	自然環境が悪い	4.7	６	住宅事情が悪い	9.9
２	交通の便が悪い	46.9	７	公害が多い	5.2
３	買い物に不便	31.8	８	街の雰囲気が嫌い	18.2
４	隣近所となじめない	4.7	９	その他（具体的に　　）	39.6
５	この街に愛着がない	24.5	10	特に理由はない	6.8
				（無回答）	1.0

問2.　あなたは、周囲の生活環境について日頃どのように感じていますか。（１）～（16）の各項目それぞれについてお答えください。（○はそれぞれ１つ）

ｎ＝1,759

項　目	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	無回答
（１）日当たりや風通し	49.1	15.6	21.3	9.0	4.0	1.0
（２）大気汚染	19.8	16.7	43.1	12.7	5.2	2.5
（３）騒音・振動	23.3	17.5	29.4	18.1	10.2	1.5
（４）災害時の安全性	13.2	13.3	55.6	11.4	3.9	2.6
（５）下水・排水	32.7	14.2	41.3	6.3	4.2	1.3
（６）し尿処理	38.2	10.1	44.5	2.2	2.3	2.7
（７）ごみ処理	30.0	16.1	41.0	7.8	3.4	1.6
（８）防犯や風紀	9.9	15.6	49.3	18.0	5.1	2.0
（９）病院などの医療施設	10.0	15.5	41.4	22.9	8.7	1.5
(10) 集会施設	12.6	12.0	57.7	12.0	3.1	2.6
(11) 公園・遊び場	13.4	17.1	43.4	17.5	6.4	2.2
(12) 道路の整備状況	15.3	16.9	41.5	15.3	9.2	1.7
(13) 緑の豊かさ	39.1	28.6	24.4	4.7	1.8	1.4
(14) 交通の便	20.9	20.4	27.9	17.1	12.6	1.3
(15) 交通の安全性	10.2	14.7	49.9	16.4	7.2	1.6
(16) 全体としての「住みやすさ」	14.4	28.9	43.1	9.8	2.1	1.7

＜市政への要望＞

問3.　市政全般において、あなたが特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。次の１～35の中から３つ選び、下の回答欄内に番号をご記入ください。

１	２	３

ｎ＝1,759

１	財政再建	13.6	19	交通安全対策	5.5
２	行財政改革	11.6	20	防犯対策	27.3
３	学校教育	11.9	21	防災対策	8.2
４	青少年の健全育成	10.1	22	高度情報化社会への対応	1.6
５	生涯学習	3.7	23	商・工業などの地域経済対策	7.0
６	文化施設・文化事業	5.9	24	道路整備	9.9
７	国際化の推進	0.8	25	交通機関・駐車場の整備	10.3
８	コミュニティづくり	2.1	26	緑の保全や公園の整備	10.4
９	学園都市づくり	0.7	27	下水道処理	1.5
10	男女共同参画社会づくり	0.6	28	都市整備事業（再開発、区画整理等）	3.6
11	保健医療	26.2	29	清掃事業（ごみ、し尿処理、リサイクル）	7.1
12	介護保険	12.2	30	公害防止対策	3.2
13	社会福祉（ひとり親、低所得者）	9.7	31	都市景観	3.6
14	高齢者福祉	28.7	32	観光・レクリエーション	3.8
15	障害者福祉	4.5	33	不法投棄・放置対策	12.8
16	少子化対策・子育て支援	15.4		（自動車、自転車、バイク、ごみ等）	
17	消費者保護	4.3	34	その他（具体的に　　）	2.5
18	住宅対策	4.2	35	特にない	0.7
				（無回答）	2.5

＜ごみ有料化後のごみ減量意識について＞

問4.　あなたは、一昨年１０月のごみ有料化時点のごみ減量意識を、今も持ち続けていますか。

（○は１つだけ）　　n＝1,759

1　さらに高くなった	12.1	3　少し低くなった	9.8
2　変わりなく持ち続けている	71.1	4　かなり低くなった	1.0
		5　最初から減量意識はない	3.6
		（無回答）	2.5

（問４で「１　さらに高くなった」または「２　変わりなく持ち続けている」とお答えの方に）

問4－１　ごみ減量意識が今も続いている理由として、次のうち最も近い理由はどれですか。

（○は１つだけ）　　n＝1,463

1　今ある最終処分場をできるだけ長く使わなければならないから	7.1
2　ごみの減量と資源化により資源の節約や環境の保全につながるから	49.4
3　分別が習慣化されたから	24.4
4　指定収集袋（ごみ袋）の値段が高いから	17.2
5　その他（具体的に　　）	1.3
（無回答）	0.7

（問４で「３　少し低くなった」または「４　かなり低くなった」とお答えの方に）

問4－２　ごみ減量意識が低くなった理由として、次のうち最も近い理由はどれですか。

（○は１つだけ）　　n＝189

1　分別が複雑でわかりにくいから	24.3	4　指定収集袋（ごみ袋）を買うことに負担を　感じなくなったから	15.3
2　分別に手間がかかるから	21.7	5　その他（具体的に　　）	7.4
3　減量の成果が見えないから	27.5	（無回答）	3.7

問 5. ごみ有料化実施直後と現在では、家庭から出るごみの量は変化しましたか。（○は１つだけ）

n＝1,759

1　さらに減った	9.3	4　少し増えた	2.3
2　少し減った	45.3	5　かなり増えた	0.5
3　変わらない	40.6	（無回答）	1.9

問 6. あなたは日頃、ごみを少なくするために心がけていることはありますか。（○はいくつでも）

n＝1,759

1　使い捨て製品を買わないようにしている	27.2	6　壊れたものは修理して使うようにしている	21.7
2　レンタルを利用している	1.9	7　量り売りやバラ売りを利用している	11.4
3　生ごみをたい肥にしている	13.6	8　過剰包装は断っている	55.7
4　詰め替え製品を選んでいる	59.1	9　その他（具体的に　　）	6.9
5　フリーマーケットを利用している	4.3	10　特にない	11.1
		（無回答）	2.0

問7.　使い捨ての象徴としてレジ袋が挙げられますが、普段レジ袋をもらわないように買い物袋（マイバッグ）を使用していますか。（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

１	必ず使用している	16.9	３	全く使用していない	35.4
２	時々使用している	46.8		(無回答)	0.8

問8.　市ではレジ袋の削減や簡易包装等を推進し、ごみの発生抑制に取り組むスーパーなどの小売店を「エコショップ」として認定する制度をスタートしています。あなたは、このエコショップ認定制度を知っていますか。（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

１	内容まで知っている	10.3	３	全く知らない	47.7
２	エコショップという名称は聞いたことがある	41.1		(無回答)	0.9

問9.　あなたは、レジ袋の削減や簡易包装等を推進するエコショップを利用したいと思いますか。（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

１	積極的に利用したい	16.1	３	あまり利用したいと思わない	19.4
２	利用したい	57.7	４	利用したいと思わない	4.4
				(無回答)	2.3

問10.　ごみ減量や資源化を進めるために、次のうち最も必要だと思うことは何ですか。（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

１	プラスチック類の回収品目の拡大	44.2	４	広報などによる啓発	10.5
２	生ごみの資源化	16.8	５	その他（具体的に　　）	5.2
３	資源物の戸別収集	15.7	６	特にない	5.9
				(無回答)	1.6

＜保健衛生行政の現状と新しい『八王子市保健所(仮称)』について＞

市は、市民の皆さんへのサービスの向上と、より市民に身近な保健衛生行政の取り組みを推進していくため、平成19年４月に保健所政令市へと移行します。これにより、現在都が運営している“東京都八王子保健所”は、市が運営する『八王子市保健所（仮称）』となります。

この調査は、今後の市民に身近な保健衛生行政のあり方を考える参考とするためのものです。

【用語説明】

『保健センター』	八王子市の保健センターは『保健センター』（平岡町 18－３）と『西寺方分室』（西寺方町75－２）、『南大沢分室』（南大沢２－17－５）の３ヶ所で保健サービスを提供しています。 今回お伺いする『保健センター』はこの全てを含むこととします。 なお、今回お伺いする『保健センター』には、『東浅川保健福祉センター』と『南大沢保健福祉センター』は含まれません。

［問 11　から　問 12　までは現在の“東京都八王子保健所”（旭町 13－18）に関する質問です。］

問11.　あなたは、“東京都八王子保健所”を利用したことがありますか。（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

１　利用したことがある	27.2	
２　利用したことがない	72.2	→ 問 11－３へお進みください
(無回答)	0.6	

（問 11 で「１　利用したことがある」とお答えの方に）

問 11－１　あなたは、どのような目的で“東京都八王子保健所”を利用しましたか。（○はいくつでも）

ｎ＝478

１	こころの健康のための相談や講演会	8.2
２	結核・インフルエンザなどの感染症の予防についての相談	9.2
３	難病に関する相談や講演会	11.1
４	食中毒や食品・飲み水の安全性に関する相談や講習会	10.3
５	住居・事務所に関するハウスダストなどの衛生相談	0.4
６	生活害虫（ダニなど）に関する相談	1.9
７	飲食店や理容所・美容所などの食品衛生・環境衛生施設の営業許可	8.8
８	医療情報（診療所・歯科診療所等）に関する相談	13.0
９	各種免許（医師・調理師）などの申請・手続き	13.4
10	その他（具体的に　　）	37.0
	(無回答)	4.2

（問 11 で「１　利用したことがある」とお答えの方に）

問 11－２　あなたは、“東京都八王子保健所”が実施している業務について、どのような印象をもっていますか。（○は１つだけ）

ｎ＝478

１	満足している	8.8	４	不満である（具体的に　　）	5.6
２	ほぼ満足している	34.7	５	わからない	37.9
３	やや不満である	10.5		(無回答)	2.5

（問 11 で「２　利用したことがない」とお答えの方に）

問 11－３　あなたが、“東京都八王子保健所”を利用したことがない理由はどのようなものですか。（○はいくつでも）

ｎ＝1,270

１	場所が遠い	19.1	４	どんなサービスがあるのかわからない	60.6
２	利用したいサービスがない	7.2	５	対応時間が限定されており利用できない	6.8
３	利用する必要がない	42.4	６	その他（具体的に　　）	2.7
				（無回答）	2.2

問12.　あなたは“東京都八王子保健所”に関する情報をどのように入手していますか。（○はいくつでも）

ｎ＝1,759

１	保健所のホームページ	3.4	６	“東京都八王子保健所”に直接問い合わせている	7.0
２	都の広報	8.5			
３	市の広報	46.9	７	情報を得る必要がない	28.1
４	“東京都八王子保健所”からの案内	5.2	８	その他（具体的に　　）	4.9
５	“東京都八王子保健所”がつくったチラシやポスターなど	5.6		（無回答）	10.1

［問 13　から　問 14　までは、現在八王子市が設置している『保健センター』に関する質問です。］

問13.　あなたは、八王子市の『保健センター』を利用したことがありますか。また、おもに利用する『保健センター』はどこですか（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

１	『保健センター』（平岡町18－３）をおもに利用している	23.5
２	『西寺方分室』（西寺方町75－２）をおもに利用している	1.4
３	『南大沢分室』（南大沢２－17－５）をおもに利用している	3.6
４	利用したことがない → 問 13－３へお進みください	68.1
	（無回答）	3.4

（問 13 で「１」から「３」とお答えの方に）

問13－１　あなたは、どのような目的で『保健センター』を利用しましたか。（○はいくつでも）

ｎ＝502

１	妊産婦・乳幼児（３～４か月児、１歳６か月児・３歳児など）の健康診査や相談	48.0
２	成人の歯の健康診査や相談	1.8
３	妊娠・出産や育児に関する母親学級・両親学級	9.0
４	乳幼児の発達状況に関する健康診査や相談	10.4
５	乳幼児の歯科相談やむし歯予防などの教室	7.4
６	育児に関することや、乳幼児の栄養に関する相談	3.4
７	健康づくりや生活習慣病などに関する相談	4.6
８	生活習慣病予防や介護予防、乳がん自己検診法などに関する教室	2.0
９	予防接種	19.1
10	夜間救急診療	57.8
11	休日歯科応急診療	9.8
12	その他（具体的に　　）	5.2
	（無回答）	1.4

（問 13 で「１」から「３」とお答えの方に）

問13－２　あなたは、八王子市の『保健センター』が実施している業務について、どのような印象をもっていますか。（○は１つだけ）

ｎ＝502

1	満足している	10.4	4	不満である（具体的に：　　）	5.2
2	ほぼ満足している	37.8	5	わからない	27.3
3	やや不満である	12.2		（無回答）	7.2

（問 13 で「４　利用したことがない」とお答えの方に）

問13－３　あなたが、『保健センター』を利用したことがない理由はどのようなものですか。（○はいくつでも）

ｎ＝1,197

1	場所が遠い	14.9	4	どんなサービスがあるのかわからない	58.3
2	利用したいサービスがない	6.2	5	対応時間が限定されているため利用できない	6.6
3	利用する必要がない	44.2			
			6	その他（具体的に　　）	2.9
				（無回答）	2.2

問14.　あなたは『保健センター』に関する情報をどのように入手していますか。（○はいくつでも）

ｎ＝1,759

1	市のホームページ	4.3	5	『保健センター』に直接問い合わせている	5.3
2	市の広報	52.2	6	情報を得る必要がない	24.4
3	『保健センター』からの案内	6.7	7	その他（具体的に　　）	4.7
4	『保健センター』がつくったチラシやポスターなど	4.2		（無回答）	11.8

［問 15　および　問 16　は、平成 19 年４月以降、本市が運営する『八王子市保健所（仮称）』（旭町 13－18　※ 現在の“東京都八王子保健所”と場所は変わりません）についての質問です。］

問15.　あなたは、新しい『八王子市保健所（仮称）』が行う保健サービスとして、特に何を重視していくべきだと思いますか。（○は３つまで）

ｎ＝1,759

1	健康づくりや生活習慣病などに関する相談や支援	34.9
2	母親学級や両親学級	6.3
3	妊産婦・乳幼児の健康診査や育児・栄養についての相談や支援	15.9
4	生活習慣病などの病気の予防・相談	24.3
5	こころの健康のための相談	21.6
6	難病や精神障害を持つ方の相談や支援	16.8
7	結核やエイズ、インフルエンザなどの感染症対策	15.9
8	歯周病予防など歯科保健対策についての相談	3.2
9	食中毒予防や食品・飲み水の安全対策	15.1
10	シックハウス対策などの住居・事務所の環境衛生対策	3.5
11	予防接種	14.3
12	健康に関する情報の発信	30.9
13	災害時における防疫や危機管理体制、保健衛生活動	32.7
14	その他（具体的に　　）	2.4
	（無回答）	9.3

問16.　あなたは、新しい『八王子市保健所（仮称）』にどのようなことを期待しますか。自由なご意見をお聞かせください。

※　次のページへお進みください。

第　２　章

＜「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度＞

この章は、八王子市の基本構想・基本計画（「八王子ゆめおりプラン」）に掲げる施策が目的どおり成果を挙げているか、その達成度を計るため、調査させていただくものです。

問17.　あなたは、市が市民協働のまちを進めていると感じますか。（○は１つだけ）　ｎ＝1,759

「協働」とは、市民の皆さんと行政が、それぞれの立場や能力を理解、尊重しつつ、対等なパートナーとして連携し、課題に取り組むことをいいます。

１	そう思う	4.9	３	あまりそう思えない	26.0	５	わからない	43.2
２	どちらかといえばそう思う	10.1	４	思えない	11.4		（無回答）	4.4

問18.　市は、市政の情報を、積極的に配信・提供していますが、あなたは、現在の市政情報の入手方法に満足していますか。（○は１つだけ）　ｎ＝1,759

市の情報は、広報はちおうじ、ホームページ、メール（市長メールマガジン、犯罪・不審者情報、防災情報）、議会だより、町会・自治会の回覧物や掲示物、市で作成したパンフレット・ポスター、新聞・テレビなどのマスメディア、八王子テレメディア、ＪＲ八王子駅前河川情報板などで配信･提供しています。

１	満足している	7.1	３	あまり満足していない	20.8	５	わからない	29.0
２	ほぼ満足している	32.6	４	満足していない	6.0		（無回答）	4.5

問19.　あなたは、この１年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことはありますか。（○は１つだけ）　ｎ＝1,759

１	ある	78.6	２	ない	19.1		（無回答）	2.3

（問19で「１　ある」とお答えの方に）

▶問19－１　あなたは、市の窓口サービスに満足していますか。（○は１つだけ）　ｎ＝1,383

１	満足している	18.4	３	あまり満足していない	17.5	５	わからない	6.9
２	ほぼ満足している	51.6	４	満足していない	5.1		（無回答）	0.4

問20.　あなたは、この１年間に公園清掃などのボランティア活動や盆踊りなど地域行事に参加したことがありますか。（○は１つだけ）　ｎ＝1,759

１	ボランティアにも地域行事にも参加したことがある	11.0	３	地域行事には参加したことがある	25.0
２	ボランティアには参加したことがある	4.4	４	どちらにも参加したことがない	57.0
				（無回答）	2.7

問21.　あなたは、あなたのお住まいの地域が安全であると感じますか。（○は１つだけ）　ｎ＝1,759

１	安全である	4.1	３	普通である	46.4	５	危険である 4.6
２	おおむね安全である	22.7	４	やや危険である	19.8		（無回答） 2.4

問22.　市では、様々な相談を行っていますが、あなたは、市の相談窓口が充実していると思いますか。（○は１つだけ）　ｎ＝1,759

市で行っている相談は、健康・栄養・歯、母子・福祉、女性のための相談、法律、不動産、登記、税金、相続・遺言等暮らしの手続、年金・雇用保険・労働条件相談、行政、外国人生活相談、人権、交通事故、消費者、子育て、心の相談、総合教育相談、こども電話相談などです。

１	充実している	4.4	３	あまり充実していない	9.7	５	わからない 54.2
２	おおむね充実している	24.8	４	充実していない	3.0		（無回答） 3.9

問23.　あなたは、市の相談窓口を利用したことがありますか。（○は１つだけ）　ｎ＝1,759

１　ある 20.9	２ない 76.4	（無回答） 2.7

（問23で「１　ある」とお答えの方に）

問23－１　市の相談窓口を利用してどう感じましたか。（○は１つだけ）　ｎ＝368

１	満足した	14.7	３	あまり満足できなかった	23.4	５	その他（具体的に　） 1.9
２	ほぼ満足した	45.7	４	満足できなかった	14.1		（無回答） 0.3

問24.　あなたは、市が行っている様々な子育て支援策について、日頃どのように感じていますか。（○は１つだけ）　ｎ＝1,759

市は、子育て施策として、待機児解消に向けた保育園の定員増、放課後に児童を預かる学童保育所の整備、子育ての相談ができる子ども家庭支援センターの設置を行っています。この他、乳幼児医療費助成等の医療費負担軽減や児童手当の支給などを行っています。

１	満足している	1.5	３	あまり満足していない	8.5	５	その他（具体的に　） 2.0
２	ほぼ満足している	14.2	４	満足していない	4.9	６	わからない 58.9
							（無回答） 9.8

（問24で「３　あまり満足していない」または「４　満足していない」とお答えの方に）

問24－１　なぜ、そのように感じるのか理由があれば自由にご記入ください。

問25.　あなたの現在の生きがいはどのようなことですか。（○はいくつでも）

n＝1,759

1	仕事	27.9	7	旅行	34.9
2	スポーツやレクリエーション	20.4	8	家族とのふれあい	51.3
3	学習や習い事	12.3	9	近所付き合い	10.7
4	ボランティア活動	6.1	10	友人との交際	43.8
5	趣味	47.3	11	その他（具体的に　　）	2.0
6	映画や演劇などの鑑賞	17.1	12	特にない	6.5
				(無回答)	2.5

問26.　あなたが健康の維持・増進のために、自ら心がけて行動していることはどれですか。
（○はいくつでも）

n＝1,759

1	適度な運動	55.9	5	趣味などの生きがいづくり	34.8
2	適度な休養	37.1	6	その他（具体的に　　）	2.0
3	食事などの栄養バランス	55.4	7	特に何もしていない	10.5
4	各種定期健診の受診	32.1		(無回答)	2.2

問27.　あなたは、かかりつけの医療機関を決めていますか。（○は１つだけ）

n＝1,759

かかりつけ医とは、自分の体の状態を把握している身近な医者のことで、普段の健康管理、病気の初期治療のほか、大病院での検査・治療を必要とするかどうかの判断、紹介などが期待されます。

1	決めている	57.5	2	決めていない	40.0	(無回答)	2.5

問28.　あなたがこの１年間に取り組んだ学習活動はどれですか。（○はいくつでも）

n＝1,759

1	パソコン・インターネット	25.2	6	文学	6.1	11	園芸	16.6
2	音楽	11.3	7	歴史	5.2	12	職業上必要な知識・技能	25.6
3	美術	6.0	8	料理	10.1	13	その他（具体的に　　）	5.2
4	写真	5.5	9	洋裁	2.8	14	特に学習していない	31.8
5	外国語	8.2	10	和裁	0.6		(無回答)	4.0

問29. あなたがこの１年間にスポーツを行った回数はどのくらいですか。（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

スポーツの種類は、エアロビクス、健康体操、ジョギング、ウォーキング、武道、バスケットボール、バレーボール、サッカー、テニス、バドミントン、野球、卓球、登山、スキー、スケート、水泳、ダイビング、レクリエーション、ゲートボールなどです。

１	週に１回以上	28.5	４	半年に１～２回	8.1
２	月に１～３回	16.1	５	その他（具体的に　　）	0.2
３	３ヶ月に１～２回	6.4	６	特にしていない	37.2
				（無回答）	3.4

問30. あなたは、この１年間にどのくらいの頻度で芸術・文化活動に参加しましたか。（鑑（観）賞も含みます）（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

芸術・文化活動の分野は、文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊、映画、アニメーション・メディア芸術、伝統芸能（歌舞伎、落語など）、茶道、華道、書道、囲碁、将棋、歴史・文化財などです。

１	週に１回以上	7.5	４	半年に１～２回	17.4
２	月に１～３回	13.1	５	年１回	7.0
３	３ヶ月に１～２回	14.0	６	特にしていない	37.2
				（無回答）	3.7

問31. あなたは、本市が景観に配慮されたまちであると思いますか。（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

１	そう思う	4.7	３	あまりそう思えない	39.2	５	わからない	17.9
２	どちらかといえばそう思う	19.7	４	思えない	15.2		（無回答）	3.4

問32. あなたの家庭では、大地震等の災害に備えどのようなものを準備していますか。（○はいくつでも）

ｎ＝1,759

１	食料・飲料水	44.7	６	貴重品類等非常持出品	22.4
２	医薬品	21.9	７	衣類	8.5
３	携帯ラジオ	45.9	８	その他（具体的に　　）	2.5
４	懐中電灯	64.5	９	何もしていない	23.8
５	消火器	26.5		（無回答）	1.9

問33.　あなたは、本市がにぎわいと活力があるまちであると感じますか。（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

１	感じる	3.9	３	あまり感じない	42.9	５	わからない	11.1
２	多少感じる	19.8	４	感じない	20.6		（無回答）	1.7

問34.　あなたは、環境問題に関心はありますか。（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

１	大いにある	24.4	３	少しはある	34.2
２	ある	36.7	４	ない	2.6
				（無回答）	2.1

問35.　あなたは、本市の環境（水、緑、ごみ、大気など）が以前と比べどうなったと感じていますか。（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

１	良くなった	7.2	４	悪くなった	6.5
２	どちらかといえば良くなった	34.6	５	わからない	35.4
３	どちらかといえば悪くなった	14.2		（無回答）	2.1

問36.　都市の美観が損なわれる主な原因は、次のどれだと思いますか。（○は２つまで）

ｎ＝1,759

１	違法駐車	27.0	５	落書き	21.3
２	放置自転車	31.4	６	違法看板	19.0
３	ペットのふん	20.1	７	はみ出し営業	8.6
４	ごみ・たばこのポイ捨て	44.5	８	その他（具体的に　　）	7.5
				（無回答）	2.6

問37.　本市は、都市の美観が保持されているまちであると思いますか。（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

１	そう思う	2.4	３	あまりそう思えない	47.1	５	わからない	13.3
２	どちらかといえばそう思う	20.8	４	思えない	13.8		（無回答）	2.6

問38.　省エネ・省資源のためには、冷暖房を控える、電気をこまめに消す、冷蔵庫の開閉に気を遣う、ごみ減量のためのリサイクルを心がける、マイカーの使用を控える、省エネ製品を利用する、買物用のバッグを持参して買い物に行くなどがありますが、あなたは、省エネ・省資源を意識して実行していますか。（○は１つだけ）

ｎ＝1,759

１	常に実行している	31.9	３	今後は実行したい	11.8
２	時々実行している	52.6	４	実行するつもりはない	1.7
				（無回答）	1.9

ご回答、大変ありがとうございました。

ご多忙の中、誠に恐縮ですが、調査票を同封の返信用封筒に入れ、５月２６日（金）までにお近くの郵便ポストにご投函ください。（切手を貼る必要はありません。）

市政世論調査報告書（第 38 回）

平成 18 年 9 月

発行　　八王子市　総合政策部　広聴広報室
東京都八王子市元本郷町三丁目 24 番 1 号
電話　042（620）7411（直通）

調査担当　株式会社　サーベイリサーチセンター
電話　03（3802）6711（代表）